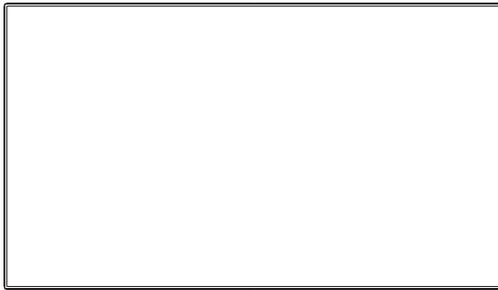


取扱説明書

フルハイビジョン液晶ディスプレイ 業務用

品番 **TH-55AF1J** (55V 型)
TH-49AF1J (49V 型)
TH-42AF1J (42V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。



- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-55AF1J (55V 型)、TH-49AF1J (49V 型)、TH-42AF1J (42V 型) 共用です。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。



HDMI

保証書別添付

DPQX1009ZD

もくじ

お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主に TH-55AF1J (55V 型) を元に作成しています。

安全上のご注意	4
使用上のお願ひ	9
付属品の確認	13
付属品	13
リモコンの電池の入れかた	13
別売オプション	14
ケンジントンセキュリティスロット	14
接続	15
電源コードの接続と固定	15
接続ケーブルの固定	15
映像機器の接続	16
接続の前に	17
HDMI 1・HDMI 2 端子の接続例	18
DVI-D IN/DVI-D OUT 端子の接続例	19
PC IN 端子の接続例	20
VIDEO IN 端子の接続例	21
COMPONENT/RGB IN 端子の接続例	22
SERIAL (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)	22
IR IN/IR OUT 端子の接続例	24
AUDIO OUT 端子の接続例	25
USB 端子の接続例	25
microSD カードを使う	26
USB (OpenPort PLATFORM)	
端子の接続例	26
Micro-USB 端子の接続例	27
各部の基本説明	28
ディスプレイ本体	28
リモコン	30
基本の操作	31
入力信号を切り換える	33
入力信号・画面モードなどを知りたいとき	33
音量を調整する	34
消音を使う	34
オフタイマー (OFF TIMER) を使う	34
OpenPort PLATFORM の起動	35
起動	35
終了 (シャットダウン)	35

OpenPort PLATFORM の基本操作 /

文字入力	36
リモコン	36
本体ボタン	37
USB マウス	38
ソフトウェアキーボード	38
USB キーボード	39
操作アイコン	39
OpenPort PLATFORM のホーム画面	40
OpenPort PLATFORM の 「セットアップ」画面	41
OpenPort PLATFORM の 「インストーラー」画面	42
OpenPort PLATFORM の「ツール」画面	44
OpenPort PLATFORM の 「お気に入り」画面	44
「お気に入り」にアプリを追加	45
「お気に入り」からアプリを削除	45
OpenPort PLATFORM の 「最近の使用」画面	46
「最近の使用」からアプリを削除	46
OpenPort PLATFORM の 「ステータス」画面	47
OpenPort PLATFORM の プリインストールアプリ	48
プリインストールアプリ一覧	48
「LAN 制御」アプリ	49
「設定」アプリ	50
「ショートカット作成」アプリ	56
「起動アプリケーション」アプリ	56
「アプリサーバー設定」アプリ	56
「シャットダウン」アプリ	56
「アップデート」アプリ	56
「サインインブラウザ」アプリ	57
「Version」アプリ	57
「ブラウザ」アプリ	57
「カメラ」アプリ	57
「サインインプレーヤー」アプリ	57
OpenPort PLATFORM の Android 標準ホーム画面	58
映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)	59
画面領域を拡大表示する (デジタルズーム)	60
オンスクリーンメニューについて	61
位置調整	63

自動位置補正	63
音声の調整	65
画質の調整	66
メモリー機能を使う	69
メモリーに保存する	70
メモリーを呼び出す	70
メモリーを編集する	71
メモリー名の入力	72
初期設定	73
信号モード	73
スクリーンセーバー	76
入力表示書換設定	77
パワーマネージメント設定	77
OpenPort PLATFORM スタンバイ	78
画面位置移動	78
無操作自動オフ	79
表示言語切換	79
マルチ画面設定	79
タイマー設定	80
USB メディアプレーヤー設定	81
ファンクション設定	81
ディスプレイ設置	83
OSD 位置	83
メニュー表示時間	83
メニュー透過率	83
オプション (Options) メニュー	84
ネットワーク機能を使う	93
接続に必要なパソコン環境	93
ネットワーク接続例	93
コマンドコントロール	94
LAN 経由の制御コマンドについて	94
PjLink プロトコル	96
予兆監視ソフトウェアについて	97
複数台監視制御ソフトウェアについて	97
コンテンツマネージメントソフトウェアについて	97
USB メディアプレーヤー	98
機能の説明	98
準備	98
ファイルの再生	99
メディアプレーヤーの開始/終了	101
途中から再生機能 (レジューム再生)	101
データクローニング	102
ディスプレイのデータを USB メモリーに コピー	102

USB メモリーのデータをディスプレイに コピー	103
ID リモコン機能を使う	104
リモコンの ID 番号を設定する	104
リモコンの ID 番号の設定を解除する (ID 「0」)	104
プリセット信号	105
OpenPort PLATFORM シャットダウン	107
工場出荷時の設定に戻すには	108
修理を依頼される前に	109
保証とアフターサービス (よくお読みください)	111
仕様	112
ソフトウェアライセンス	114
商標について	115

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がある
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



警告

電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など)



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に行ってご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。



警告

■ 壁掛けまたはスタンド設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の別売据置きスタンドをご使用ください。(P.14 ページ)
- 壁への取り付けには VESA 規格標準の壁掛け金具を必ずご使用ください。

55/49V 型 : VESA 400 × 400
42V 型 : VESA 200 × 200
(P.9 ページ)

- 落下防止の為、液晶ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐える様、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

■ 付属の単 4 乾電池、および microSD カードの盗難防止カバー (P.26 ページ) は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触
禁止

■ 上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ
禁止

■ 風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用
禁止

■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所など、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

■ 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、改造したりしないでください



分解
禁止



感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ぶたを 絶対に 開けないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

注意

- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- あお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
( 9 ページ)

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください



コードを引っばると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源プラグや機器の接続線、転倒防止具を外してください。



コードや本機が損傷し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりされると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れるときには、極性（プラス \oplus とマイナス \ominus ）を逆に入れないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。挿入指示通り正しく入れてください。
( 13 ページ)

- 長時間使わないときは、リモコンから電池を取り出してください



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



液晶パネルが割れてけがの原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほりこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

- 開梱や持ち運びは 2 人以上で行ってください



落下してけがの原因になることがあります。

注意

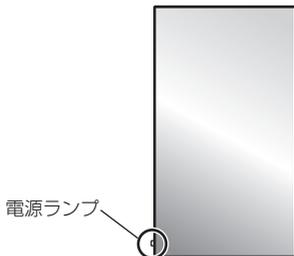
- 据置きスタンド(別売)をご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がおぼろげに登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 据置きスタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。

- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず電源ランプを下側にして設置してください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っばったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

お手入れについて

- 1年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源
プラグを
抜く

使用上のお願い

■ 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

屋外に設置しないでください。

- 本機は室内でご使用ください。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 据置きスタンドをご使用のときは、指定の設置金具をご使用ください。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

海拔 2800 m 以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、海拔 1400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1400 m 以上～2800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。

本機を移動されるとき。

- 液晶パネル面を上または下にしている移動はパネル内部の破損の原因となります。

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。

- 液晶パネルを強く押ししたり、先のとがった物で押ししたりしないでください。液晶パネルに強い力が加わると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。

直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

- 直射日光が当たると液晶パネルに悪影響を与える場合があります。

塩害や腐食性ガスが発生する場所の近くには設置しないでください。

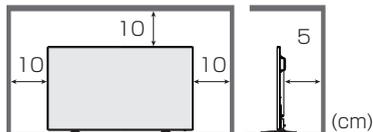
- 腐食により部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

設置時の空間距離について

- 据置きスタンドをご使用のときは、上面・左右は 10 cm 以上、後面は 5 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。また、本機下面と床面との空間をふさがらないでください。

その他の取り付けかた（壁掛けなど）でご使用のときは、対応する施工説明書に従ってください。（施工説明書に寸法の記載がない場合は、上下・左右は 10 cm 以上、後面は 5 cm 以上の間隔をおいて据えつけてください。）

最低空間距離：



VESA 規格標準の壁掛け金具を使用する場合 使用するねじについて

	取り付けピッチ	取り付け穴の深さ	ねじ (本数)
55V 型	400mm × 400mm	10mm	M6 (4)
49V 型	400mm × 400mm	10mm	M6 (4)
42V 型	200mm × 200mm	10mm	M6 (4)

設置時に下図に示すねじ穴を使用しないでください（後面下側）。

- 液晶パネル破損の原因となります。

55V 型



49V 型



42V 型



■ ご使用になるとき

電源ランプおよびリモコン受信部の可動構造に注意してください。

- 工場出荷時、電源ランプおよびリモコン受信部は本体内部に格納されています。通常時は後面のレバーを操作してリモコン受信部を本体の端面より引き出してご使用ください。マルチ画面使用時など設置状況に応じては、同部を本体内部に収納してご使用ください。（P.28 ページ）

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると軽減されます。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

液晶パネル表面について

- 液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

液晶ディスプレイ本体の一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面の一部は温度が高くなっておりませんが、性能・品質には問題ありません。

長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 本体の電源ボタンで電源を切った場合は約 0.3 W の電力を消費します。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

OpenPort PLATFORM システムの動作中に電源プラグを抜くなどして電源を切るとデータや設定が失われる可能性があります。

- 通常、動作中からは必ず OpenPort PLATFORM システムのシャットダウンを行ってから電源プラグを抜くなどしてください。(P.35 ページ)

■ 有線 LAN/ 無線 LAN について

ディスプレイの無線 LAN 接続機能使用時は、2.4 GHz/5 GHz 帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

ほかの無線機器の近くで使用しないでください。

- 下記の機器は、ディスプレイと同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くでディスプレイを使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- ・ 電子レンジなど
- ・ 産業・科学・医療用機器など
- ・ 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- ・ 特定小電力無線局

ディスプレイの近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

- 携帯電話・テレビ・ラジオなどは、ディスプレイと違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、ディスプレイからの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

- 木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできませんが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、無線 LAN または有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、無線 LAN または有線 LAN 接続をしてください。

- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。

このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端に接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410**
※携帯電話・PHSからもご利用になります。

受付：9時～17時30分
（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは
<https://sec.panasonic.biz/solution/info/>
 ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

国外での取り扱いについて

- ディスプレイは、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

使用できる無線 LAN のチャンネルについて

- 下記の表を参照してください。

国または地域	規格	使用チャンネル	周波数帯域 (中心周波数)
日本	ARIB STD-T66 IEEE802.11b/g/n	1 ～ 13 チャンネル	2 412 MHz ～ 2 472 MHz
	IEEE802.11a/n	36/40/44/48 チャンネル (W52)	5 180 MHz ～ 5 240 MHz
		52/56/60/64 チャンネル (W53)	5 260 MHz ～ 5 320 MHz
		100/104/108/112/ 116/120/124/128/ 132/136/140 チャンネル (W56)	5 500 MHz ～ 5 700 MHz

- IEEE802.11a/n (5.2 GHz/5.3 GHz 帯) は、屋内で使用してください
- 5.2 GHz/5.3 GHz 帯 (W52/W53) を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。
- 5.5 GHz ～ 5.7 GHz の周波数帯域 (W56) の屋外での使用については電波法で禁止されていません。



本機は、2.4 GHz 帯を使用する、DS-SS および OFDM 変調方式の無線機器です。中心周波数に 2 412 ～ 2 472 MHz (CH1 ～ CH13) を使用し、想定干渉距離は 40 m です。



本機には、日本の電波法に基づく技術基準に適合し認証済みの無線モジュールが搭載されています。

■ セキュリティに関するお願い

本製品をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。
 (☞ 49・94 ページ)

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。

「データの初期化」(☞ 54 ページ) または「工場出荷時の設定に戻すには」(☞ 108 ページ)

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

- 無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
 - ・ 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
 - ・ 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）特定の人物になりますまして通信し、不正な情報を流す（なりまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
などの行為をされてしまう可能性があります。
- 本来、無線 LAN アダプタや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- 無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用する前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。
なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。
本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティ設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、お買い上げの販売店までお問い合わせください。
- セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

■ お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや液晶パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



○ お知らせ

- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

化学そうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの変質や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

付属品の確認

付属品

付属品が入っていることをご確認ください。
() は個数です。

電源コード (1)
(約 2m)

● 1JP155AF1J

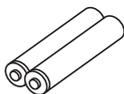


リモコン (1)

● DPVF1203ZA



単 4 形乾電池 (2)
(リモコン用)



クランパー (3)

● TZZ00000694A

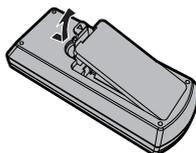


お願い

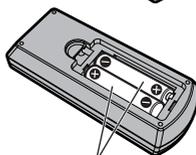
- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。
(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

リモコンの電池の入れかた

ふたをあける



電池を入れ、ふたをしめる
(⊖ 側から先に入れます。)



単 4 形乾電池

お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

次の点にご注意ください。

1. 電池は常に 2 本 1 組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせてください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせてください (例えばマンガン電池とアルカリ電池など)。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

別売オプション

別売オプションの据置きスタンドは、しっかり取り付けてください。

据置きスタンド：

- ・TY-ST43PE8 (55V型/49V型/42V型用)

予兆監視ソフトウェア：

- ・ET-SWA100 シリーズ^{※1}

ビデオウォールマネージャー：

- ・TY-VUK10^{※2}

※1 ライセンスの種類によって品番末尾の記号が異なります。

※2 Ver1.2以降に対応します。

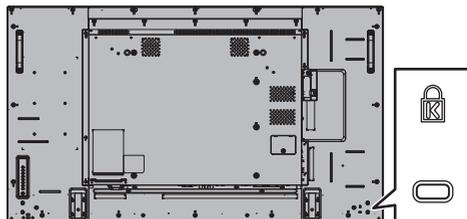
お願い

- 据置きスタンドを取り付けるときは同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。また、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 壁掛けまたはスタンドの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- スタンドまたは壁掛け金具の設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「液晶パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 別売オプションの品番は、予告なく変更する場合があります。

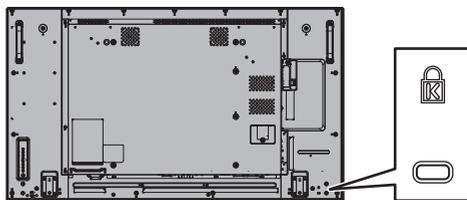
ケンジントンセキュリティスロット

本機のセキュリティスロットは、ケンジントンセキュリティスロットと互換性があります。

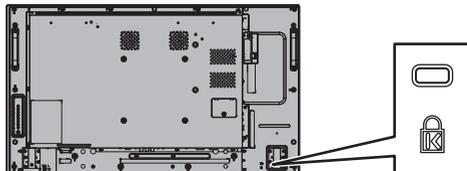
55V型



49V型



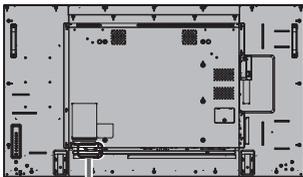
42V型



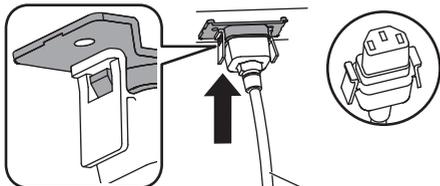
接続

電源コードの接続と固定

本体後面



電源コードの固定方法



電源コード（付属）

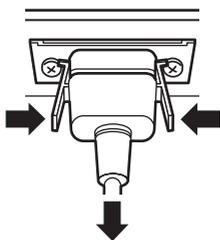
コネクタを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

お願い

- 左右のロックが掛かっていることを確認してください。

電源コードを外すとき



コネクタ横のつまみを押しながら抜いてください

お願い

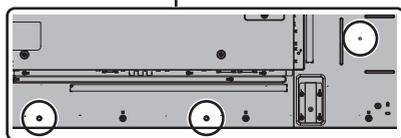
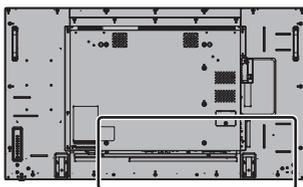
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

接続ケーブルの固定

お願い

- 本機はクランパーを3本付属しています。下の図のように3ヵ所の穴でケーブルを固定してください。クランパーをご購入される場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。（サービスルート扱い）

55V型

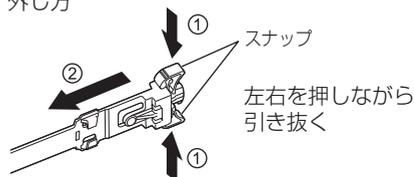


- 42V型および49V型も穴の配置は同じです。

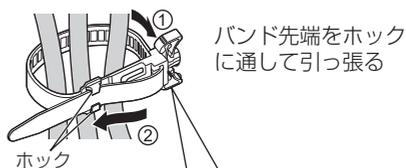
1. クランパーの取り付け



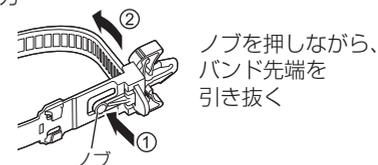
外し方

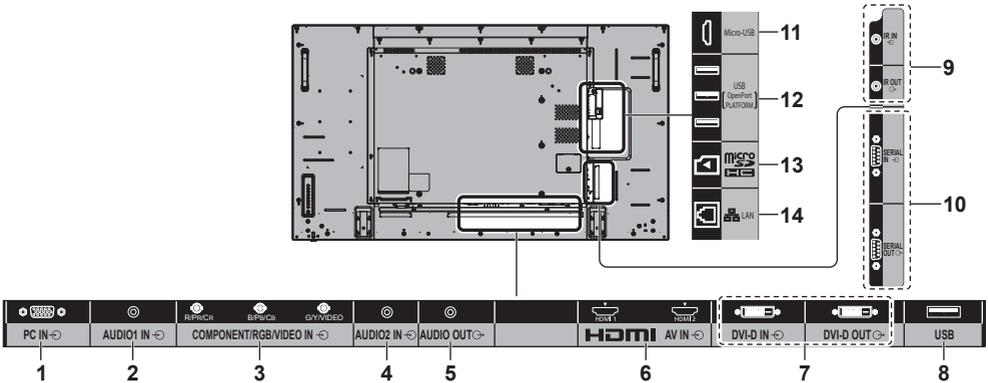


2. ケーブルを束ねる



緩め方





1 PC IN : パソコン入力端子
パソコンの映像端子、YP_BP_R/YC_BC_R または RGB 出力のある映像機器を接続します。
(☞ 20 ページ)

2 AUDIO1 IN : DVI-D IN と PC IN 共用の音声入力端子
(☞ 19・20 ページ)

3 COMPONENT/RGB/VIDEO IN : コンポーネント / RGB ビデオ入力端子 (R/P_R/C_R、B/P_B/C_B、G/Y)
YP_BP_R/YC_BC_R または RGB 出力のある映像機器を接続します。
(☞ 22 ページ)

コンポジットビデオ入力端子 (VIDEO)

コンポジット信号出力のある映像機器を接続します。
(☞ 21 ページ)

4 AUDIO2 IN : COMPONENT/RGB IN と VIDEO IN 共用の音声入力端子
(☞ 21、22 ページ)

5 AUDIO OUT : アナログ音声出力端子
アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。
(☞ 25 ページ)

6 AV IN HDMI 入力端子
(HDMI 1、HDMI 2) :
ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像機器を接続します。
(☞ 18 ページ)

7 DVI-D IN、DVI-D OUT : DVI-D 入力 / 出力端子
DVI-D 出力がある映像機器を接続します。また、複数台デジチェーン接続で映像を映す際、もう一方のディスプレイと接続します (DVI-D OUT)。
DVI-D 出力機能は DVI-D 入力を受像時のみ有効です。
(☞ 19 ページ)

8 USB : USB 端子
USB メモリーを接続して USB メディアプレーヤー機能を使用します。また、受像時に 5V/1A まで外部機器に電源を供給する事ができます。
(☞ 25 ページ)

9 IR IN、IR OUT : 赤外線信号入力 / 出力端子
1 台のリモコンで複数台のディスプレイを操作するときに使用します。
(☞ 24 ページ)

10 SERIAL IN、 シリアル入力 / 出力端子

SERIAL OUT : パソコンに接続して本機を制御します。(☞ 22 ページ)

11 Micro-USB : MicroUSB 端子

Micro-USB ケーブルでパソコンと接続して、OpenPort PLATFORM システムのストレージ内のデータをパソコンから読み書きすることができます。(☞ 27 ページ)

12 USB (OpenPort PLATFORM) : OpenPort PLATFORM 用 USB 端子

OpenPort PLATFORM システムの外部ストレージとして USB メモリーを接続して使用します。(☞ 26 ページ)

また、OpenPort PLATFORM 入力で USB マウスや USB キーボードなどの USB 機器を接続して使用することができます。(☞ 38、39 ページ)

13 microSD : microSD カードスロット

OpenPort PLATFORM システムの外部ストレージとして microSD カードを装着して使用します。(☞ 26 ページ)

14 LAN : LAN 端子

ネットワークに接続して本機を制御します。(☞ 93 ページ)

OpenPort PLATFORM 入力では WEB ページを表示したり、サーバーからアプリをダウンロードしたりすることができます。(☞ 43、57 ページ)

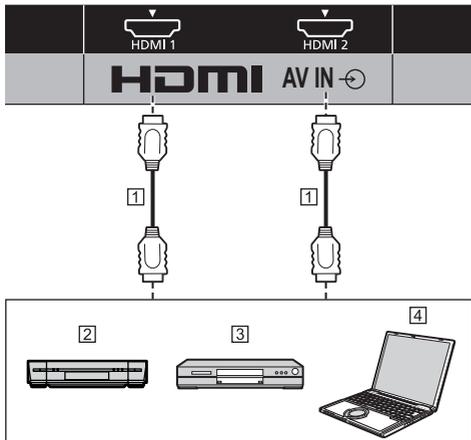
接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
 - ・ ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
 - ・ 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
 - ・ ケーブル接続時は、GND が先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 映像機器からの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター (TBC) の接続が必要です。
- 映像出力の設定変更時など、パソコンや映像機器からの出力同期信号に乱れが発生した場合、一時的に映像に色の乱れが発生することがあります。
- 本機に接続できる信号はコンポジットビデオ信号、YCbCr/YPbPr 信号、アナログ RGB 信号、およびデジタル信号です。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が表示できる映像信号については「プリセット信号」(☞ 105 ページ) をご覧ください。

HDMI 1・HDMI 2 端子の接続例

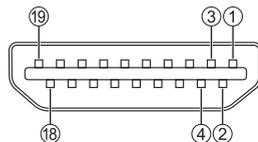
お知らせ

- 映像機器や HDMI ケーブルは本機に付属していません。
- 一部の HDMI 機器で映像を表示できないものがあります。
- 音声は AUDIO1 IN または AUDIO2 IN 端子入力を利用することもできます。(「Audio input select」機能について 88 ページ)
- 本機は、HDMI-CEC (HDMI Consumer Electronics Control) (VIERA LINK) には対応していません。



- ① HDMI ケーブル (市販品)
- ② ビデオデッキ
- ③ DVD プレーヤー
- ④ パソコン

HDMI 端子のピン配列と信号名



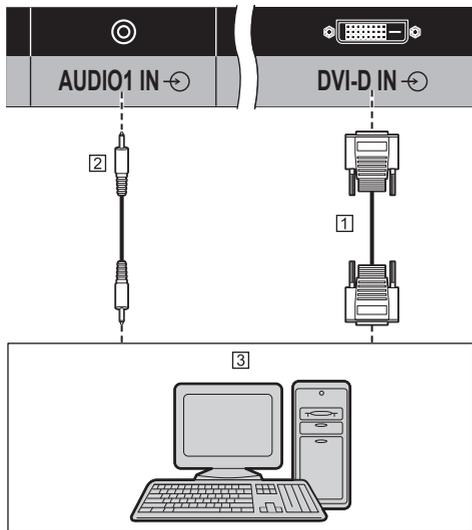
ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2 +
②	T.M.D.S データ 2 シールド
③	T.M.D.S データ 2 -
④	T.M.D.S データ 1 +
⑤	T.M.D.S データ 1 シールド
⑥	T.M.D.S データ 1 -
⑦	T.M.D.S データ 0 +
⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
⑨	T.M.D.S データ 0 -
⑩	T.M.D.S クロック+
⑪	T.M.D.S クロックシールド
⑫	T.M.D.S クロック-
⑬	_____
⑭	_____
⑮	SCL
⑯	SDA
⑰	グランド*
⑱	+5V 電源
⑲	ホットプラグ検出

DVI-D IN/DVI-D OUT 端子の接続例

お知らせ

- 映像機器や接続ケーブルは本機に付属していません。
- DVI-D IN 端子はシングルリンクにのみ対応しています。
- 音声は AUDIO2 IN 端子入力を利用することもできます。（「Audio input select」機能について [P.88](#) ページ）

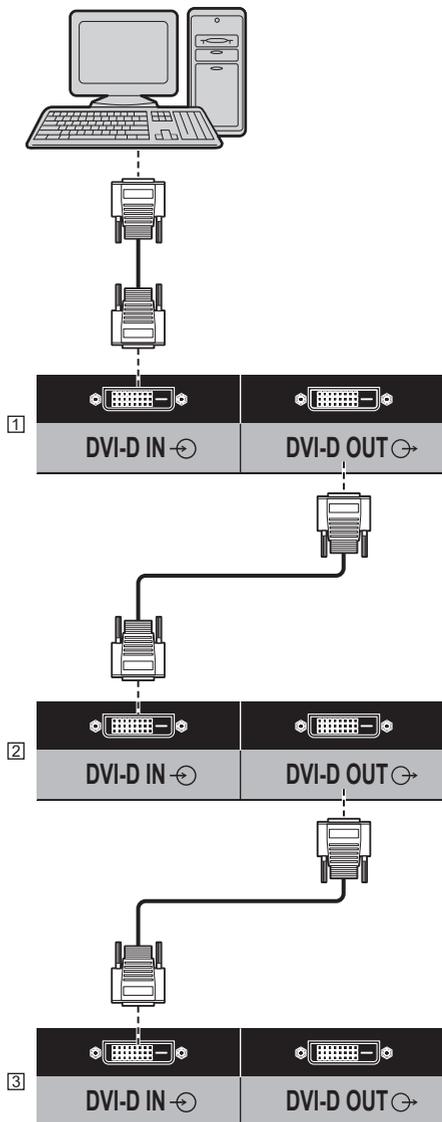
PC IN と共用



- ① DVI-D ケーブル（5m 以内）（市販品）
- ② ステレオミニプラグ（M3）ケーブル（市販品）
- ③ DVI-D 出力付きパソコン

デジチェーン接続（数珠つなぎ）

マルチ画面などで映像を映す場合に、本機を複数台デジチェーン接続（数珠つなぎ）することができます。

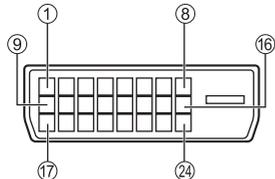


- ① 1 番目のディスプレイ
- ② 2 番目のディスプレイ
- ③ 3 番目のディスプレイ

お知らせ

- デイジーチェーン接続は最大 10 台まで可能ですが、ケーブルや信号、使用する機器などによって接続可能台数は制限される場合があります。
- デイジーチェーン時、HDCP 信号を入力する場合は、最大 8 台まで対応可能です。
- DVI-D 出力機能は DVI-D 入力を受像時に有効です。デイジーチェーン接続をする場合はすべてのディスプレイを DVI-D 入力の受像状態に設定してください。

DVI-D 入力 / 出力端子のピン配列と信号名

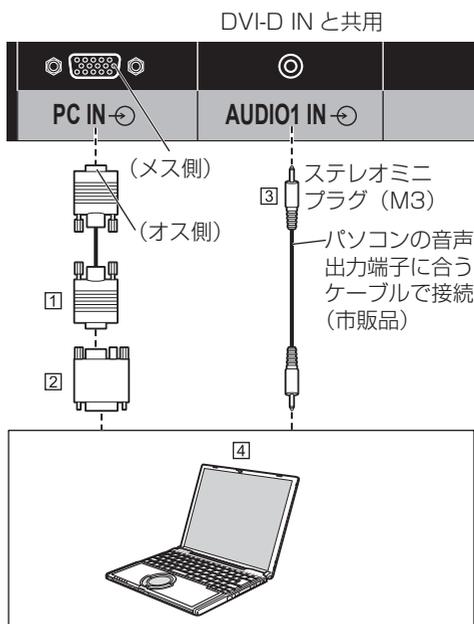


ピン No.	信号名
①	T.M.D.S. データ 2 -
②	T.M.D.S. データ 2 +
③	T.M.D.S. データ 2 シールド
④	_____
⑤	_____
⑥	DDC クロック
⑦	DDC データ
⑧	_____
⑨	T.M.D.S. データ 1 -
⑩	T.M.D.S. データ 1 +
⑪	T.M.D.S. データ 1 シールド
⑫	_____
⑬	_____
⑭	+5V 電源
⑮	GND (アース)
⑯	ホットプラグ検出
⑰	T.M.D.S. データ 0 -
⑱	T.M.D.S. データ 0 +
⑲	T.M.D.S. データ 0 シールド
⑳	_____
㉑	_____
㉒	T.M.D.S. クロック シールド
㉓	T.M.D.S. クロック +
㉔	T.M.D.S. クロック -

お願い

- DVI-D ケーブルは DVI 規格準拠のケーブルをご使用ください。(ケーブルの長さや質によって画質は劣化する場合があります)

PC IN 端子の接続例



- ① ミニ D-sub15 ピンケーブル (市販品)
- ② 変換アダプター〔必要なとき〕 (市販品)
- ③ ステレオミニプラグ (M3) ケーブル (市販品)
- ④ パソコン

接続できるパソコン信号の種類

- 本機は「プリセット信号」(☞ 105 ページ)に記載のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。(対応周波数は水平：30 kHz ~ 110 kHz、垂直：48 Hz ~ 120 Hz です。)
- 解像度は「ノーマル」で最大 1440 × 1080 ドット、「フル」で最大 1920 × 1080 ドットの表示が可能です。水平または垂直解像度が上記ドットを超えるものは簡易表示になり、細かい表示が十分判読できない場合があります。
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が「プリセット信号」(☞ 105 ページ)に該当しているかご確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。(パソコンの取扱説明書をご確認ください)

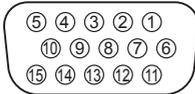
お願い

- この端子（ミニ D-sub15 ピン）は、コンポーネント（色差）ビデオ信号に対応しています。入力信号に合わせて「信号モード」メニューの「コンポーネント入力切換」で色差ビデオか RGB 入力の選択を行ってください。（[P.74](#) ページ）

お知らせ

- パソコンや接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。
- ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ（DDC2B）に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
- D-sub15 ピン端子の機種や Macintosh のパソコンを接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
※ パソコンのミニ D-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。
- パソコン信号の水平および垂直走査周波数を指定された周波数範囲を上回るまたは下回る範囲に設定しないでください。
- 音声は AUDIO2 IN 端子入力を利用することもできます。（「Audio input select」機能について [P.88](#) ページ）

パソコン入力端子（ミニ D-sub15 ピン）のピン配列と信号名

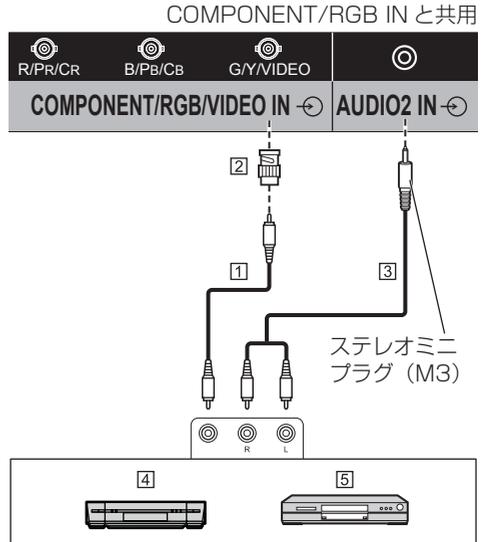


ピン No.	信号名
①	R (P _R / C _R)
②	G (Y)
③	B (P _B / C _B)
④	NC (無接続)
⑤	GND (アース)
⑥	GND (アース)
⑦	GND (アース)
⑧	GND (アース)
⑨	+5 V DC
⑩	GND (アース)
⑪	NC (無接続)
⑫	SDA
⑬	HD / SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

VIDEO IN 端子の接続例

お知らせ

- 映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。
- 音声は AUDIO1 IN 端子入力を利用することもできます。（「Audio input select」機能について [P.88](#) ページ）

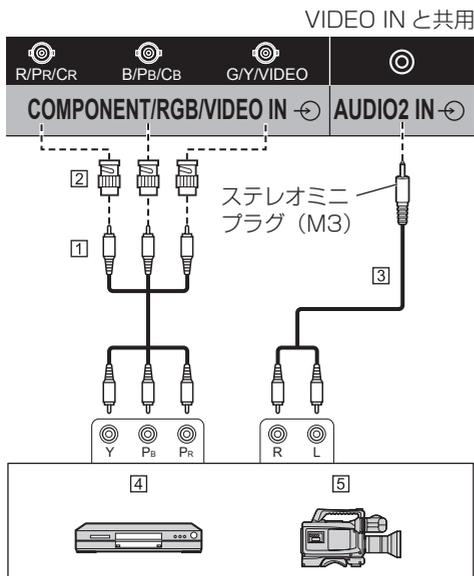


- 映像ピンケーブル（市販品）
- ピン-BNC 変換プラグ（市販品）
- ステレオ音声ケーブル（市販品）
- ビデオデッキ
- DVD プレーヤー

COMPONENT/RGB IN 端子の接続例

お知らせ

- 映像機器や接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。
- 音声は AUDIO1 IN 端子入力を利用することもできます。(「Audio input select」機能について 88 ページ)



- 1 映像ピンケーブル (市販品)
- 2 ピン-BNC 変換プラグ (市販品)
- 3 ステレオ音声ケーブル (市販品)
- 4 DVD プレーヤー
- 5 RGB カメラ

お願い

- COMPONENT/RGB IN 端子に接続された入力信号に合わせて、「信号モード」メニューの「コンポーネント入力切替」で色差ビデオが RGB 入力の選択を行ってください。(74 ページ)

お知らせ

- COMPONENT/RGB IN 端子に入力の RGB 信号は、「SYNC ON G」にのみ対応しています。

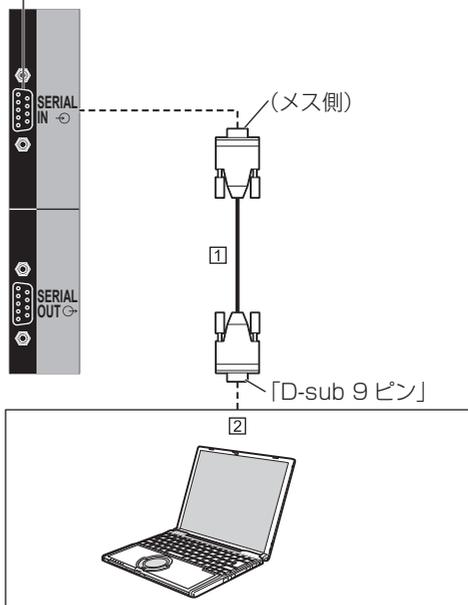
SERIAL (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

SERIAL (シリアル) 端子は RS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

お知らせ

- パソコンや接続ケーブルは本機に付属していません。

(オス側)

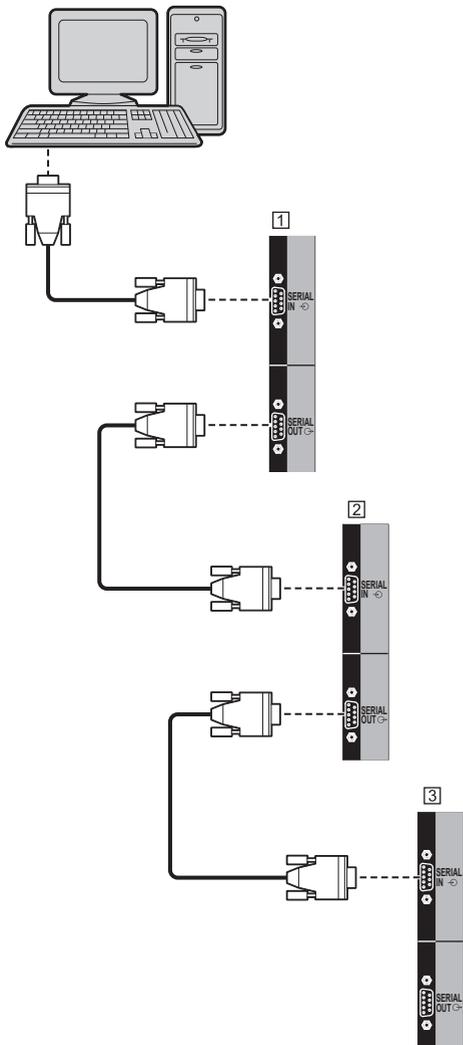


- 1 RS-232C ストレートケーブル (市販品)
- 2 パソコン

お願い

- SERIAL (シリアル) 端子とパソコンをつなぐ通信用 RS-232C ストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

また、本機を複数台デージーチェーン接続（数珠つなぎ）し、特定のディスプレイをパソコンで制御することもできます。

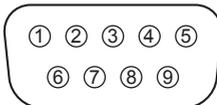


- ① 1 番目のディスプレイ
- ② 2 番目のディスプレイ
- ③ 3 番目のディスプレイ

お知らせ

- デージーチェーン接続する場合は「Options」メニューの「Serial daisy chain position」を設定してください。（[P.91](#) ページ）
- デージーチェーン接続する場合は、ピン No. ②～⑧が結線されているストレートケーブルを使用してください。

SERIAL（シリアル）端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	CD (NC)
②	RXD (受信データ)
③	TXD (送信データ)
④	DTR (未使用)
⑤	GND (アース)
⑥	DSR (未使用)
⑦	RTS
⑧	CTS] (本体側で短絡)
⑨	RI (NC)

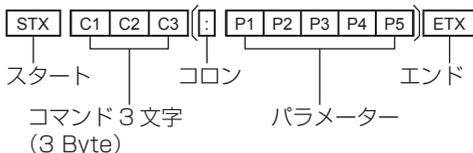
※パソコン側の仕様で記載しています。

通信条件

信号レベル：RS-232C 準拠
 同期方式：調歩同期（非同期）
 ボーレート：9600 bps
 パリティ：なし
 キャラクター長：8 ビット
 ストップビット：1 ビット
 フロー制御：なし

基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	***	音量 000 ~ 100
AMT	0	消音 オフ
	1	消音 オン
IMS	なし	入力切替 (トグル)
	OP1	OpenPort PLATFORM 入力 (OpenPort PLATFORM)
	HM1	HDMI 1 入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI 2 入力 (HDMI2)
	DV1	DVI-D IN 入力 (DVI-D)
	PC1	PC IN 入力 (PC)
	VD1	VIDEO 入力 (VIDEO)
	YP1	COMPONENT 入力 (COMPONENT/RGB IN)
	UD1	USB 入力 (USB)
DAM	なし	画面モード切替 (トグル)
	ZOOM	ズーム 1
	FULL	フル
	NORM	ノーマル
	ZOM2	ズーム 2

お願い

- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合はコロンの (:) は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- 電源「スタンバイ」状態 (リモコンで電源「切」) 中は“PON”コマンド以外の動作は保証されません。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。

業務用ディスプレイ【まかせなサイト】

<http://panasonic.biz/prodisplays/>

IR IN/IR OUT 端子の接続例

1 番目のディスプレイの IR OUT 端子から、2 番目のディスプレイの IR IN 端子に、ミニプラグ (M3) ケーブルを使用して接続します。

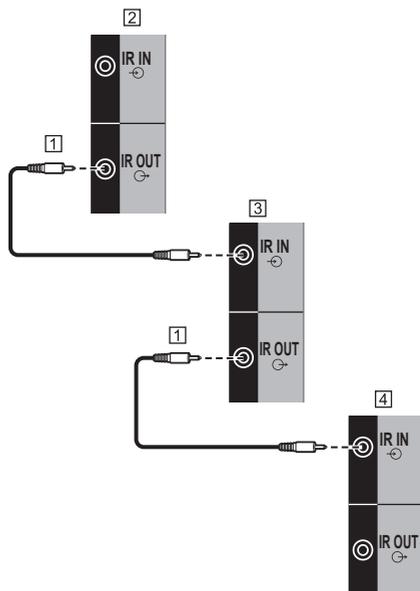
1 番目のディスプレイからの赤外線信号が、2 番目のディスプレイに送信されます。

このとき、2 番目のディスプレイの IR (リモコン受信部での赤外線受信) は動作しません。

なお、上記接続を繰り返すことで、デジチェーン接続が可能です。

お知らせ

- 接続ケーブルは本機に付属していません。
- 同一シリーズのディスプレイ同士でのみ、デジチェーン接続は可能です。

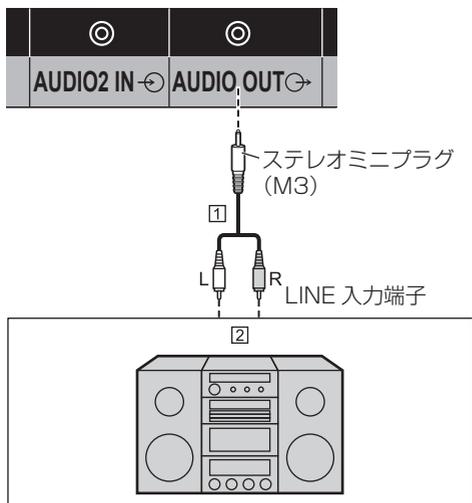


- ① ステレオミニプラグ (M3) ケーブル (市販品)
- ② 1 番目のディスプレイ
- ③ 2 番目のディスプレイ
- ④ 3 番目のディスプレイ

AUDIO OUT 端子の接続例

お知らせ

- オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



- ① ステレオ音声ケーブル (市販品)
- ② オーディオ機器

お願い

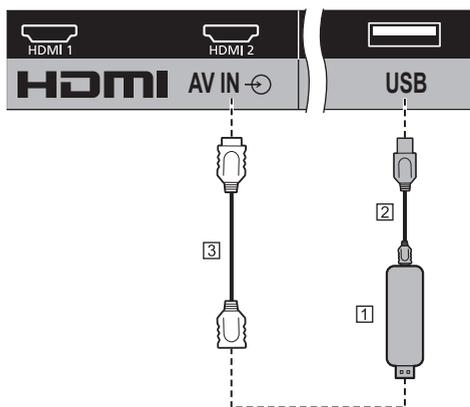
- 本機の AUDIO OUT 端子から音声を出力する場合は「音声の調整」メニューの「出力切換」を必ず「外部出力」に設定してください。(P.65 ページ)

USB 端子の接続例

市販の USB メモリーを接続して USB メディアプレーヤー機能を使用します。(P.98 ページ)
また、別売のスティック PC などを接続した場合に、電源を供給します。

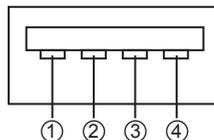
お知らせ

- スティック PC や接続ケーブルは本機に付属していません。



- ① スティック PC
- ② USB ケーブル (市販品)
- ③ HDMI 延長ケーブル (市販品)

USB 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	+5 V DC
②	DATA -
③	DATA +
④	GND (アース)

受像時に 5V/1A まで外部機器に電源を供給することができます。

- 供給能力以上に電流を流すと、出力が遮断され画面に次のメッセージが表示されます。

「USB 端子 (DC5V 出力) の過電流を検出しました。
ケーブルや接続機器を取り外して
ディスプレイの電源をオフ / オンしてください。」

この場合は接続機器を取り外し、リモコン等で電源を切 / 入してください。

お願い

- スティック PC などのサイズにより、本機に直接接続できない場合は市販の延長ケーブルをご使用ください。
- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。市販の延長ケーブルをご使用、または本機に接続可能な小型タイプの USB メモリーをご使用ください。
- USB メモリーによっては、アクセスしていない状態でも、アクセスランプが点滅したままになる場合があります。その場合は、入力を USB 以外に切り換え後に取り外してください。
また、データクローニング実行時には、終了の画面表示後に取り外してください。(P.102 ページ)

microSD カードを使う

microSD カードスロットに市販の microSD カードを装着して、OpenPort PLATFORM システムの外部ストレージとして使用します。(☞ 42 ページ)

■ 本機で利用できる microSD カードについて

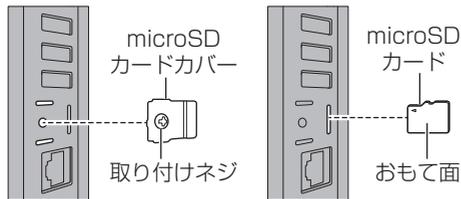
本機では、SD 規格に準拠した以下の microSD カードが使用できます。

(本書では、これらを microSD カードと記載しています。)

- ・ microSD メモリーカード (64 MB ~ 2 GB)
- ・ microSDHC メモリーカード (4 GB ~ 32 GB)

本機で利用できるのは FAT16 または FAT32 でフォーマットされた microSD カードです。

■ microSD カードを入れる・取り出す



1 ドライバーで microSD カードカバー (盗難防止カバー) の取り付けネジを緩め、カバーを外す。

2 microSD カードのおもて面を本機の後面へ向け、「カチッ」と音がするまで確実に差し込む。

- 取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し込み、まっすぐ引き抜いてください。

3 カバーを元の状態に取り付ける。

お願い

- microSD カードの接続端子部には触れないでください。
- microSD カードのカバーの付け外しは本体の電源ボタンで電源を切ってから行ってください。
- 取り外したカバーは紛失しないように気を付けて、必ず元の状態に取り付けてください。
- microSD カードの動作中に、本体の電源を切ったり、microSD カードを抜いたり、振動や衝撃、静電気を与えたりしないでください。保存したデータが消えたり、故障の原因となります。
- microSD カードを取り出すときは SD カードのマウント解除を行ってください。(☞ 53 ページ)
- 規格外の microSD カード、microSD カード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。

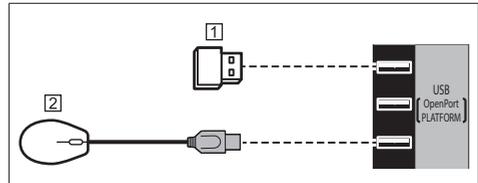
USB (OpenPort PLATFORM) 端子の接続例

USB (OpenPort PLATFORM) 端子に市販の USB メモリーを接続して、OpenPort PLATFORM システムの外部ストレージとして使用します。(☞ 42 ページ)

また、OpenPort PLATFORM 入力で市販の USB マウスや USB キーボードなどの USB 機器を接続して使用することができます。(☞ 38、39 ページ)

お知らせ

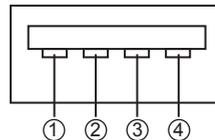
- USB メモリーや USB 機器、接続ケーブルは本機に付属していません。



① USB メモリー

② USB マウス (市販品)

USB (OpenPort PLATFORM) 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	+5 V DC
②	DATA -
③	DATA +
④	GND (アース)

USB (OpenPort PLATFORM) の各端子において、受像時および電源ランプが橙色点灯のスタンバイ時 (☞ 28 ページ) に 5V/500mA まで外部機器に電源を供給する事ができます。

- 供給能力以上に電流を流すと、出力が遮断され、画面に次のメッセージが表示されます。(スタンバイ時は次の受像時に表示されます。)

「USB 端子 (DC5V 出力) の過電流を検出しました (OpenPort PLATFORM)。

ケーブルや接続機器を取り外して

ディスプレイの電源をオフ / オンしてください。」

この場合は接続機器を取り外し、本体の電源ボタンで電源を切 / 入してください。

■ 対応 USB メモリーについて

- 市販の USB メモリーに対応しています。(セキュリティ機能がついたものは非対応。動作保証外です。)
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたものの以外は使用できません。
- USB の最大メモリサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。

お願い

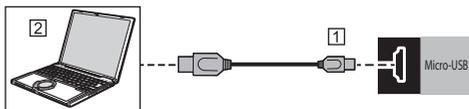
- USB メモリーを取り出すときは USB メモリーのマウント解除を行ってください。(P.53 ページ)
- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。市販の延長ケーブルをご使用、または本機に接続可能な小型タイプの USB メモリーをご使用ください。
- 本機に接続する USB 機器もサイズにより、本機に直接接続できない場合は市販の延長ケーブルをご使用ください。

Micro-USB 端子の接続例

Micro-USB ケーブルでパソコンと接続して、OpenPort PLATFORM システムのストレージ内のデータをパソコンから読み書きすることができます。

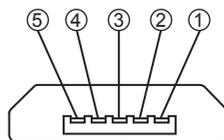
お知らせ

- パソコンや接続ケーブルは本機に付属していません。



- ① Micro-USB ケーブル (市販品)
- ② パソコン

Micro-USB 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	+5 V DC
②	DATA -
③	DATA +
④	ID
⑤	GND (アース)

Micro-USB 端子において、受像時および電源ランプが橙色点灯のスタンバイ時 (P.28 ページ) に 5V/500mA まで外部機器に電源を供給する事ができます。

- 供給能力以上に電流を流すと、出力が遮断され、画面に次のメッセージが表示されます。(スタンバイ時は次の受像時に表示されます。)

「USB 端子 (DC5V 出力) の過電流を検出しました (OpenPort PLATFORM)。

ケーブルや接続機器を取り外して
ディスプレイの電源をオフ / オンしてください。」

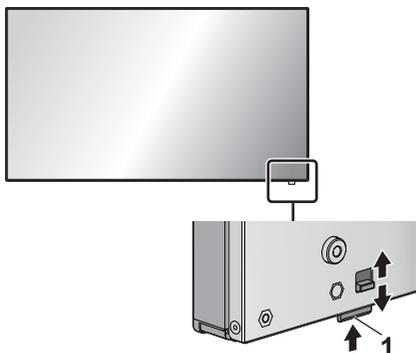
この場合は接続機器を取り外し、本体の電源ボタンで電源を切 / 入してください。

お願い

- Micro-USB ケーブルは、無理な力がかからないようにまっすぐゆっくりと抜き差ししてください。

各部の基本説明

ディスプレイ本体



- 電源ランプおよびリモコン受信部は後面のレバーをスライドして引き出してください。収納の際は、同レバーをスライドさせる、または受信部底面を直接押し込んでください。

お願い

- 通常時は後面のレバーを操作して電源ランプおよびリモコン受信部を本体の端面より引き出してご使用ください。マルチ画面での使用など設置状況に応じて、同部を本体内に収納してご使用ください。

1 電源ランプ／リモコン受信部

ディスプレイ本体の電源「入」のとき（電源ボタン「入」）

- 映像表示状態：緑色点灯
- リモコンで「切」（スタンバイ）：
 - ・ 「OpenPort PLATFORM スタンバイ」が「オフ」のとき：赤色点灯
 - ・ 「OpenPort PLATFORM スタンバイ」が「オン」のとき：橙（赤 / 緑）色点灯

「OpenPort PLATFORM スタンバイ」設定について☞ 78 ページ

- 「パワーマネージメント」機能で電源「切」（スリープ）：橙（赤 / 緑）色点灯

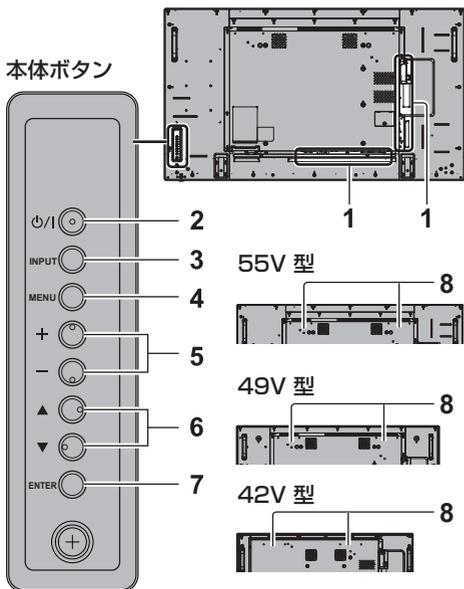
「パワーマネージメント」機能について☞ 77 ページ

ディスプレイ本体の電源「切」のとき（電源ボタン「切」）：消灯

お知らせ

- ディスプレイ本体の電源「切」で電源ランプが消灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが橙色の場合は赤色の場合に比べて、スタンバイ / スリープ状態の電力が一般に増加します。
- 電源ランプが受像状態の緑色から赤色あるいは消灯に移行する際、OpenPort PLATFORM システムのシャットダウン動作中は一時的に橙色となり、その間はリモコンの操作を受け付けられない状態となります。
- 電源ランプが橙色のスタンバイ / スリープ状態時に本体の電源ボタンを押すと、1 回点滅後に OpenPort PLATFORM システムのシャットダウン（☞ 35 ページ）が始まります。シャットダウンが終了すると電源ランプは消灯します。

本体ボタン



1 外部入力端子

映像機器やパソコンなどを接続します。(P. 16 ページ)

2 電源ボタン (φ/I)

電源を「入」「切」します。

3 INPUT ボタン

接続された機器を選択します。(P. 33 ページ)

- OpenPort PLATFORM 操作モード時
EXIT : OpenPort PLATFORM 操作モードを抜けて OpenPort PLATFORM 以外の入力操作に戻ります。(P. 37 ページ)

4 MENU ボタン

メニュー画面を表示します。(P. 61 ページ)

- OpenPort PLATFORM 入力時
OpenPort PLATFORM 操作モードに切り換ります。(P. 37 ページ)
- OpenPort PLATFORM 操作モード時
BACK : 前の画面に戻ります。
HOME : 長押しするとホーム画面を表示します。(P. 37 ページ)

5 + - ボタン

音量を調整します。(P. 34 ページ)

メニュー画面で設定の切り換えやレベルを調整します。(P. 61 ページ)

- OpenPort PLATFORM 操作モード時
RIGHT、LEFT : カーソルを左右に移動します。
KEYBOARD : - ボタンを長押しするとソフトウェアキーボードを表示します。(P. 37 ページ)

6 ▲▼ ボタン

メニュー画面で設定項目を選択します。(P. 61 ページ)

- OpenPort PLATFORM 操作モード時
UP、DOWN : カーソルを上下に移動します。(P. 37 ページ)

7 ENTER ボタン

メニュー画面で項目を決定します。(P. 61 ページ)
画面モードを切り換えます。(P. 59 ページ)

- OpenPort PLATFORM 操作モード時
ENTER : 項目を決定します。
LONG PRESS ENTER : 長押しが必要な操作に対応します。(P. 37 ページ)

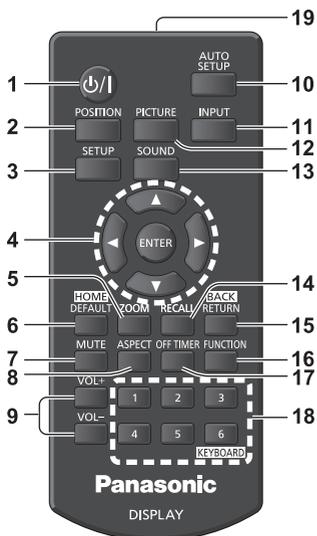
8 内蔵スピーカー

お願い

- 本機の内蔵スピーカーから音声を出力する場合は「音声の調整」メニューの「出力切換」を必ず「スピーカー」に設定してください。(P. 65 ページ)

お知らせ

- OpenPort PLATFORM のボタン操作について、詳しくは 37 ページをご覧ください。



1 電源ボタン (⏻ / I)

- ディスプレイ本体の電源ボタンが「入」状態で電源を入/切します。
([P.31](#))

2 POSITION ボタン

- ([P.63](#))

3 SETUP ボタン

- ([P.73](#))

4 ENTER ボタン / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。
([P.61](#))
- OpenPort PLATFORM 入力時
項目の決定、カーソルを上下左右に移動します。
([P.36](#))

5 ZOOM ボタン

- デジタルズームモードにします。
([P.60](#))

6 DEFAULT/HOME ボタン

- 映像や音声などの調整状態を標準値に戻します。
([P.63](#)・[P.65](#)・[P.66](#))
- OpenPort PLATFORM 入力時
ホーム画面を表示します。
([P.36](#))

7 MUTE ボタン

- 音声を一時的に消します。
([P.34](#))

8 ASPECT ボタン

- 画面モード (アスペクト) を選択します。
([P.59](#))

9 VOL - ボタン / VOL + ボタン

- 音量を調節します。
([P.34](#))

10 AUTO SETUP ボタン

- 画面の位置/サイズを自動補正します。
([P.63](#))

11 INPUT ボタン

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。
([P.33](#))

12 PICTURE ボタン

- ([P.66](#))

13 SOUND ボタン

- ([P.65](#))

14 RECALL ボタン

- 入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。
([P.33](#))

15 RETURN/BACK ボタン

- 1つ前のメニュー画面に戻します。
([P.61](#))
- OpenPort PLATFORM 入力時
前の画面に戻ります。
([P.36](#))

16 FUNCTION ボタン

- ファンクションガイドを表示します。
([P.82](#))

17 OFF TIMER ボタン

- 自動的に電源を切ります。
([P.34](#))

18 数字 (1~6) ボタン / KEYBOARD ボタン

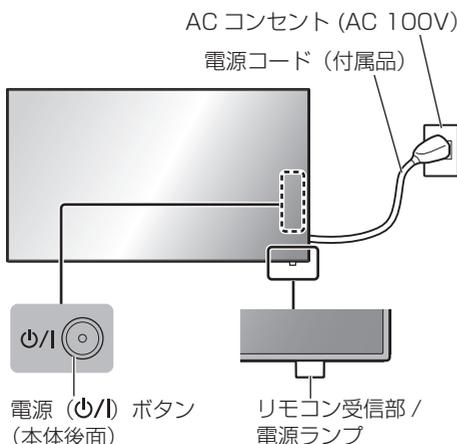
- よく使う操作をボタンに割り当て、ショートカットボタンとして使用します。
([P.82](#))
- OpenPort PLATFORM 入力時
<KEYBOARD> を押すとソフトウェアキーボードを表示します。
([P.36](#))

19 リモコン発信部

お知らせ

- 本書では <INPUT> のようにリモコンや本体のボタンを <> で表しています。
また、主にリモコンのボタンで操作説明をしています。本体に同様のボタンがある場合は、いずれのボタンもご使用になれます。

基本の操作



リモコンはリモコン受信部へ向けて
操作してください



お願い

- 通常時、リモコン受信部は後面のレバーを操作して本体の端面より引き出してご使用ください。(☞ 28 ページ)
- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンはリモコン受信部の正面あるいはリモコン受信部を見通せる方向から同部へ向けて操作してください。
- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信正面より約 7m 以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 電源コードをディスプレイに接続する

(☞ 15 ページ)

2 電源プラグをコンセントへ接続する

(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

お願い

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くと、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間を空けてから電源プラグを抜くか、リモコンや RS-232C 制御または LAN 制御で電源「切」を実行後に電源プラグを抜いてください。

3 本体の電源 (⏻/⏻) ボタンを押し 電源を「入」にする

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

- 本体の電源が「入」のとき、リモコンで操作ができます。

リモコンで「入」「切」する

電源を入れる

- 本体の電源「入」(電源ランプ --- 赤色または橙色) で電源ボタン (⏻/⏻) を押すと受像します。

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

電源を切る

- 電源「入」(電源ランプ --- 緑色) で電源ボタン (⏻/⏻) を押すと電源「切」になります。

「OpenPort PLATFORM スタンバイ」が
「オフ」のとき

電源ランプ：赤色点灯 (スタンバイ)

「OpenPort PLATFORM スタンバイ」が
「オン」のとき

電源ランプ：橙 (赤 / 緑) 色点灯 (スタンバイ)

(「OpenPort PLATFORM スタンバイ」
設定について ☞ 78 ページ)

本体の電源 (⓪/Ⓛ) ボタンで電源を「切」にする

- 電源が「入」(受像状態：電源ランプ緑色点灯) のとき本体の電源 (⓪/Ⓛ) ボタンを押すと、電源ランプが橙色になり、それが消灯となるとディスプレイ本体の電源が切れます。橙色点灯中はリモコンの操作を受け付けられない状態となります。
- 電源が「入」(スタンバイ/スリープ：電源ランプ橙色点灯) のとき本体の電源 (⓪/Ⓛ) ボタンを押すと、一瞬電源ランプが消灯した後、橙色点灯になり、それが消灯となるとディスプレイ本体の電源が切れます。橙色点灯中はリモコンの操作を受け付けられない状態となります。
- 電源が「入」(スタンバイ：電源ランプ赤色点灯) のとき本体の電源 (⓪/Ⓛ) ボタンを押すと、電源ランプが消灯となり、ディスプレイ本体の電源が切れます。

お知らせ

- 「パワーマネージメント」機能が働くとき電源が「切」(スリープ) になり、電源ランプは橙色で点灯します。(「パワーマネージメント」機能について 477 ページ)

■初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。

1 ▲▼でご利用の言語を選択し、<ENTER> を押す



2 縦置き設置をする場合は

▲▼で「縦」を選択し、<ENTER> を押す



お知らせ

- これらの画面は一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。再設定が必要な場合は、次のメニューで設定してください。

表示言語切換 479 ページ

ディスプレイ設置 483 ページ

- 「ディスプレイ設置」を「縦」に設定した場合は、OpenPort PLATFORM の再起動を確認するメッセージが表示されます。

■電源「入」時のメッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。

無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。(479 ページ)

お知らせ

- OpenPort PLATFORM 入力時、「無操作自動オフ」機能は動作しません。「無操作自動オフ機能が有効です。」のメッセージも表示されません。
- 「無操作自動オフが働きました。」のメッセージは、電源を「入」時に OpenPort PLATFORM 入力だった場合も表示されます。

パワーマネージメントお知らせメッセージ

パワーマネージメントが働きました。

「パワーマネージメント」が働いた場合、電源を入れたときにお知らせメッセージが表示されます。(477 ページ)

これらのメッセージは、次のメニューで設定できます。

- ・「[Options]」メニュー
Power on message(No activity power off) (492 ページ)
Power on message(Power management) (492 ページ)

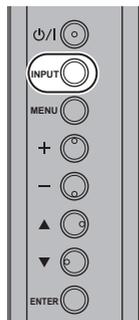
入力信号を切り換える

本機に入力された信号を選択します。

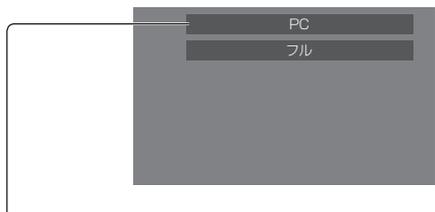
リモコンまたは本体の <INPUT> を押す



本体ボタン



押すごとに入力切り換わります。



OpenPort PLATFORM → HDMI 1 → HDMI2
→ DVI-D → PC → COMPONENT* → VIDEO
→ USB

OpenPort PLATFORM :

本機に内蔵の OpenPort PLATFORM システム

HDMI1 : HDMI 1 端子の HDMI 入力

HDMI2 : HDMI 2 端子の HDMI 入力

DVI-D : DVI-D IN 端子の DVI-D 入力

PC : PC IN 端子のパソコン入力

COMPONENT* : COMPONENT/RGB IN 端子のコンポーネント入力

VIDEO : VIDEO 端子のコンポジットビデオ入力

USB : USB 端子の USB 入力

※ 「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。
(☞ 74 ページ)

お知らせ

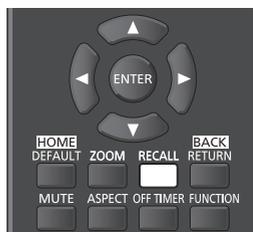
- 「入力表示書換設定」で設定した信号名を表示します。
(☞ 77 ページ)
- 「Input lock」が「Off」以外の設定のときは入力は切り換わりません。
(☞ 89 ページ)

- 静止画を長時間映すと、液晶パネルに映像の焼き付き(残像現象)が発生する場合があります。このような現象を軽減するため、スクリーンセーバー機能と画面位置移動のご利用をおすすめします。
(☞ 76・78 ページ)

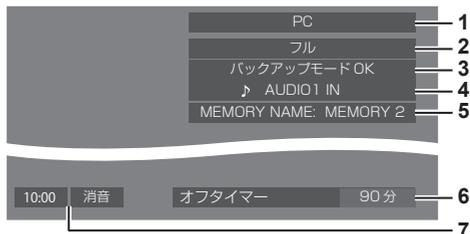
入力信号・画面モードなどを知りたいとき

入力信号・画面モードなどの各種設定状態の確認ができます。

<RECALL> を押す



現在の設定内容が表示されます。



- 1 入力信号
- 2 画面モード (☞ 59 ページ)
- 3 バックアップ入力ステータス (☞ 87・88 ページ)
- 4 音声入力 (☞ 88 ページ)
- 5 メモリー名 (☞ 71 ページ)
- 6 オフタイマー残り時間 (☞ 34 ページ)
- 7 時計/消音 (☞ 34、54 ページ)

・ 選択している入力に映像信号がない場合は、最後に「無信号」が、USB 入力時に USB 端子に USB メモリーが接続されていない場合は「外部メディア無し」が、約 30 秒間表示されます。

OpenPort PLATFORM 入力時には無信号の判別はされません。

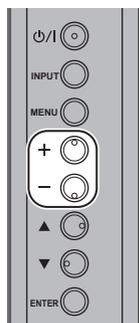
・ 時計表示をするには、OpenPort PLATFORM の「日付と時刻」を設定し、「Clock display」を「On」に設定してください。(☞ 54・91 ページ)

音量を調整する

リモコンの <VOL +> <VOL -> または
本体の <+> <-> を押して音量を調節する



本体ボタン



音量 (スピーカー) 20

- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。
- 「Maximum VOL level」(最大音量設定) が「On」のときは、設定した音量まで上げると表示 (数値) は赤色になり、設定した音量以上にはなりません。(☞ 89 ページ)
- 「Initial VOL level」(スタート音量設定) が「On」のときは、電源「入」時は設定した音量になります。(☞ 89 ページ)

消音を使う

一時的に音声を消したいとき、来客や電話などの
対応のとき便利です。

<MUTE> を押す

画面に「消音」の表示が出て音が消えます。再度押すと解除されます。



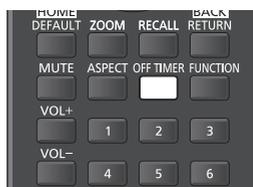
- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されません。
- 消音設定中は、操作後に「消音」の表示が出てお知らせします。

オフタイマー (OFF TIMER) を使う

タイマー設定 (30 分、60 分、90 分) で自動的に電源を切ることができます。

<OFF TIMER> を押すことに、タイマー設定時間が選択できます。

0 分 → 30 分 → 60 分 → 90 分 → 0 分 (解除)



- タイマーが切れる 3 分前になると残り時間を点滅 (赤色) 表示した後、電源が切れます。
- オフタイマー残り時間を知りたいときは <RECALL> を押します。
- オフタイマー動作中に停電などで電源が切れると、オフタイマーは解除されます。その後、電源が入るとスタンバイ状態になります。

お知らせ

- OpenPort PLATFORM システムが再起動中など、状態によりオフタイマーが動作しない場合があります。

OpenPort PLATFORM の起動

本機は Android をベースとした OpenPort PLATFORM システムを搭載しています。
入力切換を OpenPort PLATFORM にして使用します。(☞ 33 ページ)

起動

電源ランプが消灯の電源「切」状態あるいは赤色点灯のスタンバイ状態からの起動時、OpenPort PLATFORM システムの起動処理を行います。

OpenPort PLATFORM 入力選択状態で起動中に起動画面が表示されます。



お知らせ

- 起動時間は約 40 秒です。初回起動時は約 70 秒かかります。
- 「Options」-「Startup logo」を「On」に設定している場合には、Panasonic ロゴに続けて表示されます。(☞ 90 ページ)
- 電源ランプが橙色点灯のスタンバイ状態やスリープ状態においては OpenPort PLATFORM システムは動作を継続しており、この状態からの起動時には起動画面は表示されません。
- OpenPort PLATFORM が何らかの要因で応答できなくなった場合、自動的に再起動して復帰処理を行います。

終了 (シャットダウン)

本体の電源ボタンで電源「切」時あるいは「初期設定」-「OpenPort PLATFORM スタンバイ」を「オフ」に設定 (☞ 78 ページ) している場合のリモコンなどでの電源オフ時、OpenPort PLATFORM システムのシャットダウン処理を行います。

シャットダウン中、電源ランプは緑色点灯から橙色点灯になり、「OpenPort PLATFORM のシャットダウン中です。しばらくお待ちください。」のメッセージが表示されます。

お知らせ

- シャットダウン時間は約 30 秒です。
- OpenPort PLATFORM システムのシャットダウン中は、リモコン操作や外部からの制御コマンドを受け付けません。
- OpenPort PLATFORM システムをシャットダウンしたスタンバイ状態（電源ランプ：赤色点灯）では有線 LAN および無線 LAN によるネットワークは切断され、電源オンは次の操作のみ有効となります。（「初期設定」-「タイマー設定」による電源オンも動作しません。(☞ 80 ページ)）
 - ・ リモコンの電源ボタンによる電源「入」
 - ・ SERIAL 端子からの「PON」コマンド受信

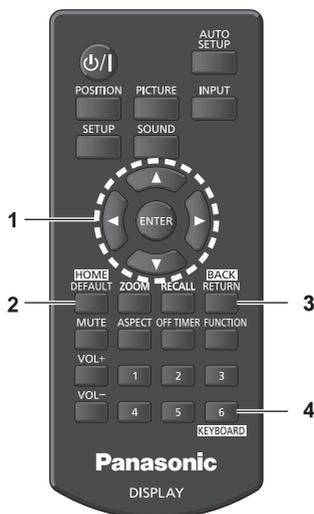
OpenPort PLATFORM システムを強制的にシャットダウンさせる方法

「ツール」-「シャットダウン」(☞ 56 ページ)

「OpenPort PLATFORM Shutdown」(☞ 107 ページ)

OpenPort PLATFORM の基本操作 / 文字入力

リモコン



以下のリモコンボタンで OpenPort PLATFORM 用の専用操作を行います。

1 ENTER ボタン / カーソルボタン

- 項目の決定、カーソル（フォーカス）を上下左右に移動します。

※ボタンを操作して初めてアイコンや項目がフォーカスされる場合があります。

2 HOME ボタン

- ホーム画面を表示します。

3 BACK ボタン

- 前の画面に戻ります。

4 KEYBOARD ボタン

- ソフトウェアキーボードを表示 / 非表示します。

お知らせ

- OpenPort PLATFORM 操作以外のボタン操作については 30 ページをご覧ください。
- オンスクリーンが表示されている時、リモコンによる OpenPort PLATFORM 用の専用操作はできません。オンスクリーンを消してから、または消えてから操作してください。
- リモコンで操作できないアプリがあります。その場合は USB マウス(市販品)で操作してください。(P. 38 ページ)

本体ボタン

■ OpenPort PLATFORM 操作モード

リモコンの代わりに本体ボタンで OpenPort PLATFORM の操作を行うことができます。

1 OpenPort PLATFORM 入力時に本体の <MENU> ボタンを押す。

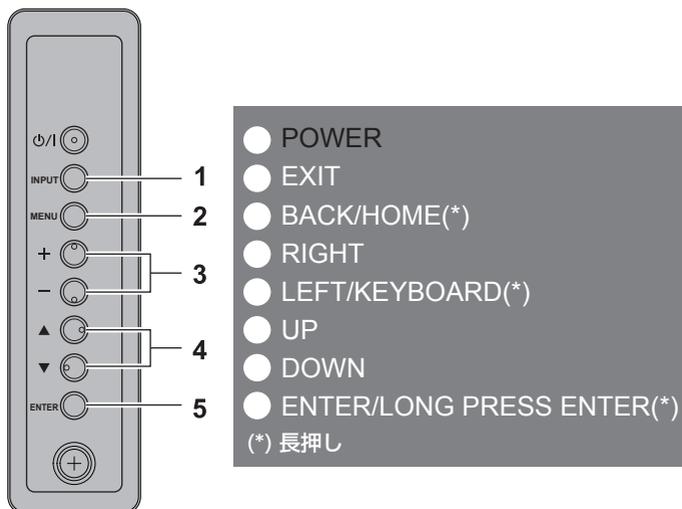
下の画面が表示されます。



2 <+> または <-> で「はい」を選んで <ENTER> を押す

OpenPort PLATFORM の操作モードになり、本体ボタンの操作ガイドが表示されます。

OpenPort PLATFORM の操作モードを抜けると操作ガイドは消えます。



1 INPUT ボタン

EXIT : OpenPort PLATFORM の操作モードを抜けて OpenPort PLATFORM 以外の入力操作に戻ります。

2 MENU ボタン

BACK : 前の画面に戻ります。

HOME(*) : 長押しするとホーム画面を表示します。

3 + ボタン

RIGHT、LEFT : カーソル（フォーカス）を左右に移動します。

KEYBOARD(*) : + ボタンを長押しするとソフトウェアキーボードを表示します。表示中に - ボタンを長押しすると表示が消えます。

4 ▲▼ボタン

UP、DOWN : カーソル（フォーカス）を上下に移動します。

5 ENTER ボタン

ENTER : 項目を決定します。

LONG PRESS ENTER(*) : 長押しが必要な操作に対応します。

※操作ガイドのマーク (*) は長押し操作を表しています。

USB マウス

USB マウス（市販品）で OpenPort PLATFORM 部の操作を行うことができます。

- USB マウスは USB（OpenPort PLATFORM）端子に接続してご使用ください。
- USB マウスではリモコンで操作できないスワイプやドラッグなどの操作ができます。
- リモコンで操作できないアプリがあります。その場合は USB マウスをご使用ください。
- 光学式マウスをご使用の場合、読み取り精度によってはマウスの移動を正しく反映できないものがあります。

ソフトウェアキーボード

OpenPort PLATFORM での文字入力時にソフトウェアキーボードを利用します。

ソフトウェアキーボードを表示させる、表示を消す  36、37 ページ

■ OpenPort キーボード

OpenPort PLATFORM 独自のソフトウェアキーボードです。

アルファベット入力時（小文字時）の例



数字・記号入力時の例



数学記号・通貨記号入力時の例



- 英数字と記号の入力に対応しています。
- 入力候補は表示されません。
- リモコンのカーソルボタンまたは <ENTER> ボタンで操作できます。
USB マウス（市販品）でも操作できます。
- 選択されているキーは拡大表示されます。
-   で入力位置を左右に移動することができます。

入力文字の切り替え

-  アルファベット入力の大文字 / 小文字を切り替えます。
-  アルファベット入力または数学記号・通貨記号入力から数字・記号入力へ切り替わります。
-  数字・記号入力から数学記号・通貨記号入力へ切り替わります。
-  数字・記号入力または数学記号・通貨記号入力からアルファベット入力へ切り替わります。

ソフトウェアキーボードの変更

「セットアップ」(または「ツール」 - 「設定」) - 「言語と入力」でソフトウェアキーボードを「OpenPort キーボード」から「Android キーボード (AOSP)」に変更することができます。(☞ 54 ページ)

■ Android キーボード (AOSP)

Android 標準のソフトウェアキーボードです。

アルファベット入力時の例



- 多言語入力に対応しています。
- 入力候補が表示されます。(アプリによっては表示されないことがあります)
- リモコンでは操作できません。USB マウスで操作できます。
- アプリによっては数字入力の専用のキーボードが表示されることがあります。

USB キーボード

ソフトウェアキーボードの代わりに、USB キーボード (市販品) で OpenPort PLATFORM 部の文字入力ができます。

- USB キーボードは USB (OpenPort PLATFORM) 端子に接続してご使用ください。
- キーボードによっては無効となるキー操作があります。
- キーボードレイアウト (言語別) の設定について ☞ 「セットアップ」(または「ツール」 - 「設定」) - 「言語と入力」(☞ 54 ページ)

操作アイコン

USB マウス (市販品) で操作時 (画面内のクリックなどで)、以下の操作アイコンが表示されます。



USB マウスでクリックして操作します。これらの操作アイコンはリモコンで選択 / 操作することはできません。

- BACK :** 前の画面に戻ります。(リモコンの <BACK> ボタンと同様の動作)
- HOME :** ホーム画面を表示します。(リモコンの <HOME> ボタンと同様の動作)
- RECENT APPS :** 最近使用したアプリの画面 (Android 標準の画面) を表示します。(☞ 58 ページ)

お知らせ

- 操作アイコンが表示されていない場合、マウスで画面の下端から上にスワイプすると表示されます。

OpenPort PLATFORM のホーム画面

OpenPort PLATFORM が起動すると、最初にホーム画面が表示されます。
ホーム画面には 6 つのボタンアイコンが表示されています。



リモコンのカーソルボタンでアイコンを選んで <ENTER> を押す

選んだアイコンの画面に移動します。

セットアップ： 「無線とネットワーク」、「言語と入力」および「日付と時刻」を設定します。(☞ 41 ページ)

インストーラー： 新たにアプリをインストールするときに使用します。(☞ 42 ページ)

ツール： 各種設定用のプリインストールアプリをまとめています。ここからアプリを起動することができます。(☞ 44 ページ)

お気に入り： お気に入りのアプリを登録しておき、ここからアプリを起動することができます。(☞ 44 ページ)

最近の使用： 以前に使用したアプリを表示します。ここからアプリを起動することができます。(☞ 46 ページ)

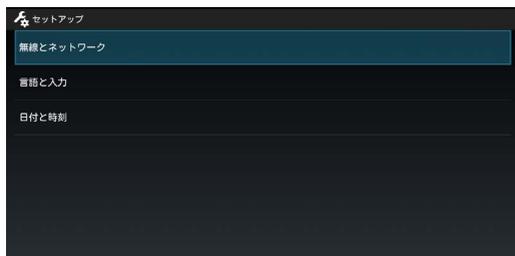
ステータス： 本機のモデル情報およびネットワーク関連の設定情報を確認することができます。(☞ 47 ページ)

お知らせ

- ホーム画面は、工場出荷設定で本機独自の画面「クイックランチャー」に設定されています。Android 標準の画面「ランチャー」に切り替えて使用することも可能です。(☞ 52 ページ)
- 本機では「クイックランチャー」を選択することを推奨します。
- 本書では「クイックランチャー」を選択した場合を中心に説明しています。
- OpenPort PLATFORM が起動時に、サイネージプレーヤーなど自動で起動するアプリが設定されていれば、そのアプリの画面が表示されます。(☞ 56 ページ)

OpenPort PLATFORM の「セットアップ」画面

ホーム画面で「セットアップ」ボタンアイコンを選択すると「セットアップ」アプリ画面が表示されます。「無線とネットワーク」、「言語と入力」および「日付と時刻」を設定します。



リモコンの▲▼で項目を選んで <ENTER> を押す

選んだ項目の設定画面に切り替わります。

<BACK> で「セットアップ」画面に戻ります。

無線とネットワーク： ネットワーク関連の各種設定を行います。

「ツール」-「設定」-「無線とネットワーク」からも設定が可能です。(☞ 50 ページ)
ネットワークを利用する場合は事前に設定してください。

言語と入力： 使用する言語の設定や入力方法などを設定します。

「ツール」 - 「設定」 - 「言語と入力」からも設定が可能です。(☞ 54 ページ)

日付と時刻： 日付と時刻を設定します。

「ツール」 - 「設定」 - 「日付と時刻」からも設定が可能です。(☞ 54 ページ)

お知らせ

- ネットワークに接続されていれば、日付と時刻を自動設定することが可能です。ただし、タイムゾーンの選択が必要になりますので、手動で設定してください。(☞ 55 ページ)
- ネットワークに接続しない場合は日付と時刻を手動で設定してください。(USB マウスで設定してください。)
- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、本機内部の電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ネットワークは有線 LAN と無線 LAN の両方が動作する状態では、有線 LAN が優先動作します。無線 LAN を使用される場合は、有線 LAN ケーブルを接続しない状態にしてご使用下さい。

OpenPort PLATFORM の「インストーラー」画面

ホーム画面で「インストーラー」ボタンアイコンを選択すると「インストーラー」アプリ画面が表示されます。

新たにアプリをインストールするときに使用します。

■外部ストレージ（microSD カード、USB メモリー（USB (OpenPort PLATFORM) 端子)) からアプリインストール

アプリのインストールファイルを外部ストレージの中から検索し、リストに表示します。



リスト表示からインストールファイルを選び <ENTER> を押す

アプリのインストールが開始されます。

アプリによっては「インストールはブロックされました」のメッセージが表示され、インストールできない場合があります。

その場合は「提供元不明のアプリのインストールを許可する」ことでインストールが可能になります。

「提供元不明のアプリ」のチェックボックスにチェックを入れてください。

「ツール」 - 「設定」 - 「セキュリティ」 53 ページ

- アプリのリストが表示されないときは「再検索」ボタンを選んで <ENTER> を押してください。

■ アプリサーバーからアプリインストール



- 1 「アプリサーバー」 ボタンを選んで <ENTER> を押す
アプリサーバーに接続され、アプリ一覧画面を表示します。



- 2 ダウンロードするアプリを選択して <ENTER> を押す
機種品番（自動で本機の品番が設定されます）、カテゴリ、アプリケーション名からアプリを検索、絞り込みを行うことができます。
ダウンロード完了後、自動でインストールが開始されます。表示される指示に従ってインストールを実行してください。

お知らせ

- ダウンロード画面のデザインは変更する場合があります。

OpenPort PLATFORM の「ツール」画面

ホーム画面で「ツール」ボタンアイコンを選択すると「ツール」画面が表示されます。
プリインストールされている各種設定関連のアプリがまとめてアイコン表示されています。



起動するアプリを選んで <ENTER> を押す

アプリが起動します。各アプリの詳細は下記のページを参照してください。

「アップデート」アプリ	📖 57 ページ
「アプリサーバー設定」アプリ	📖 56 ページ
「シャットダウン」アプリ	📖 56 ページ
「ショートカット作成」アプリ	📖 56 ページ
「起動アプリケーション」アプリ	📖 56 ページ
「設定」アプリ	📖 50 ページ
「LAN制御」アプリ	📖 49 ページ

OpenPort PLATFORM の「お気に入り」画面

ホーム画面で「お気に入り」ボタンアイコンを選択すると「お気に入り」画面が表示されます。
「お気に入り」に登録されているアプリがアイコン表示されています。



起動するアプリを選んで <ENTER> を押す

アプリが起動します。

工場出荷状態では「お気に入り」には下記のアプリが登録されています。

「カメラ」アプリ	📖 57 ページ
「ブラウザ」アプリ	📖 57 ページ

「お気に入り」にアプリを追加

インストール済みのアプリを「お気に入り」へ追加します。



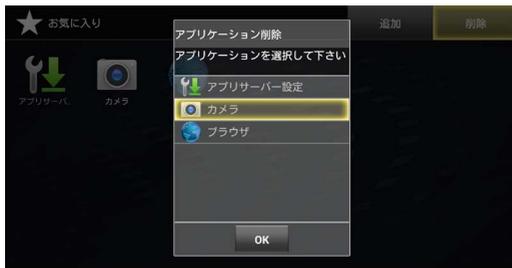
- 1 「追加」を選んで<ENTER>を押す
「アプリケーション追加」ダイアログが表示されます。
- 2 追加するアプリを選んで<ENTER>を押す
選択したアプリが追加されます。複数のアプリを続けて選択できます。
- 3 「OK」ボタンを選んで<ENTER>を押す
ダイアログが閉じます。
<BACK>を押すことでもダイアログを閉じることができます。

お知らせ

- アプリをインストールすると、自動的に「お気に入り」に追加登録されます。
- ショートカット (☰ 56 ページ) も「お気に入り」に追加されます。

「お気に入り」からアプリを削除

アプリを「お気に入り」から削除します。



- 1 「削除」を選んで<ENTER>を押す
「アプリケーション削除」ダイアログが表示されます。
- 2 削除するアプリを選んで<ENTER>を押す
選択したアプリが削除されます。複数のアプリを続けて選択できます。
- 3 「OK」ボタンを選んで<ENTER>を押す
ダイアログが閉じます。
<BACK>を押すことでもダイアログを閉じることができます。

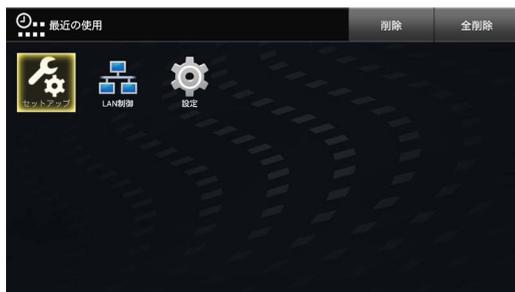
お知らせ

- 削除したアプリは「お気に入り」から表示が消えるだけで、「追加」で再び追加することができます。
- ショートカット (☰ 56 ページ) を削除することもできます。削除したショートカットは「お気に入り」から「追加」で再び追加することはできません。

OpenPort PLATFORM の「最近の使用」画面

ホーム画面で「最近の使用」ボタンアイコンを選択すると「最近の使用」画面が表示されます。以前に使用したアプリがアイコン表示されています。

OpenPort PLATFORM システムをシャットダウン (P. 35 ページ) すると、これらの履歴はクリアされます。



起動するアプリを選んで <ENTER> を押す
アプリが起動します。

「最近の使用」からアプリを削除

アプリを「最近の使用」から削除します。



1 「削除」ボタンを選んで <ENTER> を押す
「アプリケーション削除」ダイアログが表示されます。

2 削除するアプリを選んで <ENTER> を押す
選択したアプリが削除されます。複数のアプリを続けて選択できます。

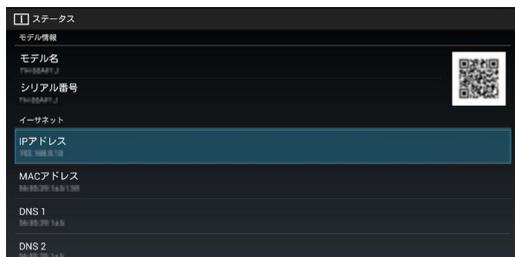
3 「OK」ボタンを選んで <ENTER> を押す
ダイアログが閉じます。
<BACK> を押すことでもダイアログを閉じることができます。

■「最近の使用」からアプリを全削除する

「全削除」ボタンを選んで <ENTER> を押す
「最近の使用」にあるアプリを全て削除し、ホーム画面に移動します。

OpenPort PLATFORM の「ステータス」画面

ホーム画面で「ステータス」ボタンアイコンを選択すると「ステータス」アプリ画面が表示されます。本機のモデル情報およびネットワーク関連の設定情報を確認できます。



画面をスクロールすると次の情報が表示されます。

■ モデル情報

モデル名
シリアル番号
QR コード
(モデル名、シリアル番号、
イーサネットの MAC アドレス)

お知らせ

- QR コードは、携帯電話のカメラなどで撮影してデータを読むことができます。ただし、読み取りはカメラの性能やアプリに左右されます。

■ サポート

「通信確認」または「ログ」を選択します。

通信確認

「ping」、「nslookup」、「traceroute」を選択して実行します。

- ping** : 「ホスト」に IP アドレスを入力して「実行」を選択すると、相手からの応答の結果を表示します。
- nslookup** : 「ホスト」にアドレス名を入力して「実行」を選択すると、DNS が解決しているかチェックができます。
- traceroute** : 「ホスト」にアドレス名を入力して「実行」を選択すると、指定したホストまでのネットワーク経路を表示します。

ログ

USB メモリー (USB (OpenPort PLATFORM) 端子) にログを保存します。

テクニカルサポート用の機能です。

■ イーサネット

IP アドレス
MAC アドレス
DNS 1
DNS 2
IP 設定
プロキシのホスト名
プロキシポート
DHCP

■ WI-FI

IP アドレス
MAC アドレス
DNS 1
DNS 2
IP 設定
プロキシのホスト名
プロキシポート
DHCP

OpenPort PLATFORM のプリインストールアプリ

プリインストールアプリ一覧

アプリ名	配置	種別	概要	ページ
セットアップ	ホーム	Panasonic *2	「無線とネットワーク」、「言語と入力」、「日付と時刻」の設定ができます。〔ツール〕－「設定」の一部と同じ)	41
インストーラー	ホーム	Panasonic *2	新たにアプリをインストールするときに使用します。	42
ステータス	ホーム	Panasonic *2	本機のモデル情報およびネットワーク関連の設定情報を確認することができます。	47
LAN 制御	ツール	Panasonic *2	本機の LAN 経由の「コマンド制御」の「ON」/「OFF」、「制御プロトコル」、「ポート番号」、「ディスプレイ名」、「ユーザー名」、「パスワード」を設定します。	49
設定	ツール	Android *3	Android OS の各種設定を行います。	50
ショートカット作成	ツール	Panasonic *2	指定した URL へブラウザでアクセスするためのショートカットを作成することができます。	56
起動アプリケーション	ツール	Panasonic *2	OpenPort PLATFORM システムを起動時に最初に立ち上げる URL (ブラウザ) またはアプリを指定することができます。	56
アプリサーバー設定	ツール	Panasonic *2	アプリケーションサーバーとの連携の設定を行います。	56
シャットダウン	ツール	Panasonic *2	OpenPort PLATFORM システムを強制的にシャットダウンさせることができます。	56
アップデート	ツール	Panasonic *2	本機の OpenPort PLATFORM システムのファームウェアを更新するときに使用します。	57
サイネージブラウザ	*1	Panasonic *2	サイネージ用途にカスタマイズされた HTML5 対応の WEB ブラウザです。	57
Version	*1	Panasonic *2	本機の OpenPort PLATFORM システムのファームウェアの uboot バージョン、kernel バージョン、system バージョンを表示します。	57
ブラウザ	お気に入り (工場出荷設定)	Android *3	WEB ページを開覧表示することができます。	57
カメラ	お気に入り (工場出荷設定)	Android *3	USB (OpenPort PLATFORM) 端子に USB カメラ (市販品) を接続して使用します。	57
サイネージプレーヤー	*1 *4	Panasonic *2	コンテンツマネージメントソフトウェア (Ver1.1以降) で作成したスケジュールに基づいて、静止画や動画を再生します。	57
時計	*1	Android *3	時計を表示したり、アラームを設定したりします。	—
ダウンロード	*1	Android *3	WEB サイトからダウンロードしたファイルの一覧を表示します。	—
ギャラリー	*1	Android *3	静止画や動画を閲覧します。	—
音楽	*1	Android *3	音楽を再生します。	—
連絡帳	*1	Android *3	連絡先を管理します。	—
検索	*1	Android *3	検索を使用します。	—
音声レコーダー	*1	Android *3	音声を録音します。	—
カレンダー	—	Android *3	内部アプリです。起動させる必要はありません。	—
BluetoothEvent	—	Android *3	内部アプリです。起動させる必要はありません。	—

※ 1 「お気に入り」に登録してご使用ください。(☞ 45 ページ)

※ 2 本機独自のアプリです。

※ 3 Android 標準、AOSP (Android Open Source Project) のアプリです。

※ 4 OpenPort PLATFORM システムのファームウェア Ver2.0 以降にインストールされています。

お知らせ

● リモコンで操作できないアプリがあります。その場合は USB マウス (市販品) で操作してください。(☞ 38 ページ)

「LAN 制御」 アプリ

本機独自のアプリです。「ツール」画面で「LAN 制御」ボタンアイコンを選択すると「LAN 制御」画面が表示されます。

本機の LAN 経由の「コマンド制御」の「ON」/「OFF」、「制御プロトコル」、「ポート番号」、「ディスプレイ名」、「ユーザー名」、「パスワード」を設定します。



■ コマンド制御

本機をネットワーク経由でコマンドコントロール (P.94 ページ) する場合は「ON」に設定してください。

ON：コマンド制御を有効にします。

OFF：コマンド制御を無効にします。

■ 制御プロトコル

LAN 制御のプロトコルを選択します。

Protocol1：Panasonic ディスプレイのシーケンスで制御します。

Protocol2：Panasonic プロジェクターと互換性のあるシーケンスで制御します。

○お知らせ

- PJLink については制御プロトコルの設定に関わらず動作可能です。
- TCP/IP でコマンド制御する場合には、「Protocol1」を選択してください。
- 予兆監視ソフトウェアまたは複数台監視制御ソフトウェアを動作させる場合には、「Protocol2」を選択してください。

■ ポート番号

コマンド制御で使用するポート番号を設定します。

設定範囲：1024（初期値）～ 65535（4352、8081、8082 を除く）

○お知らせ

- PJLink またはサイネージプレーヤーを使用する場合、ポートの設定は必要ありません。

■ ディスプレイ名

ネットワーク上で表示される本機の名前を設定します。

■ ユーザー名

コマンドに付加するユーザー名を設定します。（初期値：admin1）

■ パスワード

コマンド制御、PJLink セキュリティ認証で使用するパスワードを設定します。（初期値：panasonic）

「設定」アプリ

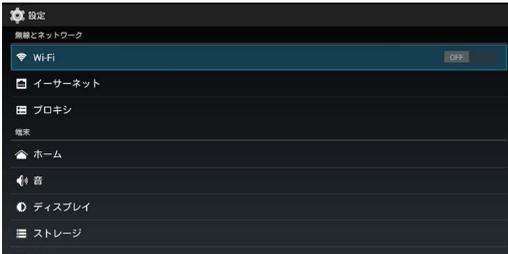
Android 標準アプリです。「ツール」画面で「設定」ボタンアイコンを選択すると「設定」画面が表示されます。

お知らせ

- 本機では一部非対応の機能があります。

Android OS の各種設定を行います。

設定項目を選んで <ENTER> を押すと設定画面が表示されます。



画面をスクロールすると次の項目が表示されます。

■ 無線とネットワーク

ネットワーク関連の各種設定を行います。

「セットアップ」 - 「無線とネットワーク」から設定することもできます。(☎ 41 ページ)

Wi-Fi

Wi-Fi 機能を有効にするには「OFF/ON」ボタンを「ON」に設定してください。

周辺のアクセスポイントのリストが表示されます。接続先を選択するとセキュリティのパスワード設定ダイアログが表示されます。

- パスワード：** パスワードを入力します。
- パスワードを表示する：** チェックボックスにチェックを入れると、入力したパスワードがそのまま表示されます。
- 詳細オプションを表示：** チェックボックスにチェックを入れると、「プロキシ」と「IP 設定」が表示されます。
- 接続：** 選択したアクセスポイントに接続されます。
- キャンセル：** 接続を中止し、アクセスポイントのリスト表示に戻ります。

プロキシ

- なし：** プロキシを設定しない。
- 手動：** プロキシを手動で設定する。
- プロキシのホスト名：** プロキシのホスト名を設定します。
- プロキシポート：** プロキシのポート番号を設定します。
- プロキシを不使用：** プロキシを不使用とするドメインを設定します。

IP 設定

- DHCP：** ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。
- 静的：** ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、IP アドレスなどを手動で設定します。
- IP アドレス：** DHCP サーバーを利用しない場合は、IP アドレスを設定します。
- ゲートウェイ：** DHCP サーバーを利用しない場合は、ゲートウェイアドレスを設定します。

ネットワークプレフィックス長：DHCP サーバーを利用しない場合は、ネットワークプレフィックス長を設定します。

DNS 1：DHCP サーバーを利用しない場合は、優先 DNS サーバーアドレスを設定します。

DNS 2：DHCP サーバーを利用しない場合は、代替 DNS サーバーアドレスを設定します。

WPS プッシュボタン

WPS に対応したアクセスポイント機器と接続する場合に使用します。

「WPS プッシュボタン」を選択すると、アクセスポイント機器の WPS ボタン待ちの状態になります。

アクセスポイント機器の操作については、その機器に付属の取扱説明書をご参照ください。

+ ボタン

アクセスポイントを追加します。

リストの中に、接続したいアクセスポイントが見つからない場合、手入力で以下の設定を入力します。

「+ ボタン」を選択すると、追加するネットワークの設定メニューが表示されます。

ネットワーク SSID：SSID を入力します。

セキュリティ：暗号化方式を下記の中から選択します。

なし、WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP

詳細オプションを表示：チェックボックスにチェックを入れると、「プロキシ」と「IP 設定」が表示されます。

メニューボタン

「メニューボタン」を選択すると、以下の項目が表示されます。

スキャン：周辺のアクセスポイントを再検索し、リストとして表示します。

WPS PIN 入力：WPS に対応したアクセスポイント機器と接続する場合に使用します。これを選択した時に表示されるメッセージに PIN コードが表示されるので、その PIN コードをアクセスポイント機器に 2 分以内に入力してください。

アクセスポイント機器の操作については、その機器に付属の取扱説明書を参照してください。

Wi-Fi Direct：アクセスポイント機器を必要とせず、Wi-Fi 機器同士で直接通信します。

これを選択すると、使用可能なデバイスがリストに表示されるので、接続したい機器を選択してください。

詳細設定：Wi-Fi 通信に関連するオプション設定を表示します。

お知らせ

- 「IP 設定」を「DHCP」に設定した場合、IP アドレス等は表示されません。現在の IP アドレス等は「ステータス」でご確認ください。また、この画面で設定している DNS は無効になります。
- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- 設定の詳細についてはネットワークの管理者にご相談ください。
- 有線 LAN と無線 LAN は、同一セグメントでは使用できません。

イーサネット

DHCP

- ON :** ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。
- OFF :** ディスプレイを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、IP アドレスなどを手動で設定します。

IP アドレス : DHCP サーバーを利用しない場合は、IP アドレスを入力します。

ゲートウェイ : DHCP サーバーを利用しない場合は、ゲートウェイアドレスを入力します。

サブネットマスク : DHCP サーバーを利用しない場合は、サブネットマスクを入力します。

DNS 1 : DHCP サーバーを利用しない場合は、優先 DNS サーバーアドレスを入力します。

DNS 2 : DHCP サーバーを利用しない場合は、代替 DNS サーバーアドレスを入力します。

OK : 設定を保存して「設定」画面に戻ります。

キャンセル : 設定を保存せずに「設定」画面に戻ります。

お知らせ

- 「DHCP」を「ON」に設定した場合、IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク、DNS の項目はグレーアウト表示されます。
- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- 無効な IP アドレス、ゲートウェイまたはサブネットマスクを設定した場合、「OK」を選択すると下記のエラーメッセージが表示されます
「入力されたデータは不正です。」
- IP アドレスが競合している場合は「ステータス」 - 「イーサネット」 - 「IP アドレス」(☞ 47 ページ) に下記のエラーメッセージが表示されます。
「IP アドレスが重複しています。」
- 設定の詳細についてはネットワークの管理者にご相談ください。
- 有線 LAN と無線 LAN は、同一セグメントでは使用できません。

プロキシ

プロキシのホスト名 : プロキシのホスト名を設定します。

プロキシポート : プロキシのポート番号を設定します。

プロキシを不使用 : プロキシを不使用とするドメインを設定します。

OK : 設定を保存して「設定」画面に戻ります。

キャンセル : 設定を保存せずに「設定」画面に戻ります。

お知らせ

- 設定の詳細についてはネットワークの管理者にご相談ください。

■ 端末

ホーム

ホーム画面を設定します。USB マウスで設定してください。

ランチャー : Android 標準のホーム画面
(☞ 58 ページ)

クイックランチャー :

本機に推奨のホーム画面 (工場出荷設定) (☞ 40 ページ)

音

USB マウスで操作したときのタッチ操作音を設定します。

タッチ操作音 : チェックボックスにチェックを入れるとタッチ操作音が有効になります。

ディスプレイ

設定項目を選んで <ENTER> を押すと設定画面が表示されます。

壁紙

下の 3 項目から壁紙を選択できます。

ギャラリー : 「ギャラリー」内の画像ファイルから壁紙を選択します。

ライブ壁紙 : 動きのある壁紙を選択します。

壁紙 : 静止画の壁紙を選択します。

お知らせ

- 壁紙は Android 標準のホーム画面などにしか表示されません。

スクリーンセーバー（本機能は使用できません）

フォントサイズ

次の4種類から文字サイズを選択してください。

小、中、大、極大

キャンセル：設定を保存せずに「ディスプレイ」の機能一覧画面に戻ります。

解像度

OpenPort PLATFORMの解像度を選択してください。

1920 × 1080、1280 × 720

（OpenPort PLATFORMシステムのファームウェア Ver2.0以降で選択可能です。）

お知らせ

- 設定変更前に、OpenPort PLATFORMが再起動されることを通知するメッセージが表示されます。
- 通常は、「1920 × 1080」でのご使用をお勧めします。
- 「1280 × 720」で使用されますと、画面などの表示位置が崩れる場合があります。

ストレージ

現在のストレージ（内部ストレージ、microSDカード、USBストレージ）の使用状況を表示します。

内部ストレージ

SDカード

microSDカードを取り出すときは、安全に取り出すために、ここでマウント解除を実行してください。

USBストレージ

USBメモリーを取り出すときは、安全に取り出すために、ここでマウント解除を実行してください。

お知らせ

- microSDカードやUSBメモリーの取り付けや取り出し時に画面の左上にSDカード型のアイコンや注意メッセージが表示されます。メッセージ内において総称として「SDカード」と表示しています。
- USBメモリーについては「USBストレージ」カテゴリ内に表示されますが、ここでも「SDカード」と表示しています。

アプリ

アプリの一覧を表示します。左右に操作して下の3項目から一覧を選択してください。

ダウンロード済み：インストールしたアプリ一覧

実行中：動作中のアプリ一覧

すべて：すべてのアプリ一覧

アプリの停止・無効化・削除などができます。

アンインストールはインストールしたアプリのみ可能です。

■ ユーザー設定

位置情報

位置情報取得機能を有効にするには「OFF/ON」ボタンを「ON」に設定してください。

モード（本機能はWi-Fiのみで使用可能です）

セキュリティ

セキュリティ関連の設定を行います。

画面のセキュリティ

画面のロック：

画面ロックの方法を選択します。

画面ロックを設定すると、データの初期化を実行する時、ロックの解除が必要になります。

所有者情報：（本機能は使用できません）

暗号化（本機能は使用できません）

パスワード（本機能は使用できません）

デバイス管理

端末管理者：（本機能は使用できません）

提供元不明のアプリ：

チェックボックスにチェックを入れると、提供元不明のアプリのインストールを許可する設定になります。

アプリを確認する：（本機能は使用できません）

認証情報ストレージ

ストレージのタイプ：ソフトウェアのみ

信頼できる認証情報：

信頼できるCA証明書を表示します。

SDカードからインストール：

証明書をmicroSDカードやUSBメモリーからインストールします。

認証ストレージの消去：

認証書をすべて削除します。

言語と入力

使用する言語の設定や入力方法などを設定します。「セットアップ」-「言語と入力」から設定することもできます。(☞ 41 ページ)

設定項目を選んで<ENTER>を押すと各設定画面が表示されます。

言語

言語一覧から使用する言語を選択します。

選択できる言語

中文：中国語

日本語：日本語

Deutsch：ドイツ語

English (United Kingdom)：英語（イギリス）

English (United States)：英語（アメリカ）

Español：スペイン語

Français：フランス語

Italiano：イタリア語

Русский：ロシア語

お知らせ

- 「初期設定」-「表示言語切替」と連動して設定されます。(☞ 79 ページ)

スペルチェック

文字入力時にスペルチェックを使うかどうかを選択できます。

単語リスト

ユーザー辞書一覧が表示されます。登録するユーザー辞書を選択してください。

「+追加」ボタンを選択すると、単語登録の画面が表示され、単語を登録することができます。

キーボードと入力方法

「デフォルト」を選択すると、「入力方法の選択」画面が表示されます。使用する入力方法を選択してください。

Android キーボード (AOSP)：

Android 標準のソフトウェアキーボード

OpenPort キーボード：

OpenPort PLATFORM 独自のソフトウェアキーボード

お知らせ

- USB キーボードを接続すると、物理キーボードの設定項目が表示されます。ここで接続したキーボードを選択すると、「キーボードレイアウトの選択」画面が表示されます。「キーボードレイアウトの設定」を選択し、「キーボードレイアウト」で言語を設定することで、設定が完了します。

音声

「テキスト読み上げの出力」を選択すると、テキスト読み上げの出力設定画面が表示されます。

マウス / トラックパッド

「ポインタの速度」を選択すると、ポインタの速度を設定する画面が表示されます。

スライダーを移動させて「OK」を選択すると設定が反映されます。

バックアップとリセット

OpenPort PLATFORM 部での各種設定 / データを工場出荷時の状態に戻すことができます。

「バックアップとリセット」を選択すると、「個人データ」画面が表示されます。

データの初期化

1 「データの初期化」を選び<ENTER>を押す

各種データが消去されることを知らせる確認画面が表示されます。

2 「タブレットをリセット」を選び<ENTER>を押す

最終の確認画面が表示されます。

3 「すべて消去」を選び<ENTER>を押す

OpenPort PLATFORM システムが再起動し、工場出荷時の設定に戻ります。

お知らせ

- 本機能を実行しても、下記の設定、調整値は変わりません。「画質の調整」、「音声の調整」、「初期設定」、「位置調整」、「Options」メニュー
これらも工場出荷時の設定に戻すには「Shipping」を実行してください。(☞ 108 ページ)
- 「画面のロック」を設定している場合、ロックの解除が必要になります。(☞ 53 ページ)

システム

日付と時刻

日付と時刻を設定します。

「セットアップ」-「日付と時刻」から設定することもできます。(☞ 41 ページ)

「日付と時刻」を選択すると、日付と時刻の設定画面が表示されます。

日付と時刻の自動設定

チェックボックスにチェックを入れると、ネットワークから提供された日付と時刻を使用することができます。ただし、タイムゾーンの選択が必要になりますので、手動で設定してください。

「ディスプレイ間同期」を設定する場合にはチェックを外してください。

日付設定

日付を手動で設定します。USB マウスで設定してください。

「日付と時刻の自動設定」がチェックされているとグレーアウト表示されます。

時刻設定

時刻を手動で設定します。USB マウスで設定してください。

「日付と時刻の自動設定」がチェックされているとグレーアウト表示されます。

タイムゾーンの選択

タイムゾーンを手動で選択します。

(日本は GMT+9:00 です。)

24 時間表示

チェックボックスにチェックを入れると、OpenPort PLATFORM 部で時刻は 24 時間表示されます。

日付形式の選択

日付の表示形式を選択します。

ディスプレイ間同期

チェックボックスにチェックを入れると、「サインプレーヤー」アプリ (☞ 57 ページ) を使用して同じネットワーク内のディスプレイ間で同期再生を行うことができます。

(OpenPort PLATFORM システムのファームウェア Ver2.0 以降で対応します。)

お知らせ

- 時刻設定の上限は、「2037/12/31 23:59」です。時刻が 2038/1/1 00:00:00 になると、正常に動作しません。
- 時刻を設定してもすぐに時刻が合わなくなる場合は、本機内部の電池交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 「ディスプレイ間同期」にチェックを入れる場合は、「日付と時刻の自動設定」のチェックを外してください。

ユーザー補助

「ユーザー補助」を選択すると、ユーザー補助のための設定画面が表示されます。

サービス

サービス情報を表示します。

システム

字幕：字幕の各種設定をします。

ON/OFF

言語

文字サイズ

字幕スタイル

拡大操作：(本機能は使用できません)

大きい文字サイズ：

チェックボックスにチェックを入れると、画面に表示される文字サイズが大きくなります。

パスワードの音声出力：

チェックボックスにチェックを入れると、パスワードが音声出力される設定になります。

ユーザー補助のショートカット：(本機能は使用できません)

テキストの読み上げの出力：

「設定」- 「言語と入力」- 「音声」の設定内容と同じです。(☞ 54 ページ)

押し続ける時間：

USB マウスの左ボタンを長押しする時間を設定します。

タブレット情報

「タブレット情報」を選択すると、OpenPort PLATFORM について下記の情報が表示されます。

端末の状態

「端末の状態」を選択すると、ネットワークなどの情報を表示します。

法的情報

「法的情報」を選択すると、オープンソースライセンス情報を表示します。

モデル番号

モデル品番を表示します。

Android バージョン

Android バージョンを表示します。

カーネルバージョン

カーネルバージョンを表示します。

ビルド番号

ビルド番号を表示します。

「ショートカット作成」アプリ

本機独自のアプリです。「ツール」に登録されています。指定した URL へブラウザでアクセスするためのショートカットを作成することができます。

■ ショートカットの作成

1 「ショートカット名」と「URL」を入力する

2 「作成」を選び <ENTER> を押す

「お気に入り」にショートカット作成されます。

■ ショートカットの削除

「お気に入り」 - 「削除」を選択して登録削除することができます。

「起動アプリケーション」アプリ

本機独自のアプリです。「ツール」に登録されています。OpenPort PLATFORM システムを起動時に最初に自動起動する URL (ブラウザ) またはアプリを指定することができます。

■ 起動時の立ち上げ ON/OFF 切り換え

ON: システム起動時に指定した URL (ブラウザ) またはアプリを起動します。

OFF: システム起動時に何も起動しません。

■ 起動時のブラウザ / アプリ立ち上げ

1 「ブラウザ」または「アプリケーション」を選び <ENTER> を押す

ブラウザ: 起動時にブラウザが立ち上がります。

アプリケーション: 起動時にアプリが立ち上がります。

2 一覧から立ち上げる URL / アプリを選び <ENTER> を押す

3 起動する URL / アプリが登録されていることを確認して、ON/OFF 切り換えを「ON」にする

■ URL の追加

1 URL を入力する

2 「追加」を選び <ENTER> を押す

一覧に URL が追加されます。

■ URL の削除

1 「アイテム削除 ...」を選び <ENTER> を押す

2 URL 一覧から削除する URL を選び <ENTER> を押す

「アプリサーバー設定」アプリ

本機独自のアプリです。「ツール」に登録されています。アプリサーバーとの連携を設定します。

■ 要求実行時間

アプリサーバーに問い合わせる時刻を設定します。

00:00 ~ 23:59

設定した時刻になるとアプリサーバーへ自動的に問い合わせを実行し、更新が必要なものがあれば実行します。

■ 要求禁止

チェックボックスにチェックを入れると問い合わせは禁止されます。

■ 要求実行

「要求実行」を選択すると即時、問い合わせを実行します。

問い合わせ中はプログレスバーが表示され、その間、他の操作はできなくなります。

「シャットダウン」アプリ

本機独自のアプリです。「ツール」に登録されています。OpenPort PLATFORM システムを強制的にシャットダウンさせることができます。

「シャットダウンしますか？」の確認メッセージが表示されます。

OK: シャットダウン処理が開始されます。

電源ランプは緑色点灯から橙色点灯になり、「OpenPort PLATFORM のシャットダウン中です。しばらくお待ちください。」のメッセージが表示されます。

OpenPort PLATFORM システムのシャットダウン中、リモコン操作や外部からの制御コマンドを受け付けません。

シャットダウンが完了すると本機の電源が切れ、電源ランプが赤色点灯になりスタンバイ状態になります。

キャンセル: シャットダウンせずに「ツール」画面に戻ります。

「アップデート」アプリ

本機独自のアプリです。「ツール」に登録されています。本機の OpenPort PLATFORM システムのファームウェアを更新するときに使用します。

外部ストレージ (microSD カード、USB メモリー (USB (OpenPort PLATFORM) 端子)) のファイルリスト一覧が表示されます。

- 「再検索」ボタンを選択すると、再度、外部ストレージの中から検索し、一覧を表示します。

- 更新ファイルの拡張子は zip になっています。

リスト表示から更新ファイルを選び <ENTER>を押す

確認メッセージが表示され、「OK」を選択すると、更新の準備が開始され、プログレスバーが表示されます。プログレスバーが 100% になると、OpenPort PLATFORM システムがリセットされ、実施のシステムのインストールが開始されます。システムのインストールが完了すると再度リセットされ、再起動されます。

お知らせ

- ファームウェアを更新しても OpenPort PLATFORM の各種設定情報は変更されません。

「サイネージブラウザ」アプリ

本機独自のアプリです。「お気に入り」に登録してご使用ください。(☞ 45 ページ)

サイネージ用途にカスタマイズされた HTML5 対応の WEB ブラウザです。

あらかじめ「ツール」-「ショートカット作成」(「ショートカット作成」アプリ) で URL を指定したショートカットを作成しておきます。(☞ 56 ページ) ショートカットを実行すると、使用する WEB ブラウザの選択ダイアログが表示されます。

選択ダイアログで「サイネージブラウザ」を選択すると、サイネージの WEB サーバーへ接続され、表示されます。

WEB ブラウザの選択ダイアログで「常時」を指定すると、以降、WEB ブラウザの選択ダイアログは表示されなくなります。

お知らせ

- ネットワークと接続確認後に、アプリを起動してください。アプリを起動後にネットワーク設定を行っても、接続はできません。その場合は、「最近の使用」画面(☞ 46、58 ページ) から一旦アプリを削除後に再度アプリを起動して接続してください。
- WEB ページを閲覧表示する場合は、「ブラウザ」アプリをご利用ください。

「Version」アプリ

本機独自のアプリです。「お気に入り」に登録してご使用ください。(☞ 45 ページ)

OpenPort PLATFORM システムのファームウェアについて下記のバージョンを表示します。

uboot バージョン、kernel バージョン、system バージョン

kernel バージョンについては「ツール」-「設定」-「タブレット情報」でさらに詳細を確認できます。(☞ 55 ページ)

「ブラウザ」アプリ

Android 標準アプリです。工場出荷時は「お気に入り」に登録されています。

WEB ページを閲覧表示することができます。

「カメラ」アプリ

Android 標準アプリです。工場出荷状態では「お気に入り」に登録されています。

USB (OpenPort PLATFORM) 端子に USB カメラ (市販品) を接続して使用します。接続されていない場合、「カメラエラー」メッセージが表示されます。

「サイネージプレーヤー」アプリ

本機独自のアプリです。

コンテンツマネージメントソフトウェア(☞ 97 ページ) で作成したスケジュールに基づいてコンテンツを再生します。

(OpenPort PLATFORM システムのファームウェア Ver2.0 以降で対応します。)

お知らせ

- 本アプリで利用するスケジュールデータは、USB メモリー、microSD カード、または内蔵メモリのいずれか 1 つにあらかじめ保存してください。
- 再生するスケジュールデータは、USB メモリー、microSD カード、内蔵メモリの順でサーチを行い、最初に検出したデータで再生します。
- 大容量のコンテンツを扱う場合は、USB メモリーまたは microSD カードでの使用をお勧めします。
- 再生可能なコンテンツは下記のとおりです。
静止画：JPEG フォーマット
動画：映像コーデック H.264、MPEG-4 AVC
音声コーデック AAC
- 複数のディスプレイで同期再生を行う場合は、使用するすべてのディスプレイを同一ネットワークに接続し、「ツール」-「設定」-「日付と時刻」の「日付と時刻の自動設定」のチェックを外し、さらに「ディスプレイ間同期」をチェックしてください。(☞ 55 ページ)
- 同期再生機能で利用するスケジュールデータは、各ディスプレイであらかじめ保存して下さい。
- コンテンツによっては、再生中に上下左右に黒の領域が表示される場合があります。
- 本機の動作状態やネットワークの環境によっては、同期がずれる可能性があります。
- ディスプレイ間にルーターを設置すると同期再生はできません。同じサブネット内で使用してください。
- 無線 LAN では、同期再生はできません。

OpenPort PLATFORM の Android 標準ホーム画面

OpenPort PLATFORM のホーム画面に Android 標準のホーム画面を選択した場合、最初はチュートリアル画面が表示されます。



チュートリアル画面の「OK」ボタンを USB マウス（市販品）（[38 ページ](#)）でクリックしてチュートリアル画面を終了させるとリモコン、USB マウスなどでの操作が可能になります。

お知らせ

- Android 標準のホーム画面を選択した場合、リモコンでの操作には制限があり、USB マウスでの操作が便利です。

■ Android 標準の「最近の使用」画面

操作アイコンの「RECENT APPS」（[39 ページ](#)）を USB マウスでクリックすると、最近使用したアプリの画面（Android 標準の画面）が表示されます。

OpenPort PLATFORM システムをシャットダウン（[35 ページ](#)）すると、これらの履歴はクリアされます。



USB マウスでクリックしてアプリを起動させることができます。

USB マウスでスワイプして画面外に出るとアプリをこの画面から削除することができます。

映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)

<ASPECT> または本体の <ENTER> を押すごとに切り換わります。



本体ボタン



ノーマル → ズーム 1 → ズーム 2 → フル

お知らせ

- 画面モードは入力端子ごとに記憶します。
- USB 入力時、画面モードは「フル」固定になります。
- OpenPort PLATFORM 入力時、画面モードは「フル」固定になります。

画面モード一覧

画面モード	説明
フル	<p>映像 → 拡大画面</p> <p>映像を画面いっぱいに表示します。</p>
ノーマル	<p>映像 →</p> <p>映像を 4:3 領域に表示します。4:3 映像はそのまま表示します。パソコン信号は 4:3 領域に縮小拡大して表示します。画面の両端にはサイドパネルを表示します。</p>
	<p>映像 →</p> <p>16:9 信号内の 4:3 映像をそのまま表示します。映像の両端はサイドパネルでマスクされます。</p>

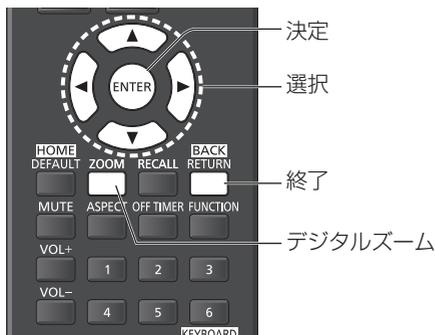
画面モード	説明
ズーム 1	<p>16:9 のレターボックス映像を縦方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端はカットされます。</p>
ズーム 2	<p>16:9 のレターボックス映像を縦および横方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。映像の上下端および左右端はカットされます。</p>

お知らせ

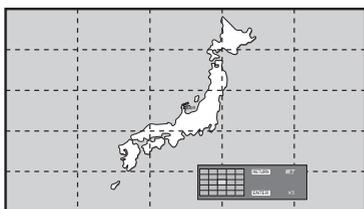
- このディスプレイは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご注意のうえ、画面モードをお選びください。
- ディスプレイを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の縮小や拡大等を行いますと、著作権法上の権利を侵害するおそれがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意願います。
- ワイド映像でない 4:3 の映像をズーム・フルモードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

画面領域を拡大表示する (デジタルズーム)

拡大したい画面領域 (25 領域) を選び、選んだ画像領域を 2 倍、3 倍、4 倍に拡大します。
(リモコンで操作してください。本体のボタンでは操作できません。)

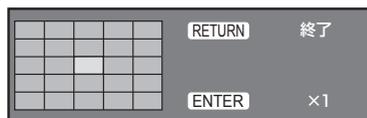


1 デジタルズームモードにする <ZOOM> を押します。



画面のアスペクトは「フル」になり、デジタルズーム操作ガイドが表示されます。

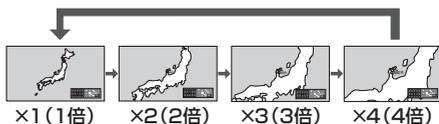
2 拡大したい画像領域を選ぶ ▼▲▶ を押して選びます。



デジタルズーム操作ガイド

3 画面領域の拡大率を切り換える

<ENTER> を押すごとに、切り換わります。



- 画面の拡大率が「× 1 (1 倍)」の場合に、約 60 秒間操作をしないと、終了します。
- 画面の拡大率が「× 2 (2 倍)」、「× 3 (3 倍)」、「× 4 (4 倍)」の場合に、約 3 秒間操作をしないとデジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。▼▲▶ のいずれかを押すと、再度表示します。

4 デジタルズームモードを終了する

<RETURN> を押すと、終了します。

画面はデジタルズームモードに入る前の状態になり、デジタルズーム操作ガイドの表示が消えます。

- 以下のボタンを押すと、終了します。その後、押されたボタンの動作を行います。

リモコン：<AUTO SETUP>
<POSITION> <PICTURE>
<INPUT> <SETUP>
<SOUND> <DEFAULT>
<RECALL> <MUTE>
<ASPECT> <OFF TIMER>
<FUNCTION> <VOL +>
<VOL -> <1> ~ <6>

本体：<INPUT> <MENU> < + >
< - > ▲ ▼ <ENTER>

- スクリーンセーバーのタイマー起動でデジタルズームモードが終了します。
- 電源を「切」にした場合には、強制終了します。
 - ・ リモコンの電源ボタンを押して電源を「切」にしたとき
 - ・ 本体の電源ボタンを「切」にしたとき
 - ・ オフタイマーで電源が「切」になったとき
 - ・ 無信号自動オフやパワーマネージメントなどで電源が「切」になったときなど

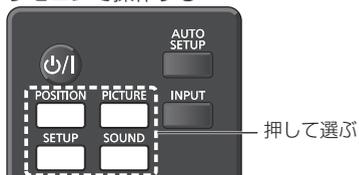
お知らせ

- 下記の場合は、デジタルズームモードにはなりません。
 - ・ 「マルチ画面設定」を「オン」に設定しているとき
 - ・ スクリーンセーバー起動中のとき
 - ・ USB 入力を選択しているとき
- 拡大した映像は元の映像より粗い表示になります。
- マルチ画面の用途には「マルチ画面設定」の機能をご利用ください。(P.79 ページ)

オンスクリーンメニューについて

1 メニュー画面を表示する

リモコンで操作する



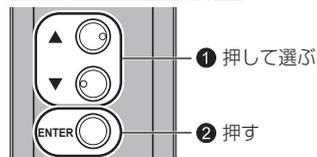
本体のボタンで操作する



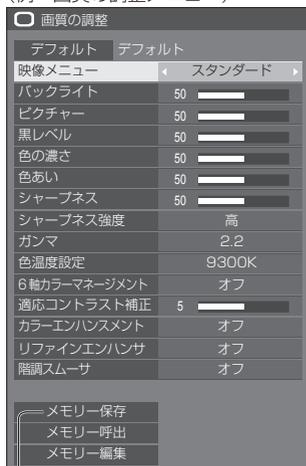
押すたびにメニュー画面が切り換わります。

通常画面 → 画質の調整 → 初期設定 → 位置調整 → 音声の調整

2 設定項目を選択する



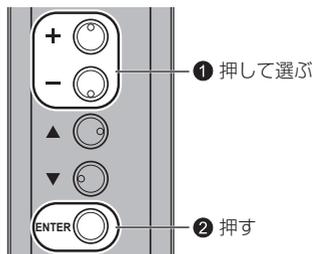
(例：画質の調整メニュー)



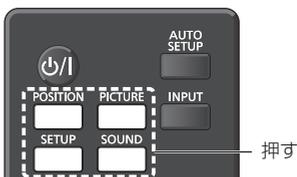
サブメニューの表示

<ENTER> を押してサブメニューを表示します。

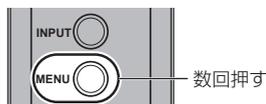
3 設定する



4 設定を終了する



<RETURN> を押すと 1 つ前の画面に戻ります。



お知らせ

- 本機の設定変更時、一時的に映像、音声に乱れが発生することがありますが故障ではありません。

メニュー画面一覧

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

位置調整 (☞ 63 ~ 64 ページ)

位置調整	
デフォルト	デフォルト
自動位置補正	
水平位置	0
水平サイズ	0
垂直位置	0
垂直サイズ	0
クロック位相	15
ドットクロック	0
1:1 ピクセルモード	オフ

音声の調整 (☞ 65 ページ)

音声の調整	
デフォルト	デフォルト
出力切換	スピーカー
バランス	0
音声メニュー	スタンダード
バス	0
トレブル	0
サラウンド	オフ

画質の調整 (☞ 66 ~ 72 ページ)

画質の調整	
デフォルト	デフォルト
映像メニュー	スタンダード
バックライト	50
ピクチャー	50
黒レベル	50
色の濃さ	50
色あい	50
シャープネス	50
シャープネス強度	高
ガンマ	2.2
色温度設定	9300K
0軸カラーマネジメント	オフ
適応コントラスト補正	5
カラーエンハンスメント	オフ
リファインエンハンサ	オフ
階調スムーサ	オフ
メモリー保存	
メモリー呼出	
メモリー編集	

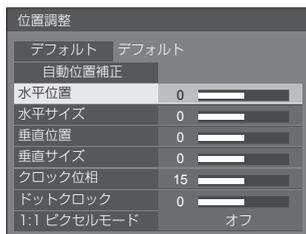
初期設定 (☞ 73 ~ 83 ページ)

初期設定 1/2	
信号モード	
スクリーンセーバー	
入力表示書換設定	
パワーマネジメント設定	
OpenPort PLATFORM スタンバイ	オフ
画面位置移動	オフ
無操作自動オフ	無効
表示言語切換	日本語

初期設定 2/2	
マルチ画面設定	
タイマー設定	
USB メディアプレーヤー設定	
ファンクション設定	
ディスプレイ設置	横
OSD 位置	右
メニュー表示時間	60 秒
メニュー透過率	20

位置調整

1 <POSITION> を押して「位置調整」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

3 ◀▶ で設定をする

4 <POSITION> を押して設定を終了する

■ 1 つ前の画面に戻るには

<RETURN> を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには

メニュー表示中に <DEFAULT> を押す、または「デフォルト」を選んでいるときに <ENTER> を押すと表示されているメニューの調整値が標準値に戻ります。

お知らせ

- 「位置調整」の各調整は入力信号ごとに記憶します。

縦置き設置時の「位置調整」について

ディスプレイを縦置きにしても位置／サイズの調整方向は横置きと変わりません。

ご注意の上調整してください。

自動位置補正

パソコン信号入力時に「水平位置／垂直位置」、「水平サイズ／垂直サイズ」、「ドットクロック」、「クロック位相」を自動補正します。

本設定は以下の条件で動作します。

- PC IN および RGB IN 入力時に本設定が有効になります。

対応する信号の映像を表示中に

「自動位置補正」を選び、<ENTER> を押す

リモコンで操作する

<AUTO SETUP> を押す

自動位置補正が無効の場合は「無効操作」と表示します。

Auto モード

「Options」メニューの「PC auto setting」を「On」に設定すると、次の場合に自動位置補正が動作します。(☞ 90 ページ)

- ディスプレイの電源を「入」にしたとき
- 入力信号が切り変わったとき

お知らせ

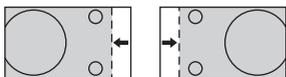
- パソコン信号でドットクロック 162 MHz 以上の信号のときは「ドットクロック」と「クロック位相」の自動補正はされません。
- 画像の端が判別しにくい画像や暗い画像を入力して自動位置補正をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、自動位置補正をしてください。
- 信号によっては自動位置補正後もズレが生じる場合がありますので、必要に応じて位置／サイズなどの微調整を行ってください。
- XGA 信号 (1024 × 768、1280 × 768、1366 × 768) で自動位置補正が最適にならない場合、あらかじめ「XGA モード」(☞ 74 ページ) で個別信号を選択設定しておく、適切に自動位置補正できる場合があります。
- 有効映像期間外に付加情報などの信号が重畳されている場合や同期信号と映像信号の時間間隔が短い場合、あるいは、3 値同期信号が付加された映像信号や一部の SYNC ON G 信号の入力時は正しく自動位置補正できません。

お願い

- 自動位置補正で適切な調整にならない場合は、一度「デフォルト」を選び、<ENTER> を押した後、手で位置／サイズなどの調整を行ってください。

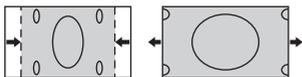
水平位置

◀▶ で画面を左右に移動します。



水平サイズ

◀▶ で画面を左右に拡大／縮小します。



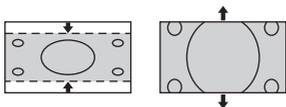
垂直位置

◀▶ で画面を上下に移動します。



垂直サイズ

◀▶ で画面を上下に拡大／縮小します。



クロック位相

(RGB IN または PC IN 入力時)
RGB 信号やパソコン信号を入力した場合に画面の輪郭に、にじみやぼけが発生することがあります。もっとも見やすくなるよう調整してください。

ドットクロック

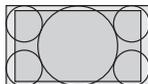
(RGB IN または PC IN 入力時)
縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様 (ノイズ) が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。

オーバースキャン

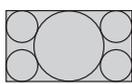
画像のオーバースキャンをオン／オフします。

対応する入力信号

525i、525p、625i、625p、
750/60p、750/50p (コン
ポーネント (色差) ビデオ、RGB、
DVI-D、HDMI)



「オン」



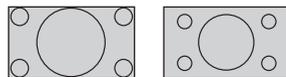
「オフ」

お知らせ

- 「オフ」に設定した場合は、水平サイズと垂直サイズは調整できません。

1:1 ピクセルモード

1125i や 1125p のとき、画面サイズを調整します。



「オフ」

「オン」

対応する入力信号

1125/50i、60i、24PsF、
24p、25p、30p、50p、
60p

お知らせ

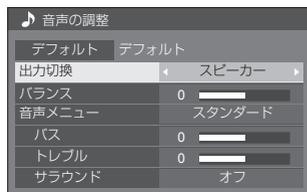
- 映像の周囲にノイズ状のものが見えるときは「オフ」設定にしてください。
- 「オン」に設定の場合は、水平サイズ、垂直サイズは調整できません。

お知らせ

- 調整のときに画像表示エリア外にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。

音声の調整

- 1 <SOUND> を押して
「音声の調整」メニュー画面を表示する



- 2 ▲▼ で設定項目を選択する
・調整できない項目は、グレー表示になります。

- 3 ◀▶ で設定をする

- 4 <SOUND> を押して
設定を終了する

- 1つ前の画面に戻るには

<RETURN> を押す。

- デフォルトの設定値に戻すには

メニュー表示中に <DEFAULT> を押す、
または「デフォルト」を選んでいるときに
<ENTER> を押すと表示されているメニューの調整
値が標準値に戻ります。

出力切換

音声出力を選びます。

スピーカー：内蔵スピーカー

外部出力： AUDIO OUT 端子出力

- 「外部出力」を選択した場合、他のメニューはグレー表示になり、設定できません。
- 音量は、出力選択ごとに記憶します。

バランス

左右の音量を調節します。

音声メニュー

最適な音質を選びます。

ニュー

スタンダード：送られてくるそのままの音で聞きます。

ダイナミック：メリハリ感を強調した音で聞きます。

クリア：人の声を聞きやすくした音で聞きます。

バス

低音を調節します。

トレブル

高音を調節します。

サラウンド

オフ：通常の音声。

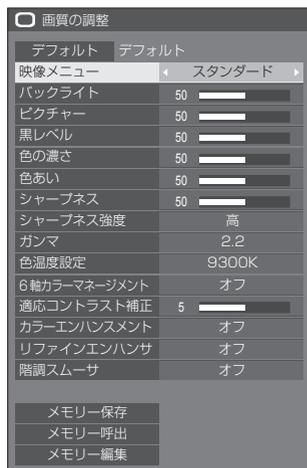
オン：臨場感のある音声。

お知らせ

- バス、トレブル、サラウンドは「音声メニュー」の「スタンダード」、「ダイナミック」、「クリア」ごとに記憶します。

画質の調整

1 <PICTURE> を押して 「画質の調整」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

・調整できない項目は、グレー表示になります。

3 ◀▶ で設定をする

4 <PICTURE> を押して 設定を終了する

■ 1つ前の画面に戻るには

<RETURN> を押す。

■ デフォルトの設定値に戻すには

メニュー表示中に <DEFAULT> を押す。

または「デフォルト」を選んでいるときに
<ENTER> を押すと表示されているメニューの調整
値が標準値に戻ります。

お知らせ

- USB 入力 (USB メディアプレーヤー) で静止画を表示する場合、次の設定項目のみ映像効果があります。

バックライト、ガンマ、色温度設定

映像メニュー 映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます。

ビビッド より鮮明でくっきりとした映像になり、店舗などの明るい環境下でのサイネージ用途に適しています。

ナチュラル 照明下でも色の再現性を重視した自然な色合いの映像になり、商品展示などのサイネージ用途に適しています。

スタンダード 原画を忠実に再現した映像になります。

監視 明るさを抑え階調性を重視、監視カメラからの入力に適した映像になります。

グラフィック パソコン入力に適した映像になります。

DICOM DICOM Part14 グレースケール規格に近い映像になります。

・設定は入力端子ごとに記憶します。

お知らせ

- DICOMとは「Digital Imaging and Communication in Medicine」の略称で医療用画像機器のための規格です。DICOMの名称を用いていますが、本機は医療機器ではありませんので表示画像を診断などの用途に使用しないでください。

バックライト バックライトの明るさを調整します。

暗く ↔ 明るく

ピクチャー 映像の明暗度を調整します。

暗く ↔ 明るく

黒レベル 画面の暗い部分 (黒色) を調整します。

暗く ↔ 明るく

色の濃さ 淡く ↔ 濃く

色あい 肌色部分の色あいを調整します。
赤紫色がかった色に ↔ 緑色がかった色に

シャープネス 映像輪郭の鮮明度を調整します。
ソフト ↔ シャープ

シャープネス強度 シャープネスの効果のレンジを切り換えます。

高：効果大

低：効果小

ガンマ 明るさ感を調整します。

2.0、2.2、2.4、2.6、DICOM：
傾き小～傾き大

お知らせ

- 「映像メニュー」で「DICOM」を選択した場合、「ガンマ」は「DICOM」に固定されます。また、「映像メニュー」で「DICOM」以外を選択した場合、「ガンマ」に「DICOM」を設定できません。

色温度設定 画面の色調を調整します。
3200K、4000K、5000K、
6500K、7500K、9300K、
10700K、ネイティブ、USER1、
USER2

お知らせ

- 色温度の数値が小さいと赤色が強調され、大きいと青色が強調されます。
- 「ネイティブ」は、液晶パネルの素の色調となります。その際、「ガンマ」は2.2相当に固定となり、調整できなくなります。
- 「映像メニュー」で「DICOM」を選択した場合、「6500K」と「9300K」のみ選択できます。

色温度のユーザー設定

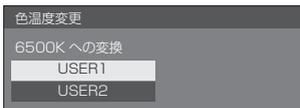
「USER1」と「USER2」の2種類の色温度詳細設定を保存できます。

- 1 「色温度設定」を設定中に<ENTER>を押す。



例：色温度設定が6500Kのとき、6500Kの設定値を、USER1およびUSER2のユーザー設定に反映させる事ができます。

- 2 ▲▼で設定を保存するユーザーを選び<ENTER>を押す。



- 3 ◀▶で「はい」を選び<ENTER>を押す。



- 4 詳細設定画面で各種設定をする。



R ゲイン	赤色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
G ゲイン	緑色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
B ゲイン	青色の明るい部分の強弱を微調整します。 0 ~ 255
R バイアス	赤色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 127 ~ 128
G バイアス	緑色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 127 ~ 128
B バイアス	青色の暗い部分の強弱を微調整します。 - 127 ~ 128

設定した内容がユーザーに保存されます。

「画質の調整」メニューに戻ると、「色温度設定」には設定したユーザーが選ばれています。



6 軸カラーマネージメント 画面上の色調を、R（赤色）・G（緑色）・B（青色）および補色（シアン、マゼンタ、黄色）ごとに個別に調整します。

- 1 「6 軸カラーマネージメント」を「オン」に切り換えた後、<ENTER>を押す。



- 2 詳細設定画面で各種設定をする。



色選択	◀▶ で調整する色を選択します。
色あい	色のバランスを調整します。 - 511 ~ + 511
色の濃さ	色の濃淡を調整します。 - 127 ~ + 127
明るさ	色の明るさを調整します。 - 127 ~ + 127
リセット	設定を初期状態に戻します。◀▶ で「はい」を選び、<ENTER>を押します。

適応コントラスト補正 動画など変化していく映像に対して、色の使い方を判断してコントラストを自動的に調整します。

効果なし ↔ 効果大

カラーエンハンスメント 色を強調して表示します。

オフ、低、中、高（効果小～効果大）

リファインエンハンサ リサイズなどによって生じた不明瞭な映像の輪郭部を補正し、映像の解像感を高めます。

オフ、低、中、高（効果小～効果大）

階調スムーサ 入力された映像信号からノイズ成分だけを抽出・除去し、ノイズ感の少ない映像を表示します。

オフ、オン

メモリー機能を使う

6通りの映像調整値（「画質の調整」メニュー）をメモリーに保存し、必要なときに呼び出してお気に入りの映像をお楽しみいただけます。

画質の調整

デフォルト	デフォルト
映像メニュー	スタンダード
バックライト	50
ピクチャー	50
黒レベル	50
色の濃さ	50
色あい	50
シャープネス	50
シャープネス強度	高
ガンマ	2.2
色温度設定	9300K
6軸カラーマネジメント	オフ
適応コントラスト補正	5
カラーエンハンスメント	オフ
リファインエンハンサ	オフ
階調スムーサ	オフ

メモリー保存
メモリー呼出
メモリー編集

メモリー保存

(☞ 70 ページ)

メモリー呼出

(☞ 70 ページ)

メモリー編集

(☞ 71 ページ)

1. []	MEMORY1
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3
4. []	MEMORY4
5. []	MEMORY5
6. []	MEMORY6

メモリー機能の概要

オリジナル映像



映像を調整する
(☞ 66 ~ 68 ページ)



カスタム映像



例)
映像調整値を
MEMORY 1 に保存する
(メモリー保存)

オリジナル映像



例)
MEMORY 1 を呼び出す
(メモリー呼出)



カスタム映像



メモリー編集画面

1. [*]	MEMORY1
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3

例)
メモリー名を「MY
PICTURE」に変更する
(メモリー編集)



1. [*]	MY PICTURE
2. [*]	MEMORY2
3. [*]	MEMORY3

メモリーに保存する

映像調整値をメモリーに保存します。

1 「画質の調整」メニューで、 画質を設定する

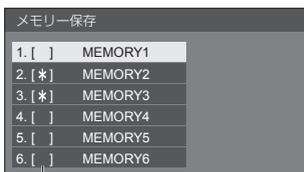
(☞ 66 ~ 68 ページ)

2 「画質の調整」メニューで

▲▼ で「メモリー保存」を選んで
<ENTER> を押す



3 ▲▼ で映像調整値を保存するメモリー名 を選んで <ENTER> を押す



・すでに映像調整値が保存されているメモリーには「*」が表示されます。

4 ◀▶ で「はい」を選んで <ENTER> を押す



5 ▲▼◀▶ でメモリー名を入力する

・メモリー名の入力 ☞ 72 ページ



6 メモリー名の入力が終わったら

▲▼◀▶ で「確定」を選び
<ENTER> を押す



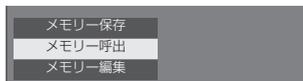
・「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

メモリーを呼び出す

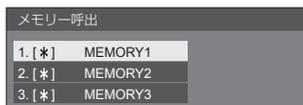
メモリーを呼び出し、ディスプレイに映像調整値を適用します。

1 「画質の調整」メニューで

▲▼ で「メモリー呼出」を選んで
<ENTER> を押す



2 ▲▼ で呼び出すメモリーを選んで <ENTER> を押す



リモコンの数字ボタンでメモリーを呼び出す

数字ボタン <1> ~ <5> にはそれぞれ MEMORY 1 ~ MEMORY 5 の呼び出し機能が割り当てられています。

「ファンクション設定」(☞ 81 ページ)

1 <1> ~ <5> のいずれかを押す

2 ◀▶ で「はい」を選んで <ENTER> を押す



メモリーを呼び出しているときはメモリー名を表示します。



お知らせ

- 呼び出したメモリーは選択されている入力端子ごとに記憶されます。

メモリーを編集する

メモリーを削除またはメモリー名を変更します。

■メモリーを削除する

1 「画質の調整」メニューで

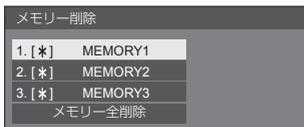
▲▼で「メモリー編集」を選んで
<ENTER> を押す



2 ▲▼で「メモリー削除」を選んで <ENTER> を押す



3 ▲▼で削除するメモリーを選んで <ENTER> を押す



- 全てのメモリーを削除するには「メモリー全削除」を選びます。

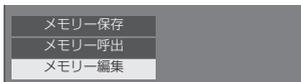
4 ◀▶で「はい」を選んで <ENTER> を押す



■メモリー名を変更する

1 「画質の調整」メニューで

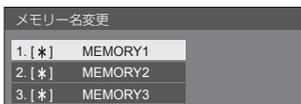
▲▼で「メモリー編集」を選んで
<ENTER> を押す



2 ▲▼で「メモリー名変更」を選んで <ENTER> を押す



3 ▲▼で名前を変更するメモリーを選んで <ENTER> を押す



4 ▲▼◀▶でメモリー名を入力する

- メモリー名の入力 72 ページ



5 メモリー名の入力が終わったら

▲▼◀▶で「確定」を選び
<ENTER> を押す



- 「キャンセル」を選ぶとメモリー名の変更をキャンセルします。

メモリー名の入力

メモリー名の入力は画面に表示されたキーボードから文字を選んで行います。



キーボードの文字入力ボックスにはすでに「MEMORY 1」と表示されていますが、「MY PICTURE」というメモリー名に変更します。

1 ▲▼◀▶で「全削除」を選び、<ENTER>を押す

MEMORY1

文字が全て削除されます。

文字を1文字削除するには「1文字削除」を選びます。

2 ▲▼◀▶で「a/A/@」を選び、<ENTER>を押す

1文字削除 全削除 a/A/@ キャンセル 確定

キーボードを大文字アルファベットに切り換えます。

<ENTER>を押すたびに、キーボードが小文字→大文字→記号に切り換わります。

3 ▲▼◀▶で「M」を選び、<ENTER>を押す

M

この操作を繰り返し、文字を入力します。

4 ▲▼◀▶でスペースキーを選び、<ENTER>を押す



スペースキー

手順3と同じように「PICTURE」と文字を選んで入力します。

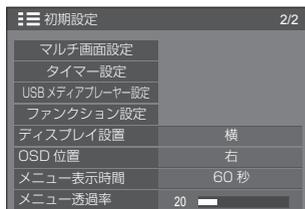
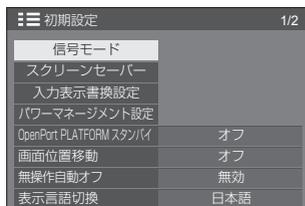
5メモリー名の入力が終わったら ▲▼◀▶で「確定」を選び、<ENTER>を押す



- ・「キャンセル」を選ぶとメモリーの保存をキャンセルします。

初期設定

1 <SETUP> を押して 「初期設定」メニュー画面を表示する



2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力や、画面設定状態によって調整できる項目は変わります。

3 ◀▶ で設定をする

4 <SETUP> を押して設定を終了する

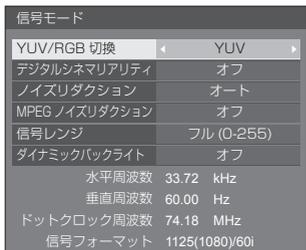
- 1 つ前の画面に戻るには <RETURN> を押す。

信号モード

「信号モード」サブメニュー画面 (例)
OpenPort PLATFORM 選択時



HDMI / DVI 選択時



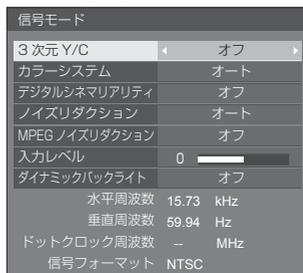
PC 選択時



COMPONENT/RGB 選択時



VIDEO 選択時



USB 選択時



お知らせ

- 「信号モード」設定メニューは入力信号によって異なります。
- 調整できない項目はグレー表示になります。

■ コンポーネント入力切替

本メニューは PC IN および COMPONENT/RGB IN 入力時に表示されます。各端子の入力信号方式に合わせて設定します。

色差ビデオ： YP_BP_R/YC_BC_R 信号

RGB： RGB 信号

お知らせ

- 入力端子 (COMPONENT/RGB IN、PC IN) ごとに設定してください。

■ YUV/RGB 切替

本メニューは HDMI 1、HDMI 2 および DVI-D IN 入力時に表示されます。各端子の入力信号方式に合わせて設定します。

YUV： YUV 信号

RGB： RGB 信号

お知らせ

- 入力端子 (HDMI 1、HDMI 2、DVI-D IN) ごとに設定してください。

■ 同期

本メニューは PC IN 入力時に表示されます。

RGB / パソコン信号入力時

オート：

HD/VD 入力 / SYNC ON G が自動で切り換わります。

HD/VD 入力 / SYNC ON G 両方に同期信号がある場合は HD/VD 入力が優先されます。CS 信号を接続する場合は、HD 入力端子に接続してください。

ON G：

HD/VD 入力 / SYNC ON G 両方に同期信号が入る場合で、SYNC ON G で同期を取りたい場合に選択します。

HV 同期：

HD/VD 入力 / SYNC ON G 両方に同期信号が入る場合で、HD/VD 入力同期を取りたい場合に選択します。

コンポーネント (色差) ビデオ信号入力時

オート：

HD/VD 入力 / SYNC ON Y が自動で切り換わります。

HD/VD 入力 / SYNC ON Y 両方に同期信号がある場合は HD/VD 入力が優先されます。CS 信号を接続する場合は、HD 入力端子に接続してください。

ON Y：

HD/VD 入力 / SYNC ON Y 両方に同期信号が入る場合で、SYNC ON Y で同期を取りたい場合に選択します。

HV 同期：

HD/VD 入力 / SYNC ON Y 両方に同期信号が入る場合で、HD/VD 入力同期を取りたい場合に選択します。

■ デジタルシネマリアリティ

映画フィルムで撮影された映像を忠実に再生します。通常は「オフ」に設定してください。

お知らせ

- デジタルシネマリアリティを「オン」にすると、映画など、毎秒 24 コマで撮影された動きのある映像がより自然な再生映像でご覧いただけます。
- 「オン」で不自然な映像になる場合は「オフ」でご覧ください。

■ ノイズリダクション

映像のノイズ (ざらつき感) を低減します。

オフ：

ノイズリダクションが無効になります。

弱、中、強：

ノイズリダクションの強弱を設定します。

オート：

ノイズリダクションは「弱」、「中」、「強」から自動的に選択されます。

■ MPEG ノイズリダクション

MPEG 映像に特有なノイズを低減します。

オフ：

ノイズリダクションが無効になります。

弱、中、強：

ノイズリダクションの強弱を設定します。

■ XGA モード

本メニューは、PC IN および COMPONENT/RGB IN 入力時に表示されます。

本機は、画角 / サンプリングが異なる XGA 信号 (1024 × 768、1280 × 768、1366 × 768) に対応しています。

オート：

信号の自動判別を行います。

画角や解像度の表示状態によっては、より適切で見やすい表示になるように、入力信号に合わせて設定を切り換えてください。

お知らせ

- 本設定を行った後は、必要に応じて「位置調整」メニューの各調整 (「自動位置補正」など) を行ってください。(P.63 ページ)

■ 信号レンジ

本メニューは HDMI 1、HDMI 2 および DVI-D IN 入力時に表示されます。各端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。

ビデオ (16-235) :

入力信号がビデオレンジの場合。

例：DVD プレーヤーの HDMI 端子出力

フル (0-255) :

入力信号がフルレンジの場合。

例：パソコンの HDMI 端子出力

オート :

入力信号に応じて自動的にダイナミックレンジを「ビデオ (16-235)」または「フル (0-255)」に切り換えます。

お知らせ

- 「オート」は HDMI 信号入力時のみ設定できます。

■ 入力レベル

本メニューは PC IN、COMPONENT/RGB IN および VIDEO IN 入力時に表示されます。

特に白い部分や非常に明るい部分の映像を入力信号レベルで調整します。

- 16 ~ + 16 :

(レベル低) ~ (レベル高)

■ 3 次元 Y/C

VIDEO IN 入力時、動いている映像が不自然に見えるときに設定します。通常は「オン」でご覧ください。

お知らせ

- 信号方式によっては、効果が少ないまたは無い場合があります。

■ カラーシステム

VIDEO IN 入力時、信号方式に合わせてカラーシステムを設定します。通常は「オート」に設定します。入力された信号の方式を自動的に判別します。

オート、PAL、SECAM、NTSC、NTSC 4.43、PAL M、PAL N :

PAL60 の映像をご覧になるときは「オート」を選択してください。

映像が不安定な場合

システムを「オート」に設定した場合、低レベルまたはノイズの多い入力信号の条件下で、画像がまれに不安定になることがあります。その場合は、入力信号形式に一致するようにシステムを設定してください。

■ ダイナミックバックライト

平均輝度レベル (APL) の低い信号入力時にバックライトを制御することで映像のコントラストを向上、白浮きを低減させます。

オン :

本機能が有効になります。

オフ :

本機能が無効になります。

お知らせ

- 本機能が動作している時は、オンスクリーンの輝度が暗くなります。
- 入力毎に「ダイナミックバックライト」の設定が異なる場合、入力切替にてオンスクリーンの明るさが変わることがあります。
- 表示映像によってはちらつきが出る場合があります。気になる場合は、「ダイナミックバックライト」を「オフ」にしてご使用ください。

■ 入力信号表示

現在入力している信号の周波数と信号の種類を表示します。

水平周波数	33.72 kHz
垂直周波数	60.00 Hz
ドットクロック周波数	74.18 MHz
信号フォーマット	1125(1080)60i

表示範囲 :

水平走査周波数 (15 kHz ~ 135 kHz)

垂直走査周波数 (24 Hz ~ 120 Hz)

デジタル信号およびパソコン信号入力時には、ドットクロック周波数を表示します。

スクリーンセーバー

静止画や 4 : 3 表示画像を長時間映す場合に残像(焼き付き現象)の発生を軽減します。

「スクリーンセーバー」サブメニュー画面



■スクリーンセーバーの設定

スクリーンセーバーの動作

スクリーンセーバー動作中は、次の 5 パターンを全画面に 5 秒毎に順次表示し、それを繰り返します。

黒→濃い灰色→灰色→薄い灰色→白→薄い灰色→灰色→濃い灰色

今すぐスクリーンセーバーをスタートする

- ①「動作選択」で「オン」を選ぶ。
- ②「スタート」を選んで <ENTER> を押す。
 - ・スクリーンセーバーが開始します。



お知らせ

- スクリーンセーバー動作中に以下のボタンを押すとスクリーンセーバーが解除されます。

リモコン： <RETURN>

本体： <MENU> <INPUT>
<+> <-> ▲▼ <ENTER>

- ・ディスプレイの電源を「切」にすると、スクリーンセーバーは解除されます。

一定の周期ごとにスクリーンセーバーをオン／オフする

- ①「動作選択」で「周期指定」を選ぶ。
- ②「周期時間」を設定する。
 - ・◀▶ を押すたびに 15 分ずつ変わります。
- ③「動作時間」を設定する。
 - ・◀▶ を一度押すと 1 分ずつ変わります。押し続けると 15 分ずつ変わります。



お知らせ

- 「動作時間」は「周期時間」より長い時間には設定できません。

指定した時刻にスクリーンセーバーをオン／オフする

- ①「動作選択」で「時刻指定」を選ぶ。
- ②「開始時間」と「終了時間」を設定する。
 - ・◀▶ を一度押すと 1 分ずつ変わります。押し続けると 15 分ずつ変わります。



お知らせ

- OpenPort PLATFORM で「日付と時刻」を設定してから、「開始時間」と「終了時間」を設定してください。(P.54 ページ)
- 日付が 2016/01/01 以降の場合のみ設定できます。
- OpenPort PLATFORM システムが再起動中など、状態により「時刻指定」のスクリーンセーバーは動作しない場合があります。

スクリーンセーバーの後に電源を切る

- ①「動作選択」で「自動電源オフ」を選ぶ。
- ②「動作時間」を設定する。
 - ・◀▶ を一度押すと 1 分ずつ変わります。押し続けると 15 分ずつ変わります。
- ③「スタート」を選んで <ENTER> を押す。
 - ・スクリーンセーバーが開始し、設定時間後に電源が「切」(スタンバイ)になります。



お知らせ

- 「動作時間」は 0:00 ~ 23:59 まで設定できます。「0:00」に設定したとき、「自動電源オフ」は動作しません。

入力表示書換設定

入力端子に接続した機器に合わせて表示名を変更します。

「入力表示書換設定」サブメニュー画面

入力表示書換設定	
HDMI1	HDMI1
HDMI2	HDMI2
DVI-D	DVI-D
PC	PC
COMPONENT	COMPONENT
VIDEO	VIDEO

HDMI1	HDMI1 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
HDMI2	HDMI2 / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
DVI-D	DVI-D / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
PC	PC / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
COMPONENT*	COMPONENT / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)
VIDEO	VIDEO / DVD1 / DVD2 / DVD3 / Blu-ray1 / Blu-ray2 / Blu-ray3 / CATV / VCR / STB / (スキップ)

(スキップ) :

<INPUT> を押したときに入力を飛び越して表示します。

※「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切替」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(P.74 ページ)

パワーマネジメント設定

消費電力を低減するための各種設定を行います。

「パワーマネジメント設定」サブメニュー画面

パワーマネジメント設定	
パワーマネジメントモード	カスタム
無信号自動オフ	無効
HDMI1 パワーマネジメント	オフ
HDMI2 パワーマネジメント	オフ
DVI-D パワーマネジメント	オフ
PC パワーマネジメント	オフ
消費電力低減設定	オフ

■ パワーマネジメントモード：オン

消費電力低減のメニューを次の固定値に設定します。個別に設定はできません。

無信号自動オフ：有効

HDMI1 パワーマネジメント：オン

HDMI2 パワーマネジメント：オン

DVI-D パワーマネジメント：オン

PC パワーマネジメント：オン

消費電力低減設定：オン

■ パワーマネジメントモード：カスタム

消費電力低減のメニューを個別に設定します。「パワーマネジメントモード」が「カスタム」のとき、設定が有効になります。

無信号自動オフ

「有効」にすると、約 10 分間無操作で入力同期信号が無いと自動的に電源が切れます (スタンバイ)。

お知らせ

- USB 入力では、USB 端子に USB メモリーが接続されていない場合に無信号と判断します。
- OpenPort PLATFORM 入力は無信号検出の対象となりません。

HDMI1 パワーマネジメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入 / 切します。

HDMI1 入力時に約 60 秒間、映像 (同期信号) が検知されないとき :

電源「切」(スリープ) / 電源ランプ：橙色点灯

その後、HDMI1 入力で映像 (同期信号) が検知されると :

電源「入」 / 電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

HDMI2 パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

HDMI2 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スリープ）/電源ランプ：橙色点灯

その後、HDMI2 入力で映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」/電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

DVI-D パワーマネージメント

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

DVI-D 入力時に約 60 秒間、映像（同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スリープ）/電源ランプ：橙色点灯

その後、DVI-D 入力で映像（同期信号）が検知されると：

電源「入」/電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

PC パワーマネージメント（DPMS 機能）

「オン」にすると、次の条件で本機能が動作し、自動的に電源を入/切します。

PC 入力時に約 60 秒間、映像（HD/VD 同期信号）が検知されないとき：

電源「切」（スリープ）/電源ランプ：橙色点灯

その後、PC 入力で映像（HD/VD 同期信号）が検知されると：

電源「入」/電源ランプ：緑色点灯

お知らせ

- 「信号モード」の「同期」が「オート」または「HV 同期」、「コンポーネント入力切換」が「RGB」のときのみ動作します。（☞ 74 ページ）
- 映像出力機器によっては、本機能が動作しない場合があります。

消費電力低減設定

バックライトの明るさを調節して消費電力を低減します。

オフ：本機能は動作しません。

オン：バックライトの明るさを下げます。

お知らせ

- 「Input search」が「Off」以外の場合は、「Input search」機能動作が優先となります。（各端子におけるパワーマネージメント機能は動作しません。）（「Input search」機能について ☞ 84 ページ）
- 「Failover/Failback」の「Input change mode」が「Off」以外の場合は、「Failover/Failback」機能動作が優先となります。（各端子におけるパワーマネージメント機能は動作しません。）（「Failover/Failback」機能について ☞ 85 ページ）

OpenPort PLATFORM スタンバイ

スタンバイ時の OpenPort PLATFORM システムの動作状態を切り換え設定します。

オフ：

リモコンなどで電源オフ時

OpenPort PLATFORM システムをシャットダウンします。

スタンバイ（赤色点灯）状態時

リモコンあるいは RS-232C で起動させることは可能ですが、タイマー設定や有線 LAN および無線 LAN から起動させることはできません。

オン（出荷設定）：

リモコンなどで電源オフ時

OpenPort PLATFORM システムをシャットダウンしません。

スタンバイ（橙色点灯）状態時

タイマー設定や有線 LAN および無線 LAN からも起動させることが可能です。

画面位置移動

液晶パネルの焼き付き軽減のため、画面位置を移動させて表示します。

「オン」に設定すると、一定の時間間隔で画面位置を移動させて表示します。

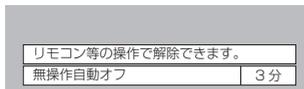
お知らせ

- 「マルチ画面設定」を「オン」に設定の場合は、画面位置移動は動作しません。（☞ 79 ページ）
- 画面の設定状態により、画面の一部が欠けて見える場合があります。

無操作自動オフ

「有効」にすると、本機を約 4 時間以上操作しないとき、自動的に電源が切れます（スタンバイ）。

電源が切れる 3 分前から、切れるまでの残り時間を表示します。



本機能が働いて電源が切れた場合、次回電源を入れたときに「無操作自動オフが働きました。」と表示します。

お知らせ

- スクリーンセーバー動作中に、本機能は動作しません。
- OpenPort PLATFORM 入力時、本機能は動作しません。

表示言語切換

選択された言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などを表示します。

選択できる言語

English(UK) :	英語 (イギリス)
Deutsch :	ドイツ語
Français :	フランス語
Italiano :	イタリア語
Español :	スペイン語
ENGLISH(US) :	英語 (アメリカ)
中文 :	中国語
日本語 :	日本語
Русский :	ロシア語

お知らせ

- OpenPort PLATFORM の「言語と入力」でも言語の設定ができます。(☞ 54 ページ)
- OpenPort PLATFORM システムが起動中など、状態によりグレー表示になり設定できなくなります。

マルチ画面設定

横方向に 1 ~ 10 台と縦方向に 1 ~ 10 台を並べたディスプレイを 1 つのグループとして、拡大した映像を映します。

「マルチ画面設定」サブメニュー画面



お知らせ

- 設定は入力端子ごとに記憶します。
- マルチ画面設定「オフ」時に「位置調整」(☞ 63 ページ) で、同一画角に調整後、マルチ画面設定を「オン」にして再度、「位置調整」で画角を微調整してください。
- 「位置調整」メニューは、マルチ画面の状態でも調整できます。

■ マルチ画面設定

オフ：拡大分割画面にしない。

オン：拡大分割画面にする。

「オン」のときは、画面のアスペクトは「フル」になります。

■ 横拡大率

マルチ画面表示の横方向の拡大率を設定します。

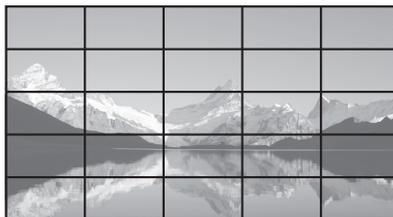
1 ~ 10 (USB 入力時は 1 ~ 2)

■ 縦拡大率

マルチ画面表示の縦方向の拡大率を設定します。

1 ~ 10 (USB 入力時は 1 ~ 2)

例) 横拡大率「5」と縦拡大率「5」に設定のマルチ画面



■ 横方向目地設定・縦方向目地設定

目地部分に隠れる映像の領域を、縦方向と横方向でそれぞれ調整します。

0 ~ 100

表示例)

設定値 0



目地部分を含むすべての映像を表示します。(パソコンなどで文字情報を表示する場合に適しています)

設定値 100



目地部分の映像を表示しません。(動画など動きのある映像を表示する場合に適しています)

■ 拡大位置

マルチ画面の画面位置を割り当てます。

例) 横拡大率「10」、縦拡大率「10」の場合

A1	A2	...	A9	A10
B1	B2	...	B9	B10
...
I1	I2	...	I9	I10
J1	J2	...	J9	J10

A1 ~ J10 から選ぶ。

- 「横拡大率」「縦拡大率」の設定により、設定の表示内容は変わります。
- 「マルチ画面設定」を「オフ」にしておくと、設定メニューを表示中、画面上で拡大位置を確認できます。

タイマー設定

指定した時刻・映像入力で電源を入れたり、指定した時刻に電源を切るまたは再起動するプログラムを設定します。

プログラムは 20 通り設定できます。

お知らせ

- OpenPort PLATFORM で「日付と時刻」を設定してから、タイマー設定をしてください。(P.54 ページ)
- 日付が 2016/01/01 以降の場合のみ設定できます。
- 同じ時刻に複数のプログラムが設定されている場合、プログラム番号の最も小さいものが有効になります。
- 電源を入/切るプログラムを設定する場合は「OpenPort PLATFORM スタンバイ」を「オン」にして使用してください。(P.78 ページ)
- 再起動機能は、MAIN ソフト Ver.2.00 以降で対応します。
- OpenPort PLATFORM システムが再起動中など、状態によりタイマー機能は動作しない場合があります。

「タイマー設定」サブメニュー画面

〔設定例〕

プログラム 1 毎週月曜日 12:00

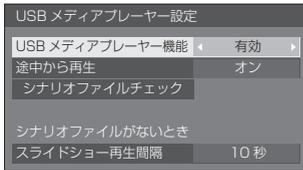
電源入 入力：HDMI1

タイマー設定	
2016/01/01 FRIDAY 10:00	
プログラム番号	1
タイマー機能設定	オン
曜日指定	MONDAY
電源動作設定	電源オン
時刻設定	12:00
入力設定	HDMI1

- ① プログラム番号を設定する。
- ② プログラムを実行する場合は「オン」に設定する。プログラムは「オフ」が設定されると無効になります。
- ③ 曜日を設定する。「Everyday」に設定すると、プログラムを毎日実行します。
- ④ 電源の入/切または再起動を設定する。**電源オン、電源オフ、再起動**
- ⑤ 時刻を設定する。
◀▶を一度押すと 1 分ずつ変わります。
押し続けると 15 分ずつ変わります。
- ⑥ 入力を設定する。

USB メディアプレーヤー設定

USB メディアプレーヤー機能について設定します。
「USB メディアプレーヤー設定」サブメニュー画面



■ USB メディアプレーヤー機能

USB メディアプレーヤーの機能を有効または無効に設定します。

■ 途中から再生

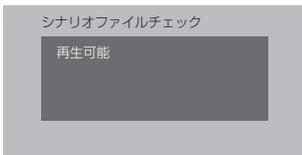
途中から再生機能をオンまたはオフに設定します。

■ シナリオファイルチェック

USB 端子の USB メモリー内容チェックを実行します。エラーが検出された場合は、エラーコードとファイル名が表示されます。

エラーコードの詳細については「USB メモリー内容チェック」(☞ 100 ページ)をご覧ください。

▲▼ で「シナリオファイルチェック」を選び、<ENTER> を押します。



■ スライドショー再生間隔

静止画像の表示時間を選択します。

10 秒～ 600 秒

ファンクション設定

リモコンの数字ボタン (<1>～<6>) の機能を設定します。よく使う操作をボタンに割り当てることで、ショートカットボタンとして使用できます。

1 ◀▶ で「ファンクショングループ」を切り換える

「ファンクション設定」サブメニュー画面



2 ▲▼ で数字ボタンを選び、◀▶ で割り当てる機能を設定する

数字ボタンに割り当てる機能

入力切換 (ダイレクト入力選択)

入力をワンタッチで選択できます。

OpenPort PLATFORM / HDMI1 / HDMI2 / DVI-D / PC / COMPONENT * / VIDEO / USB

※「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(☞ 74 ページ)

- <6> にはワンタッチで OpenPort PLATFORM 入力を選択する機能と、OpenPort PLATFORM 入力時にソフトウェアキーボードを表示する機能(☞ 38 ページ) が割り当てられています。設定の変更はできません。

メモリー呼出

メモリーをワンタッチで呼び出します。

メモリーを呼び出す ☞ 70 ページ

MEMORY 1 ～ MEMORY 5

- <1>～<5> にはそれぞれ MEMORY 1～MEMORY 5 の呼び出し機能が割り当てられています。設定の変更はできません。

KEYBOARD

- <6> には OpenPort PLATFORM 入力時にソフトウェアキーボードを表示する機能(☞ 38 ページ) が割り当てられています。OpenPort PLATFORM 以外の入力時には特定の機能は割り当てられていません。設定の変更はできません。

ショートカット (アクション・メニュー画面表示) 信号モード、スクリーンセーバー、タイマー設定、パ ワーマネージメント設定、マルチ画面設定

- 数字ボタンを押すとメニュー画面を表示します。も
う1度数字ボタンを押すとメニュー画面が消えま
す。

AVミュート

- 数字ボタンを押すと音声や映像をミュートします。
解除するには電源ボタン以外のリモコンの何れかの
ボタンを押します。

デジタルズーム

- 数字ボタンを押すとデジタルズームモードになりま
す。(P.60 ページ)

KEYBOARD

- <6> には OpenPort PLATFORM 入力時にソ
フトウェアキーボードを表示する機能 (P.38
ページ) が割り当てられています。OpenPort
PLATFORM 以外の入力時には特定の機能は割り
当てられていません。設定の変更はできません。

工場出荷時の設定

工場出荷時は次のように数字ボタンに機能が設定さ
れています。

	入力切換	メモリー呼出	ショートカット
1	HDMI1	MEMORY 1	信号モード
2	HDMI2	MEMORY 2	スクリーンセーバー
3	DVI-D	MEMORY 3	タイマー設定
4	PC	MEMORY 4	パワーマネージメ ント設定
5	COMPONENT	MEMORY 5	AV ミュート
6	OpenPort PLATFORM / KEYBOARD	--- / KEYBOARD	--- / KEYBOARD

■ ファンクションガイド

数字ボタンを押したときの機能表示を設定しま
す。ファンクショングループごとに設定してくだ
さい。

オン: 数字ボタンの機能一覧を表示します。

オフ: 機能一覧を表示しません。数字ボタンを押す
と動作を行います。

お知らせ

- <FUNCTION> を押したときは、設定のオン/オフ
にかかわらずファンクションガイドを表示します。

ショートカットボタン (数字ボタン) の使 い方

1 <FUNCTION>

または <1> ~ <6> を押す

ファンクションガイドが表示されます。

ファンクションガイド: オフのときは、数字ボタン
を押すと機能が働きます。

例: 入力切換



OpenPort PLATFORM 入力時、「6.」には
「KEYBOARD」と表示されます。

2 <FUNCTION> を押して ファンクショングループを切り換える

例: メモリー呼出



OpenPort PLATFORM 入力時、「6.」には
「KEYBOARD」と表示されます。

3 <1> ~ <6> を押す

押したボタンの機能が働きます。

例: <2> を押したとき



ディスプレイ設置

縦置き設置時のオンスクリーン表示の表示方向を設定します。

横： 横置き用のオンスクリーン表示になります。

縦： オンスクリーン表示が反時計方向に 90 度回転表示し、縦置き設置時に表示が見やすくなります。

設定を変更すると OpenPort PLATFORM の再起動を確認するメッセージが表示されます。



◀または▶で「はい」を選んで <ENTER> を押しと再起動が開始します。

(「OpenPort PLATFORM の起動」 35 ページ)



お知らせ

- 縦置き設置時は、電源ランプを下側にして設置してください。
- OpenPort PLATFORM システムが起動中など、状態によりグレー表示になり設定できなくなります。
- 「縦」に設定した場合、OpenPort PLATFORM 入力画面は縦方向の設定になります。ただし、映像や画像の回転は、アプリの設定によって異なります。その他の入力端子の映像は回転しません。

OSD 位置

オンスクリーンメニューの表示位置を設定します。

◀または▶を押すたびにオンスクリーンメニューの表示位置が変わります。

表示例：



お知らせ

- 「ディスプレイ設置」の設定により表示位置の設定は異なります。

ディスプレイ設置：横の場合

左 / 中央 / 右

ディスプレイ設置：縦の場合

上 / 中央 / 下

メニュー表示時間

オンスクリーンメニューの表示時間を設定します。

5 秒 ~ 180 秒

メニュー透過率

オンスクリーンメニュー表示の背景の透過率を設定します。

0 ~ 100

オプション (Options) メニュー

本機は設置場所や用途に合わせて使用される場合に便利な特殊機能を備えています。

1 <SETUP> を押す

「初期設定」メニュー画面が表示されます。

2 ▲▼ で「表示言語切替」を選び、<ENTER> を 3 秒以上押す

以下のような画面が表示されます。

Options	
Display software information	
Software licenses	
USB data cloning	
Shipping	
OpenPort PLATFORM Shutdown	

3 ▲▼ で「Options」を選び、<ENTER> を押す

Options 画面が表示されます。

Options		1/3
Input search		
Failover/Failback		
Audio input select		
Onscreen display	On	
Initial input	Off	
Initial VOL level	Off	0
Maximum VOL level	Off	0
Input lock	Off	
Button lock	Off	
Controller user level	Off	
PC auto setting	Off	

Options		2/3
Off-timer function	◀ Enable ▶	
Initial startup	Last memory	
Startup logo	Off	
Display ID	0	
Controller ID function	Off	
Serial ID function	Off	
Serial response(ID all)	Off	
Serial daisy chain position	---	
Information timing		

Options		3/3
Power on screen delay	◀ Off ▶	
Clock display	Off	
Power on message(No activity power off)	On	
Power on message(Power management)	On	
POWER button lock	Off	

4 ▲▼ で設定項目を選ぶ

「Input search」、「Failover/Failback」、「Audio input select」、「Information timing」については <ENTER> を押すと、サブメニュー画面が表示されます。(☞ 84・85・88・91 ページ)

5 ◀▶ で設定値を選ぶ

6 <SETUP> を押して設定を終了する

お知らせ

- 「Options」メニューの表示にはリモコンが必要です。本体操作部のボタンでは表示できません。
- <RETURN> を押すと 1 つ前の画面に戻ります。
- 「Options」メニューの言語は英語表示のみです。
- 手順 3 で「Display software information」を選択すると、本機のシリアル番号とソフトウェアバージョンが表示されます。(MAIN ソフト Ver2.00 以降で対応します。)
- 手順 3 で「Software licenses」を選択すると、ソフトウェアライセンスを表示します。

Input search (無信号時自動入力切替)

無信号になったとき、信号のある他の入力に自動で切り換えます。

お知らせ

- OpenPort PLATFORM 入力は無信号検出の対象となりません。本機能の対象外です。

1 ▲▼ で設定項目を選び、◀▶ で設定値を選ぶ

Input search	
Input search	◀ Custom ▶
1st search input	(None)
2nd search input	(None)

Input search

Off : 無信号時、入力の自動切り換えをしません。

All inputs : OpenPort PLATFORM を除く全入力をサーチして、信号のある入力に切り換えます。

下記の順で入力をサーチします。

例：現在の入力が HDMI1 の場合

HDMI2 → DVI-D → PC →
COMPONENT* → VIDEO →
USB → HDMI1 →

お知らせ

- 「入力表示書換設定」(☞ 77 ページ) で「(スキップ)」に設定している入力は飛び越してサーチします。
- Y/G/VIDEO 端子を VIDEO 入力として使用している場合は、COMPONENT*を「(スキップ)」に設定してください。
※ 「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(☞ 74 ページ)

Custom : 「現在の入力」、「1st search input」、「2nd search input」の順にサーチを繰り返して、信号のある入力に切り換えます。

入力サーチ中は「サーチ中」と表示します。

1st search input、2nd search input

「Custom」のときにサーチする入力を設定します。

HDMI1 / HDMI2 / DVI-D / PC /
COMPONENT* / VIDEO / USB / (None)

※ 「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(☞ 74 ページ)

お知らせ

- USB 入力では、USB 端子に USB メモリーが接続されていない場合に無信号と判断します。
- 次の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。
 - ・ 「Input lock」が「Off」以外の場合。(☞ 89 ページ)
 - ・ 「Failover/Failback」の「Input change mode」が「Off」以外の場合。(☞ 85 ページ)
- 本機能で入力が切り換わった場合、次回電源「入」時はその入力になります。
電源「入」時に元の入力にするには「Initial input」を元の入力に設定してください。(☞ 89 ページ)

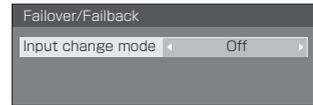
Failover/Failback(フェイルオーバー/フェイルバック)

映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力ビデオに自動的に切り替えます。

- 1 ▲▼ で設定項目を選び、
◀▶ で設定値を選ぶ

Input change mode(入力切換方法)

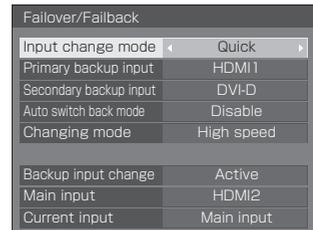
Off : バックアップ入力機能を無効にします。



Quick : 映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力にすばやく切り替えます。

バックアップビデオ信号は、表示に使用するメイン入力と同じ形式である必要があります。

バックアップ入力に切り替えたときには、表示に使用するメイン入力の映像信号とオーディオの調整値が継承されます。



Failover/Failback	
Input change mode	Quick
Primary backup input	HDMI 1
Secondary backup input	DVI-D
Auto switch back mode	Disable
Changing mode	High speed
Backup input change	
Main input	HDMI2
Current input	Main input

Normal : 映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力に切り替えます。

バックアップビデオ信号は、表示に使用するメイン入力と同じ形式である必要はありません。

バックアップ入力に切り替えたときには、バックアップ入力の映像信号とオーディオの調整値が使用されます。

■ Input change mode : Quick (クイック)

映像信号の中断が発生した場合に、バックアップ入力にすばやく切り替え、デジタル (HDMI1 / HDMI2 / DVI-D) 入力間の切り替えができるようにします。

お知らせ

- バックアップビデオ信号は、表示に使用するメイン入力と同じ形式である必要があります。
- バックアップ入力に切り替えたときには、表示に使用するメイン入力のビデオとオーディオの調整値が継承されます。
- 「メイン入力 (OpenPort PLATFORM 以外)」から「バックアップ入力 OpenPort PLATFORM」に切り替えたときには、次の機能は、メイン入力としての動作が継承されます。
「無操作自動オフ」、本体ボタンの操作
- この機能は、表示に使用する入力とバックアップ入力の両方で映像信号が検出されると開始され、「Backup input change」に「Active」と表示されます。

Primary backup input (プライマリー入力)

最も優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

(None) / OpenPort PLATFORM / HDMI1 / HDMI2 / DVI-D

表示に使用する入力と同じ入力がグレー表示になります。

Secondary backup input (セカンダリー入力)

2 番目に優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

(None) / OpenPort PLATFORM / HDMI1 / HDMI2 / DVI-D

表示に使用する入力と同じ入力がグレー表示になります。

Auto switch back mode (自動復帰モード)

バックアップ入力機能によって有効になったバックアップ入力のビデオの表示中に最初に表示されていた入力ビデオが回復した場合に前の (メイン) 入力に自動的に戻るかどうかを設定します。

Disable : 戻りません

Enable : 戻ります

Changing mode (切換速さ)

入力切換の速さを選択できます。

High speed : 同一の信号フォーマット間であれば、1 秒以内に切り換えます。

異なる信号フォーマット間の場合、画面上にノイズが発生します。

Normal speed : 同一の信号フォーマット間であれば、2 秒以内に切り換えます。

異なる信号フォーマット間の場合、3 ~ 4 秒で切り換わりますが画面上にノイズは発生しません。

- OpenPort PLATFORM 入力は 1 125(1 080)/60p 信号フォーマット相当として扱われます。

Backup input change (バックアップ入力ステータス)

バックアップ入力機能の実行条件を満たしているかどうかを表示します。

Inactive : 条件を満たしていないことを示します。
バックアップ入力機能は無効になります。

Active : 条件を満たしていることを示します。バックアップ入力機能は有効になります。

Main input (メイン入力)

最初に表示に使用される (メイン) 入力を表示します。

Current input (入力選択状態)

現在表示に使用されている入力が最初に使用される (メイン) 入力かバックアップ入力かを表示します。

設定の条件

次の表に各設定項目の制限 (使用可能な組み合わせ) を示します。

		バックアップ		
		OpenPort PLATFORM / HDMI1 / HDMI2 / DVI-D	PC COMPONENT* / VIDEO	USB
メイン	OpenPort PLATFORM	×	×	×
	HDMI1			
	HDMI2	○	×	×
	DVI-D			
	PC COMPONENT*	×	×	×
	VIDEO			
USB	×	×	×	

○ : Primary/Secondary 両方に選択可能

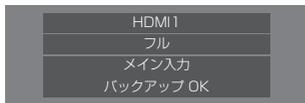
× : Primary/Secondary 何れにも選択不可

※ 「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(P.74 ページ)

画面表示

<RECALL> を押すと次のいずれかが表示されます。

- メイン入力を表示に使用し、バックアップ入力機能の実行条件を満たしている場合。



- バックアップ入力機能の実行によって有効になったバックアップ入力を使用して表示している場合。



バックアップ入力機能の条件を満たした場合、以下が表示されます。



■ Input change mode : Normal (ノーマル)

映像信号の中断が発生した場合にバックアップ入力に切り替えます。

お知らせ

- アナログ (PC、COMPONENT、または VIDEO) 入力を表示に使用しているときに、アナログ (PC、COMPONENT、または VIDEO) 入力をバックアップ入力に設定することはできません。
- アナログ (PC、COMPONENT または VIDEO) 入力をプライマリー入力とセカンダリー入力を同時に設定することはできません。
- この機能は、表示に使用する入力とバックアップ入力の両方で映像信号が検出されると開始され、「Backup input change」に「Active」と表示されます。

Primary backup input (プライマリー入力)

最も優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

(None) / OpenPort PLATFORM / HDMI1 / HDMI2 / DVI-D / PC / COMPONENT* / VIDEO / USB

表示に使用する入力と同じ入力がグレー表示になります。

アナログ (PC、COMPONENT または VIDEO) 入力を表示に使用しているときに、アナログ (PC、COMPONENT、または VIDEO) 入力をバックアップ入力に設定することはできません。

アナログ (PC、COMPONENT、または VIDEO) 入力をプライマリー入力とセカンダリー入力を同時に設定することはできません。

Secondary backup input (セカンダリー入力)

2 番目に優先順位が高いバックアップ入力を設定します。

(None) / OpenPort PLATFORM / HDMI1 / HDMI2 / DVI-D / PC / COMPONENT* / VIDEO / USB

表示に使用する入力と同じ入力がグレー表示になります。

アナログ (PC、COMPONENT、または VIDEO) 入力を表示に使用しているときに、アナログ (PC、COMPONENT、または VIDEO) 入力をバックアップ入力に設定することはできません。

アナログ (PC、COMPONENT、または VIDEO) 入力をプライマリー入力とセカンダリー入力を同時に設定することはできません。

Auto switch back mode (自動復帰モード)

バックアップ入力機能によって有効になったバックアップ入力のビデオの表示中に最初に表示されていた入力ビデオが回復した場合に前の (メイン) 入力に自動的に戻るかどうかを設定します。

Disable : 戻りません

Enable : 戻ります

Backup input change (バックアップ入力ステータス)

バックアップ入力機能の実行条件を満たしているかどうかを表示します。

Inactive : 条件を満たしていないことを示します。バックアップ入力機能は無効になります。

Active : 条件を満たしていることを示します。バックアップ入力機能は有効になります。

Main input (メイン入力)

最初に表示に使用される (メイン) 入力を表示します。

Current input (入力選択状態)

現在表示に使用されている入力が最初に使用される (メイン) 入力かバックアップ入力かを表示します。

- ※ 「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。
([p.74](#) ページ)

設定の条件

次の表に各設定項目の制限（使用可能な組み合わせ）を示します。

		バックアップ		
		OpenPort PLATFORM HDMI1 HDMI2 DVI-D	PC COMPONENT* VIDEO	USB
メイン	OpenPort PLATFORM	×	×	×
	HDMI1	○	△	○
	HDMI2	○	△	○
	DVI-D	○	△	○
	PC COMPONENT* VIDEO	○	×	○
USB	○	△	×	

○：Primary/Secondary 両方に選択可能

△：Primary/Secondary 何れか一方に選択可能

×：Primary/Secondary 何れにも選択不可

※「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。（[P.74](#)ページ）

画面表示

<RECALL> を押すと次のいずれかが表示されます。

- メイン入力を表示に使用し、バックアップ入力機能の実行条件を満たしている場合。



- バックアップ入力機能の実行によって有効になったバックアップ入力を使用して表示している場合。



バックアップ入力機能の条件を満たした場合、以下が表示されます。



お知らせ

- 次の場合、本メニューはグレー表示になり設定できません。
 - ・「Input lock」が「OpenPort PLATFORM」の場合。（[P.89](#)ページ）
 - ・「Input search」が「Off」以外の場合。（[P.84](#)ページ）
- USB入力では、USB端子にUSBメモリーが接続されていないと判断された場合に映像信号の中断として扱います。

Audio input select（音声入力選択）

映像入力を選んだときの音声を設定します。

- 1 ▲▼ で映像入力を選び、
◀▶ で音声入力を設定する



- 工場出荷時は上の図のように設定されています。

映像入力	音声入力
OpenPort PLATFORM	OpenPort PLATFORM / AUDIO1 IN / AUDIO2 IN / No audio
HDMI1	HDMI1 / AUDIO1 IN / AUDIO2 IN / No audio
HDMI2	HDMI2 / AUDIO1 IN / AUDIO2 IN / No audio
DVI-D / PC / COMPONENT* / VIDEO	AUDIO1 IN / AUDIO2 IN / No audio

- ・No audio：音声入力なし（ミュート）

※「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切換」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。（[P.74](#)ページ）

音声入力の設定が工場出荷状態から変更されている場合、以下のように音声入力が表示されます。



Onscreen display (オンスクリーン表示)

電源オン表示、入力切替表示、無信号表示、外部メディア無し表示 (USB 入力時)、メニュー画面表示後の消音表示、オフタイマー 3 分前の残時間表示を行わなくすることができます。

On : 表示にします。

Off : 非表示にします。

Initial input (スタート入力設定)

電源「入」時の入力を設定します。

Off / OpenPort PLATFORM / HDMI1 / HDMI2 / DVI-D / PC / COMPONENT * / VIDEO / USB

※ 「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切替」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(☞ 74 ページ)

お知らせ

- 「Input lock」が「Off」以外の場合は、グレー表示になり設定できません。(☞ 89 ページ)

Initial VOL level (スタート音量設定)

電源「入」時の音量を設定します。

Off : 電源「切」前の状態の音量になります。

On : 設定した音量になります。

- メニューの「Initial VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します。

■ 音量の設定

<VOL -> <VOL +> を押して音量を調整します。

お知らせ

- 「Maximum VOL level」が「On」のときは「Maximum VOL level」で設定した音量以上には設定できません。

Maximum VOL level (最大音量設定)

音量を設定以上に大きくならないようにします。

Off : 音量を「100」(最大値)まで設定できます。

On : 設定値以上の音量にはなりません。

- メニューの「Maximum VOL level」を選択中で「On」の状態のときは、設定されている音量で出力します。

■ 音量の設定

<VOL -> <VOL +> を押して音量を調整します。

お知らせ

- 「Maximum VOL level」を「Off」から「On」にしたとき、「Maximum VOL level」で設定した音量が「Initial VOL level」の設定した音量以下では強制的に「Initial VOL level」で設定した音量は「Maximum VOL level」で設定した音量になります。

Input lock (入力切替固定)

入力を固定して「入力切替」操作をできなくします。

Off / OpenPort PLATFORM / HDMI1 / HDMI2 / DVI-D / PC / COMPONENT * / VIDEO / USB

※ 「COMPONENT」は、「コンポーネント入力切替」の設定により、「RGB」と表示される場合があります。(☞ 74 ページ)

お知らせ

- 「Off」以外に設定すると、すぐに入力切替操作ができなくなります。

Button lock (ボタン操作制限)

本体のボタン操作を制限します。

Off : ボタン操作を制限しません。

On : 本体の電源ボタンを除くすべてのボタン操作はできません。

MENU & ENTER : <MENU> と <ENTER> 操作はできません。

■ Button lock の設定

本体のボタンを操作して設定できます。

Off :

- ① < + > を 4 回押す
- ② < INPUT > を 4 回押す
- ③ < - > を 4 回押す
- ④ < ENTER > を押す

On :

- ① < - > を 4 回押す
- ② < ENTER > を 4 回押す
- ③ < + > を 4 回押す
- ④ < ENTER > を押す

MENU & ENTER :

- ① < ENTER > を 4 回押す
- ② < + > を 4 回押す
- ③ < INPUT > を 4 回押す
- ④ < ENTER > を押す

お知らせ

- 設定を標準値に戻す方法について ☞ 「ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには」(☞ 92 ページ)

Controller user level (リモコン操作制限)

リモコンのボタン操作を制限します。

Off: ボタン操作を制限しません。

User1: 電源ボタン (⏻ / ⏪) <INPUT>
<RECALL> <MUTE>
<VOL -> <VOL +> 以外のボタン操作は
できません。

User2: 電源ボタン (⏻ / ⏪) 以外のボタン操作は
できません。

User3: すべてのボタン操作はできません。

お知らせ

- 設定を標準値に戻す方法について ④ 「ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには」 (④ 92 ページ)

PC auto setting (自動位置補正)

「位置調整」メニューの自動位置補正の動作モードを設定します。

Off: リモコンの <AUTO SETUP> を押したときや「位置調整」メニューで自動位置補正を実行したときに動作します。

On: リモコン、メニューでの操作以外に、次の場合に自動位置補正が動作します。

- ・ディスプレイの電源を「入」にしたとき
- ・入力信号が切り変わったとき

Off-timer function (オフタイマー機能)

オフタイマー機能を有効 / 無効の設定をします。

Enable: オフタイマー機能を有効にします。

Disable: オフタイマー機能を無効にします。

お知らせ

- オフタイマー設定時は「Disable」にするとオフタイマーが解除されます。

Initial startup (電源復帰モード)

電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときの本体の電源状態を設定します。

Last memory: 電源が切れる前の状態で復帰します。

On: 電源「入」の状態で復帰します (電源ランプ: 緑色点灯)。

Standby: 電源「スタンバイ」の状態で復帰します (電源ランプ: 赤色 / 橙色点灯)。

お知らせ

- 本機を複数台設置されている場合は、電源が復帰したときの負担を軽減するために「Standby」に設定されることをおすすめします。

Startup logo (起動ロゴ表示)

本機の電源を入れたとき、画面上への Panasonic ロゴの表示 / 非表示を設定します。

Off: Panasonic ロゴを表示しません。

On: Panasonic ロゴを表示します。

お知らせ

- OpenPort PLATFORM の起動画面については 35 ページを参照してください。

Display ID (ID 番号選択)

「Controller ID function」「Serial ID function」でディスプレイ本体の制御を行うときの ID 番号を設定します。

0 ~ 100 (標準値: 0)

Controller ID function (リモコン ID 制御)

ID リモコン機能の有効 / 無効を設定します。

本機能をご使用になるには、別売の ID リモコンが必要です。(④ 104 ページ)

Off: ID リモコン機能を無効にします。(通常のリモコンとして操作できます)

On: ID リモコン機能を有効にします。
「On」に切り換えと同時に有効になります。

お知らせ

- ID リモコン機能を使うときは、リモコンの ID 番号とディスプレイ本体の ID 番号の設定が必要です。リモコンの ID 番号の設定は 104 ページ、ディスプレイ本体の ID 番号は「Display ID (ID 番号選択)」をご覧ください。
- 設定を標準値に戻す方法について ④ 「ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには」 (④ 92 ページ)

Serial ID function (シリアル ID 制御)

SERIAL (シリアル) 端子に接続したパソコンからの外部制御をディスプレイの ID 番号により制御する設定をします。

Off: ID による外部制御を無効にします。

On: ID による外部制御を有効にします。

Serial response (ID all) (シリアル応答)

ID 番号「0」のシリアルコマンドを受信した際に応答コマンドを返すかどうかを設定します。

Off: 応答を返しません。

On: 応答を返します。

Serial daisy chain position (シリアルデ イジーチェーン接続位置)

本機の SERIAL IN/OUT 端子をデジーチェーン接続したときの先頭と終端を設定します。

---: 本機を単体でシリアル制御する場合またはデジーチェーンの先頭・終端以外の場合。

Top: デジーチェーンの先頭に接続する場合。

End: デジーチェーンの終端に接続する場合。

Information timing (情報通知タイミング)

無信号時の警告・エラーや周囲温度の上昇をお知らせする機能を設定します。

RS-232C 制御時:

警告・エラー情報を本機から自動で発信します。

LAN 制御時:

警告・エラー情報を本機から取得できます。

- 1 ▲▼ で設定項目を選び、
◀▶ で設定値を選ぶ

Information timing	
No signal warning	On
No signal warning timing	5min
No signal error	On
No signal error timing	10min
Temperature warning	On

No signal warning

「On」に設定すると無信号警告を通知します。

No signal warning timing

無信号警告の検出時間を設定します。

(範囲: 01 ~ 60、間隔: 1分)

No signal error

「On」に設定すると無信号エラーを通知します。

No signal error timing

無信号エラーの検出時間を設定します。

(範囲: 01 ~ 90、間隔: 1分)

- 次の5つの機能の何れかが動いて無信号を検出した場合は、「No signal warning」と「No signal error」による警告・エラーは通知されません。

無信号自動オフ、HDMI1 パワーマネージメント、HDMI2 パワーマネージメント、DVI-D パワーマネージメント、PC パワーマネージメント (参照 77 ページ)

設定例)

No signal warning timing: 5分

No signal error timing: 10分

お知らせ

- 「No signal error timing」は「No signal warning timing」より短く設定できません。

Temperature warning

「On」に設定すると本機の温度警告を通知します。

お知らせ

- USB 入力は、Information timing の無信号の対象ではありません。

Power on screen delay (起動遅延制御)

複数台のディスプレイを設置し、同時に電源「入」にしたとき、各ディスプレイの電源が入るタイミングを遅らせて電源負荷を分散します。ディスプレイごとに設定してください。

Off: 電源「入」と同時に電源が入ります。

Auto: Display ID で設定された番号に合わせて、遅延時間を自動で設定します。

Display ID に 0.3 秒を掛けることで遅延時間が決定します。

例: Display ID が 3 の場合 → 0.9 秒

1 ~ 30: 遅延時間(秒)を設定します。電源を「入」にしてから設定した時間だけ遅れてディスプレイの電源が入ります。

お知らせ

- 遅延動作開始から終了までの間は、電源ランプが緑色点滅します。
- 電源プラグの抜き差し時や、停電などで電源が瞬断した後、再度電源が復帰したときにもこの機能は働きます。
- 「OpenPort PLATFORM スタンバイ」(参照 78 ページ) を「オン」に設定していても、電源ランプが消灯または赤色点灯のスタンバイ状態からの起動時、起動遅延動作中は OpenPort PLATFORM はまだ起動していませんので、この間にリモコンなどで電源オフした場合、電源ランプが赤色点灯のスタンバイ状態に移行します。

Clock display (時計表示設定)

時計表示の表示 / 非表示を設定します

Off: 時計を表示しません。

On: 時計を表示します。

お知らせ

- 時計表示は、<RECALL> を押したとき、ディスプレイの左下に表示されます。
- 現在日時が未設定の場合、「Clock display」を「On」に設定しても時計は表示されません。(参照 54 ページ)

Power on message(No activity power off)

(無操作自動オフ警告メッセージ)

電源「入」時の無操作自動オフ警告メッセージの表示 / 非表示を設定します。

On: 電源「入」時に警告メッセージを表示します。

Off: 電源「入」時に警告メッセージを表示しません。

お知らせ

- 本設定は、「無操作自動オフ」が「有効」の場合に有効になります。(☞ 79 ページ)
- 電源「入」時に OpenPort PLATFORM 入力だった場合は、警告メッセージを表示しません。

Power on message(Power management)

(パワーマネージメントお知らせメッセージ)

電源「入」時、パワーマネージメントによって電源オフされた事をお知らせするメッセージの表示 / 非表示を設定します。

On: 電源「入」時にお知らせメッセージを表示します。

Off: 電源「入」時にお知らせメッセージを表示しません。

お知らせ

- 本設定は、「パワーマネージメント」機能が「オン」の場合に有効になります。(☞ 77 ページ)

POWER button lock (電源ボタンロック)

本体電源ボタン (⏻ / I) のロック設定をします。

On: 電源ボタンの操作が無効になります。

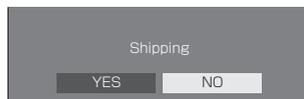
Off: 電源ボタンの操作が有効になります。

ボタン操作制限、リモコン操作制限の設定を標準値に戻すには

「Button lock」「Controller user level」「Controller ID function」の設定を行ない、リモコンと本体のボタンで本機の操作ができなくなったときに、設定を「Off」に戻し操作ができるようにします。

1 本体操作部の <←> とリモコンの <RETURN> を同時に 5 秒以上押す

「Shipping」を表示した後、表示が消えロックが解除されます。



- 「Button lock」「Controller user level」「Controller ID function」の設定が「Off」に戻ります。

ネットワーク機能を使う

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

また、OpenPort PLATFORM 入力では WEB ページの表示や、サーバーからアプリダウンロードなどができます。

接続に必要なパソコン環境

はじめに、お使いのパソコンに有線 LAN、または無線 LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。

ディスプレイとパソコンを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

すべての無線 LAN アダプターやパソコンに内蔵されている無線 LAN アダプターでの動作を保証するものではありません。

■ 有線 LAN の場合

チェック 1: LAN ケーブルについて

- ・ ケーブルを正しく接続してください。
- ・ LAN ケーブルは、カテゴリ 5 以上に対応したものを、1000BASE-T 用の機器を接続する場合はカテゴリ 5e 以上に対応したものを使用してください。

チェック 2: 有線 LAN の設定

有線 LAN 機能が内蔵されているパソコン

- ・ 有線 LAN を有効にしてください。

有線 LAN 機能が内蔵されていないパソコン

- ・ 有線 LAN アダプターが正しく認識され、有効になっていることを確認してください。
- ・ 事前に有線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、有線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

■ 無線 LAN の場合

チェック 1: 無線 LAN の設定

無線 LAN 機能が内蔵されているパソコン

- ・ 無線 LAN を有効にしてください。

無線 LAN 機能が内蔵されていないパソコン

- ・ 無線 LAN アダプターが正しく認識され、有効になっていることを確認してください。
- ・ 事前に無線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール方法は、無線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

チェック 2: パソコン

- ・ セキュリティ (ファイアウォール) ソフトウェアやネットワークカードのユーティリティソフトウェアがインストールされていると、ディスプレイと接続できない場合があります。
- ・ ネットワークブリッジを設定しないでください。
- ・ ファイアウォールは無効にしてください。

ネットワーク接続例

お知らせ

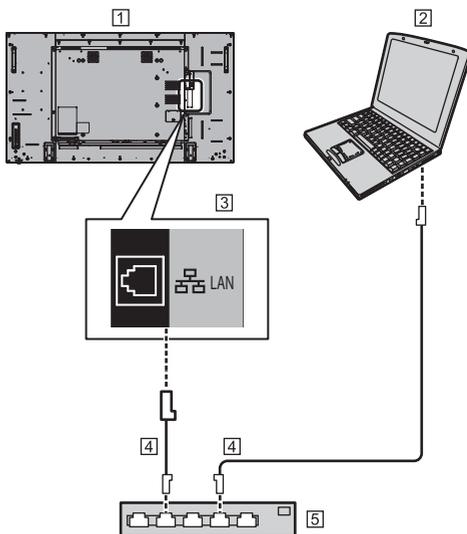
- ネットワーク機能をご利用になる場合は、OpenPort PLATFORM の「無線とネットワーク」(☞ 50 ページ) の各設定を行ってください。

さらにネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御する場合は、OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」(☞ 49 ページ) の各設定を行い、「コマンド制御」を必ず「ON」に設定してください。

また、スタンバイ時に有線 LAN および無線 LAN からの起動などを有効にしたい場合は「OpenPort PLATFORM スタンバイ」を「オン」に設定してください。(☞ 78 ページ)

「オン」に設定すると、リモコンで電源を「切」にしたとき (スタンバイ)、電源ランプが橙色点灯します。

■ LAN 端子接続



- ① ディスプレイ (本体後面)
- ② パソコン
- ③ LAN
- ④ LAN ケーブル (市販品)
- ⑤ ハブまたはブロードバンドルーター

お知らせ

- LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T に対応していることをご確認ください。
- ネットワークは有線 LAN と無線 LAN の両方が動作する状態では、有線 LAN が優先動作します。無線 LAN を使用される場合は、有線 LAN ケーブルを接続しない状態にしてご使用下さい。
- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。
- 接続方法についてはネットワーク管理者にご相談ください。

コマンドコントロール

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(☞ 24 ページ)

LAN 経由の制御コマンドについて

OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」の「制御プロトコル」の設定が「Protocol1」か「Protocol2」かによって通信内容が異なります。

1. 「制御プロトコル」が「Protocol1」の場合

ディスプレイ専用のプロトコルで通信を行います。

■ コマンド制御アドミニストレータ権限パスワード設定時（プロテクトモード）

接続方法

- ディスプレイの IP アドレスとポート番号（初期設定値 = 1024）を取得してディスプレイへ接続を要求してください。

IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

- IP アドレス：OpenPort PLATFORM の「ステータス」(☞ 47 ページ) または「無線とネットワーク」(☞ 50 ページ)
- ポート番号：OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」(☞ 49 ページ)

2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
PDPCONTROL (ASCII 文 字列)	「J」 0x20	「1」 0x31	「J」 0x20	「zzzzzzz」 (ASCII コード 16 進数)	(CR) 0x0d
10 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	8 バイト	1 バイト

モード：1 = プロテクトモード

3 MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

「zzzzzzzzzyyyyy」

zzzzzzzz：手順 2 で取得した 8 バイトの乱数

yyyyyy：コマンド制御のアドミニストレータ権限ユーザー

- 出荷時のユーザー名とパスワードは、以下の通りです。
ユーザー名：admin1
パスワード：panasonic

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー	制御記号	データ部	制御記号	終端記号
ハッシュ値 (「接続方法 参照」)	(STX) 0x02	制御コマ ンド (ASCII 文 字列)	(ETX) 0x03	(CR) 0x0d
32 バイト	1 バイト	不定長	1 バイト	1 バイト

受信データ

制御記号	データ部	制御記号	終端記号
(STX) 0x02	制御コマ ンド (ASCII 文 字列)	(ETX) 0x03	(CR) 0x0d
1 バイト	不定長	1 バイト	1 バイト

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
"ERR1" 未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2" パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3" ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4" タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5" 誤ったデータの長さ	
"PDPCONTROL パスワード不一致 ERRA"	
4 バイトまたは 15 バイト	1 バイト

■ コマンド制御アドミニストレータ権限パスワード非設定時（非プロテクトモード）

接続方法

- 1 ディスプレイのIPアドレスとポート番号（初期設定値 = 1024）を取得してディスプレイへ接続を要求してください。

IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

- IP アドレス：OpenPort PLATFORM の「ステータス」(☞ 47 ページ) または「無線とネットワーク」(☞ 50 ページ)
- ポート番号：OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」(☞ 49 ページ)

- 2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	終端記号
[PDPCONTROL]	[]	[0]	(CR)
(ASCII 文字列)	0x20	0x30	0x0d
10 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト

モード：0 = 非プロテクトモード

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

制御記号	データ部	制御記号	終端記号
(STX)	制御コマンド	(ETX)	(CR)
0x02	(ASCII 文字列)	0x03	0x0d
1 バイト	不定長	1 バイト	1 バイト

受信データ

制御記号	データ部	制御記号	終端記号
(STX)	制御コマンド	(ETX)	(CR)
0x02	(ASCII 文字列)	0x03	0x0d
1 バイト	不定長	1 バイト	1 バイト

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
"ERR1" 未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2" パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3" ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4" タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5" 誤ったデータの長さ	
4 バイト	1 バイト

2. 「制御プロトコル」が「Protocol2」の場合

当社プロジェクターと同じプロトコルで通信を行います。

■ コマンド制御アドミニストレータ権限パスワード設定時（プロテクトモード）

接続方法

- 1 ディスプレイのIPアドレスとポート番号（初期設定値 = 1024）を取得してディスプレイへ接続を要求してください

IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

- IP アドレス：OpenPort PLATFORM の「ステータス」(☞ 47 ページ) または「無線とネットワーク」(☞ 50 ページ)
- ポート番号：OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」(☞ 49 ページ)

- 2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
[NTCONTROL]	[]	[1]	[]	[zzzzzzzz]	(CR)
(ASCII 文字列)	0x20	0x31	0x20	(ASCII コード 16 進数)	0x0d
9 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト	8 バイト	1 バイト

モード：1 = プロテクトモード

- 3 MD5 アルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成してください。

[xxxxxx:yyyyy:zzzzzzz]

xxxxxx：コマンド制御のアドミニストレータ権限ユーザー名

yyyyy：上記アドミニストレータ権限ユーザーのパスワード

- 出荷時のユーザー名とパスワードは、以下の通りです。

ユーザー名：admin1

パスワード：panasonic

zzzzzzzz：手順2で取得した8バイトの乱数

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー	データ部	終端記号
ハッシュ値	'0'	(CR)
(「接続方法」参照)	0x30	0x30
	制御コマンド (ASCII 文字列)	0x0d
32 バイト	1 バイト	1 バイト
	不定長	1 バイト

受信データ

ヘッダー	データ部	終端記号
'0'	'0'	(CR)
0x30	0x30	(ASCII 文字列)
1 バイト	1 バイト	不定長
		1 バイト

エラー応答

エラーメッセージ		終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド	(CR)
"ERR2"	パラメーター範囲外	0x0d
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
"ERR5"	誤ったデータの長さ	
"ERRA"	パスワード不一致	
4 バイト		1 バイト

■ コマンド制御アドミニストレータ権限パスワード非設定時 (非プロテクトモード)

接続方法

- 1 ディスプレイの IP アドレスとポート番号 (初期設定値 = 1024) を取得してディスプレイへ接続を要求してください

IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

- IP アドレス : OpenPort PLATFORM の「ステータス」(☞ 47 ページ) または「無線とネットワーク」(☞ 50 ページ)
- ポート番号 : OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」(☞ 49 ページ)

2 ディスプレイからの応答があります。

応答データ

データ部	空白	モード	終端記号
[NTCONTROL]	[]	[0]	(CR)
(ASCII 文字列)	0x20	0x30	0x0d
9 バイト	1 バイト	1 バイト	1 バイト

モード : 0 = 非プロテクトモード

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0'	'0'	制御コマンド	(CR)
0x30	0x30	(ASCII 文字列)	0x0d
1 バイト	1 バイト	不定長	1 バイト

受信データ

ヘッダー		データ部	終端記号
'0'	'0'	制御コマンド	(CR)
0x30	0x30	(ASCII 文字列)	0x0d
1 バイト	1 バイト	不定長	1 バイト

エラー応答

エラーメッセージ	終端記号
"ERR1"	未定義の制御コマンド (CR)
"ERR2"	パラメーター範囲外 0x0d
"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間
"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間
"ERR5"	誤ったデータの長さ
4 バイト	1 バイト

PJLink プロトコル

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

コマンド	制御内容
POWER	電源制御 0: スタンバイ 1: 電源「入」
POWER?	電源状態問い合わせ 0: スタンバイ 1: 電源「入」
INPT	入力切換 11: PC IN 入力 (PC) 21: COMPONENT/RGB IN 入力 (COMPONENT) 22: VIDEO 入力 (VIDEO) 31: OpenPort PLATFORM 入力 (OpenPort PLATFORM) 32: HDMI 1 入力 (HDMI1) 33: HDMI 2 入力 (HDMI2) 34: DVI-D IN 入力 (DVI-D) 41: USB 入力 (USB)
INPT?	入力切換問い合わせ 11: PC IN 入力 (PC) 21: COMPONENT/RGB IN 入力 (COMPONENT) 22: VIDEO 入力 (VIDEO) 31: OpenPort PLATFORM 入力 (OpenPort PLATFORM) 32: HDMI 1 入力 (HDMI1) 33: HDMI 2 入力 (HDMI2) 34: DVI-D IN 入力 (DVI-D) 41: USB 入力 (USB)

AVMT	シャッター制御 10: 映像オン (映像ミュート解除) 11: 映像オフ (映像ミュート) 20: 音声オン (音声ミュート解除) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
AVMT?	シャッター制御問い合わせ 11: 映像オフ (映像ミュート) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
ERST?	エラー状態問い合わせ 1 バイト目: 0 2 バイト目: 0 3 バイト目: 0 4 バイト目: 0 5 バイト目: 0 6 バイト目: その他のエラーを意味し、 0 または 2 のいずれか • 0、2 の各意味は以下の通り 0 = エラーを検知していない、 2 = エラー
LAMP?	ランプ状態問い合わせ 未対応です。
INST?	入力切替一覧問い合わせ 11: PC IN 入力 (PC) 21: COMPONENT/RGB IN 入力 (COMPONENT) 22: VIDEO 入力 (VIDEO) 31: OpenPort PLATFORM 入力 (OpenPort PLATFORM) 32: HDMI 1 入力 (HDMI1) 33: HDMI 2 入力 (HDMI2) 34: DVI-D IN 入力 (DVI-D) 41: USB 入力 (USB)
NAME?	ディスプレイ名問い合わせ OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」 の「ディスプレイ名」の設定内容を応答 します。
INF1?	メーカー名問い合わせ "Panasonic" と応答します。
INF2?	機種名問い合わせ "55AF1J" と応答します。(55V 型の 場合)
INFO?	その他情報問い合わせ バージョン番号を応答します。
CLSS?	クラス情報問い合わせ "1" と応答します。

PJLink セキュリティ認証

PJLink で使用するパスワードは OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」で設定したパスワードと同じです。(☞ 49 ページ)

認証なしで使用する場合は、OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」のパスワードをなし(空欄)に設定してください。

- PJLink に関する仕様については (社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。
URL <http://pjlink.jbmia.or.jp/>

予兆監視ソフトウェアについて

本機は、イントラネット内にある機材 (プロジェクターやディスプレイ) の状態を監視し、機材の異常の通知や異常発生の予兆を検知するソフトウェア「予兆監視ソフトウェア」に対応しています。

ライセンスの種類によって監視できる機材の登録台数が異なります。コンピューターへのインストール後 90 日間に限り、無料で最大 2048 台の機材を登録してご使用いただけます。

- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
<http://panasonic.biz/prodisplays/products/swa100/index.html>

お知らせ

- 本機は、WEB 制御機能には対応していません。

複数台監視制御ソフトウェアについて

本機は、イントラネット内にある機材 (プロジェクターやディスプレイ) に対して、監視および制御を行うソフトウェア「複数台監視制御ソフトウェア」(Multi Monitoring & Control Software) に対応しています。

- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
<http://panasonic.biz/prodisplays/download/software/index.html>

お知らせ

- 本機は、WEB 制御機能、コンテンツリスト配信機能には、対応していません。

コンテンツマネージメントソフトウェアについて

本機は、「サイネージプレーヤー」アプリ (☞ 57 ページ) で静止画や動画を再生するために必要なスケジュールのデータを、パソコン上で作成するためのソフトウェア「コンテンツマネージメントソフトウェア」に対応しています。(OpenPort PLATFORM システムのファームウェア Ver2.0以降で対応します。)

- 詳細は下記の WEB サイトを参照してください。
<http://panasonic.biz/prodisplays/download/software/index.html>

お知らせ

- 本機は、静止画や動画およびそれらのプレイリストのスケジュール再生のみに対応しています。

USB メディアプレーヤー

機能の説明

USB メディアプレーヤーは、ディスプレイ本体底部の USB 端子に USB メモリーを挿入することで、USB メモリー内に保存された静止画や動画を表示する機能です。

お知らせ

- 本機能をご使用になるには「初期設定」-「USB メディアプレーヤー設定」で「USB メディアプレーヤー機能」を「有効」に設定してください。(P.81 ページ)

シングルメディアプレーヤー

ファイルは 1 台の本機で再生されます。



 USB メモリー

お知らせ

- 本機はマルチメディアプレーヤーには対応しておりません。
- DVI-D IN/OUT 端子のデジチェーン接続で USB メモリーの映像を表示することはできません。

準備

■ 対応デバイスについて

- 市販の USB メモリーに対応しています。(セキュリティ機能がついたものは非対応。動作保証外です。)
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたものの以外は使用できません。
- USB の最大メモリサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。

■ 準備するもの

メディアプレーヤーに対して、USB メモリー内に以下のファイルを用意します。

- 再生ファイル
- シナリオ (必要に応じて)
- ファイルリスト (必要に応じて)

■ 再生ファイル

本機のメディアプレーヤーは以下の形式をサポートしています。

ファイル名 (拡張子)

静止画	JPG、JPEG、JPE
動画	AVI、MKV、ASF、WMV、TS、MTS、MP4、3GP、MOV、FLV、F4V

コーデック

コーデック	最大解像度
MPEG4 VISUAL	480@30fps
MPEG4 AVC	1080@30fps、High Profile
VC-1 Advanced	1080@30fps
VC-1 Simple & Main	1080@30fps

音声

コーデック	サンプリング周波数 (kHz)	ビットレート (kbps)
MP3	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48	8-320
AAC	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48	1-1728
WMA Standard WMA 9 WMA 10 Pro	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48	1-1728

静止画

コーデック	最大解像度
JPEG	4096 × 4096

お知らせ

- 1 ファイルの最大サイズは、2GB までです。
- デジタル著作権管理 (DRM) で保護されたファイルは再生できません。
- 記載されている対応フォーマットのファイルでも再生できないものがあります。
- 映像と音声を共に対応している形式としてください。
- 動画ファイルの音声コーデックが非対応フォーマットの場合、映像が正しく表示されない場合があります。
- 映像ファイルが無い場合は再生できません。

■ シナリオ

再生ファイルに対して、再生順や時間を指定できます。

USB メモリーのルート直下に「scenario.dat」という名前 (半角英字) で保存します。

- ファイルは UTF-8N 形式で保存します。

■ ファイルリスト

再生ファイルのリストです。

USB メモリーのルート直下に「filelist.dat」という名前 (半角英字) で保存します。

- ファイルは UTF-8N 形式で保存します。

■ シナリオ／ファイルリスト関連用語

ファイル名

再生ファイルの名称です。

ファイル名は、拡張子を含む必要があります。

例) introduction.jpg

Contents_video01.wmv

- ファイル名の拡張子は、半角英数字で入力します。

ファイル定義

シナリオとファイルの間で共有するファイル定義です。

PHOTO_xxx： 静止画ファイル定義

VIDEO_xxx： 動画ファイル定義

- xxxの部分は、001～999を設定できます。
- ファイル定義は、半角英数字で入力します。

再生時間

ファイルの再生時間です。

再生時間は、3秒から24時間まで指定できます。(単位：秒)

例) 10： 10秒

86400： 24時間

10.5： 10.5秒。小数点(ピリオド)を使って、1秒の10分の1(1/10)まで設定できます。

再生時間は省略可能です。

静止画については、ファイルは「USBメディアプレーヤー設定」の「スライドショー再生間隔」で選択した時間間隔で再生されます。(P.81ページ)

動画については、ファイルの再生時間の間隔で再生されます。

- 再生時間は、半角数字で入力します。
- サイズの大きいファイルを再生する際、再生時間を短く指定すると画面にノイズが入るなど正常に再生できない場合があります。その場合は、再生時間を長め(10秒以上)に指定しなおしてください。

お知らせ

- UTF-8N: 文字コードUTF-8でBOM(Byte Order Mark)がない形式です。Windows標準のメモ帳は、本形式での保存に非対応です。対応しているテキストエディターをご使用ください。

ファイルの再生

■ 各モードの設定例

シングルメディアプレーヤー (タイプ1)

ファイルは、USBメモリー内の名前順に再生されます。

シナリオおよびファイルリスト

シナリオ：不要

ファイルリスト：不要

設定例

USBメモリーコンテンツ

```
└ 001_Introduction.jpg
└ 002_Contents_Video1.wmv
└ 003_Contents_Video2.wmv
└ 004_Contents_Video3.wmv
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます(ループ)。

1. 001_Introduction.jpg (*1)
2. 002_Contents_Video1.wmv (*2)
3. 003_Contents_Video2.wmv (*2)
4. 004_Contents_Video3.wmv (*2)

*1「スライドショー再生間隔」の設定時間の間、再生されます。

*2ファイルの再生時間の間、再生されます。

シングルメディアプレーヤー (タイプ2)

ファイルは、シナリオに記載された順に再生されます。

シナリオおよびファイルリスト

シナリオ：

[ファイル名：再生時間]を入力します。

ファイルリスト：不要

設定例

USBメモリーコンテンツ

```
└ scenario.dat
└ Introduction.jpg
└ Contents_Video1.wmv
└ Contents_Video2.wmv
└ Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat (シナリオ)

```
Introduction.jpg:10
Contents_Video1.wmv:10
Contents_Video2.wmv:20
Contents_Video3.wmv:
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます（ループ）。

1. Introduction.jpg (10 秒)
2. Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. Contents_Video2.wmv (20 秒)
4. Contents_Video3.wmv (ファイルの再生時間の間、再生されます)

シングルメディアプレーヤー（タイプ 3）

ファイルは、シナリオに記載された順に再生されます。

シナリオおよびファイルリスト

シナリオ：

[ファイル定義：再生時間] を入力します。

ファイルリスト：

[ファイル定義：ファイル名] を入力します。

設定例

USB メモリーコンテンツ

```
└─ fileList.dat
└─ scenario.dat
└─ Introduction.jpg
└─ Contents_Video1.wmv
└─ Contents_Video2.wmv
└─ Contents_Video3.wmv
```

scenario.dat（シナリオ）

```
PHOTO_001:10
VIDEO_001:10
VIDEO_002:20
VIDEO_003:
```

filelist.dat（ファイルリスト）

```
PHOTO_001:Introduction.jpg
VIDEO_001:Contents_Video1.wmv
VIDEO_002:Contents_Video2.wmv
VIDEO_003:Contents_Video3.wmv
```

再生内容

上記の設定例の場合、以下の内容が繰り返し再生されます（ループ）。

1. Introduction.jpg (10 秒)
2. Contents_Video1.wmv (10 秒)
3. Contents_Video2.wmv (20 秒)
4. Contents_Video3.wmv (ファイルの再生時間の間、再生されます)

お知らせ

- メニュー画面が表示されていない間は▶で次の再生ファイルへ、◀で前の再生ファイルへスキップし、▼でファイルの先頭から再生しなおすことができません（リモコンのみ対応）。
- 「マルチ画面設定」は2×1、1×2、2×2に対応しています（☞79 ページ）。

■ USB メモリー内容チェック

USB メモリーの内容チェックは「USB メディアプレーヤー設定」の「シナリオファイルチェック」で実行できます。（☞81 ページ）

エラーがあるときは以下の形式でお知らせします。

A(B) : C
D

A : エラーがあるファイル名

B : エラーがある行

C : エラーコード

D : エラー内容

お知らせ

- 主要なエラーコードを表示します。
エラーの検出内容は以下のとおりです。

エラーコード	エラー内容
1.	USB メモリーが挿入されていません。
2.	scenario.dat/filelist.dat が開けません。
3.	scenario.dat/filelist.dat の記載内容にエラーがあります。
4.	再生ファイルの形式はサポートされていません。
5.	再生ファイルが存在しません。
7.	ファイル定義が重複しています。
8.	シナリオの再生時間が範囲外です。
9.	シナリオに記載されたファイル定義がファイルリストにありません。
10.	シナリオの再生ファイルが 0 もしくは 1000 以上あります。
11.	再生ファイルが 0 もしくは 1000 以上あります。 (シングルメディアプレーヤー(タイプ 1)のみ)

※エラーコード 1 および 11 の場合は、下記のようにエラーコードとエラー内容のみ表示されます。

1

USB メモリーが挿入されていません。

補足事項

USB メモリー内容チェックは、再生ファイルが再生可能かどうかは判断できません。

メディアプレーヤーが有効であるのにファイルが再生できない場合、エラーメッセージが表示されます。

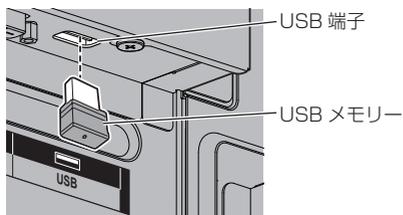
メディアプレーヤーの開始／終了

開始

1. ディスプレイ本体底部の USB 端子にメディアプレーヤー用の USB メモリーを挿入します。

お知らせ

- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。市販の延長ケーブルをご使用、または本機に接続可能な小型タイプの USB メモリーをご使用ください。



2. USB メモリー内容チェックを実行します。
3. 入力を「USB」に切り換えます。

終了

入力を「USB」以外に切り換えます。

途中から再生機能（レジューム再生）

メディアプレーヤー終了後、次に再生されるファイルは、「USB メディアプレーヤー設定」の「途中から再生」の設定により異なります。

設定が「オン」の場合：

メディアプレーヤーの終了前に再生されたファイルが、最初から再生されます。

設定が「オフ」の場合：

シナリオの最初のファイルの初めから再生されます。

お知らせ

- 途中から再生機能は本機の電源を切るか USB メモリーを抜くまで保持されます。

データクローニング

1 台のディスプレイに設定されたメニュー設定や調整値を、USB メモリーを使用して複数台のディスプレイにコピーできます。

■ コピーできるデータ

「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「位置調整」「Options」メニューの設定、調整値

- 次のデータはコピーされません。ディスプレイごとに設定してください。

「Options」 - 「Display ID」のディスプレイ ID
OpenPort PLATFORM システムの設定、調整値

■ 対応デバイスについて

- 市販の USB メモリーに対応しています。(セキュリティ機能がついたものは非対応。動作保証外です。)
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたものは使用できません。
- USB の最大メモリサイズは、32GB です。
- シングルパーティション構成にのみ対応しています。

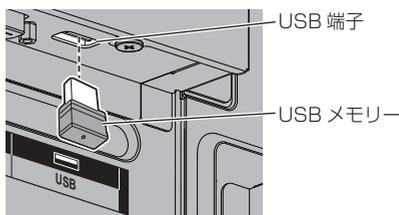
お知らせ

- ディスプレイのインチサイズが異なる場合、クローニング機能は動作しません。共通のインチサイズ間でご利用ください。
- 「USB data cloning」メニューの表示にはリモコンが必要です。本体操作部のボタンでは表示できません。
- 入力を「USB」以外に設定してデータクローニングを実行してください。

ディスプレイのデータを USB メモリーにコピー

1 データコピー元のディスプレイ底部の USB 端子に USB メモリーを挿入する

「Select Copy Type」画面が出たら手順 5 へ進む



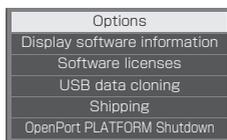
お知らせ

- 電源「入」のときに、クローン用のデータが保存された USB メモリーを接続すると、手順 5 「Select Copy Type」のメッセージが表示されます。
- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。市販の延長ケーブルをご使用、または本機に接続可能な小型タイプの USB メモリーをご使用ください。
- USB メモリーへの保存や読み出しに失敗すると、エラーメッセージが表示されます。

2 <SETUP> を押して「初期設定」メニューを表示する

3 ▲▼ で「表示言語切換」を選び、<ENTER> を 3 秒以上押す

以下のような画面が表示されます。



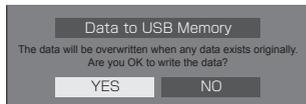
4 ▲▼ で「USB data cloning」を選び、<ENTER> を押す

5 ▲▼ で「Display → USB Memory」を選び、<ENTER> を押す

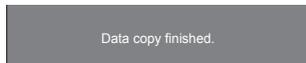


6 ◀▶ で「YES」を選び、<ENTER>を押す

USB メモリーへのデータコピーが開始します。



データコピーが終わると表示します。



7 データのコピーが終わったら USB 端子から USB メモリーを抜き取る

USB メモリーのデータをディスプレイにコピー

1 データコピー先のディスプレイ底部の USB 端子に、データコピー後の USB メモリーを挿入する (102 ページの手順 1 と同じ)

「Select Copy Type」画面が出たら手順 5 へ進む

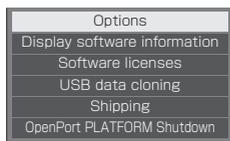
お知らせ

- 電源「入」のときに、クローン用のデータが保存された USB メモリーを接続すると、手順 5 「Select Copy Type」のメッセージが表示されます。

2 <SETUP> を押して「初期設定」メニューを表示する

3 ▲▼ で「表示言語切換」を選び、<ENTER> を 3 秒以上押す

以下のような画面が表示されます。



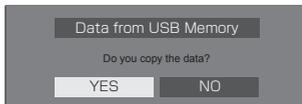
4 ▲▼ で「USB data cloning」を選び、<ENTER> を押す

5 ▲▼ で「USB Memory → Display」を選び、<ENTER> を押す

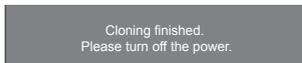


6 ◀▶ で「YES」を選び、<ENTER>を押す

ディスプレイへのデータコピーが開始します。



データコピーが終わると表示します。



7 データのコピーが終わったら USB 端子から USB メモリーを抜き取る

8 ディスプレイ本体の電源ボタン (⏻/⏼) を押して電源を「切」にした後、再度「入」にする

コピーした内容がディスプレイに反映されます。

※ 電源ボタンがロックされている場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

※ 手順 7 で USB メモリーを抜き取らなかった場合、本機の電源を入れなおしたときに、「Select Copy Type」と表示されます。

お知らせ

- 「POWER button lock」を「On」に設定したデータをコピーした場合、電源を切った後にこの機能が動作して、本体の電源ボタンで電源を入れることができません。この場合は、電源プラグを抜いて十分に時間を空けてから再び電源プラグを接続して電源を入れてください。

ID リモコン機能を使う

複数台のディスプレイ本体を近接した場所で使用する場合、リモコンでディスプレイ本体を個別に操作することができます。その場合は事前に「Display ID」で設定したディスプレイ本体の ID 番号とリモコンの ID 番号を合わせる必要があります。以下の手順でリモコンの ID 番号を設定してください。

お知らせ

- 本機能をご使用になるには、別売の ID リモコン (品番：N2QAYA000093) が必要です。
- 本 ID リモコンでの OpenPort PLATFORM 部の操作時には、DEFAULT ボタンは <HOME> ボタンの動作、RETURN ボタンは <BACK> ボタンの動作、数字「6」ボタンは <KEYBOARD> ボタンの動作をします。



リモコンの ID 番号を設定する

1 「Controller ID function」を「On」に設定する

([P.90](#) ページ)

- 「Options」メニュー表示中は ID が一致しなくても操作できます。

2 リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にする

3 操作したいディスプレイ本体にリモコンを向けて <ID SET> を押す

ID set	
ディスプレイ ID	0
リモコン ID	?

4 <0> ~ <9> から選んで押す

(2 桁目の番号を設定)

5 <0> ~ <9> から選んで押す

(1 桁目の番号を設定)

- 手順 3 ~ 5 は 5 秒以内に操作してください。
- 設定できる ID 番号は 0 ~ 100 までです。
例)
 - ID を「1」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <0> <1> を押す。
 - ID を「12」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <1> <2> を押す。
 - ID を「100」に設定する場合は、手順 3 のあと、続けて <1> <0> <0> を押す。

リモコンの ID 番号の設定を解除する (ID「0」)

「Display ID」で設定した ID 番号と一致しなくても操作できます。

1 <ID SET> を 3 秒以上押す

(<ID SET> <0> <0> を押した時と同じです)

お知らせ

- 「Display ID」が 0 以外の設定で、リモコンの ID 番号が「Display ID」の設定と一致しない場合は、リモコンで操作できません。(P.90 ページ)

プリセット信号

本機が表示できる映像信号は下表のとおりです。

■ 映像信号

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォーマット * ³
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
NTSC/NTSC4.43/ PAL-M/PAL60	720 × 480i	15.7	59.9	—	V
PAL/PAL-N/SECAM	720 × 576i	15.6	50.0	—	V
525i(480i)	720 × 480i	15.7	59.9	13.5	R/Y
625i(576i)	720 × 576i	15.6	50.0	13.5	R/Y
525i(480i)	720(1440) × 480i* ²	15.7	59.9	27.0	D/H
625i(576i)	720(1440) × 576i* ²	15.6	50.0	27.0	D/H
525p(480p)	720 × 480	31.5	59.9	27.0	R/Y/D/H
625p(576p)	720 × 576	31.3	50.0	27.0	R/Y/D/H
750(720)/60p	1 280 × 720	45.0	60.0	74.3	R/Y/D/H
750(720)/50p	1 280 × 720	37.5	50.0	74.3	R/Y/D/H
1 125(1 080)/60i* ¹	1 920 × 1 080i	33.8	60.0	74.3	R/Y/D/H
1 125(1 080)/50i	1 920 × 1 080i	28.1	50.0	74.3	R/Y/D/H
1 125(1 080)/24p	1 920 × 1 080	27.0	24.0	74.3	R/Y/D/H
1 125(1 080)/24PsF	1 920 × 1 080i	27.0	48.0	74.3	R/Y
1 125(1 080)/25p	1 920 × 1 080	28.1	25.0	74.3	R/Y/D/H
1 125(1 080)/30p	1 920 × 1 080	33.8	30.0	74.3	R/Y/D/H
1 125(1 080)/60p	1 920 × 1 080	67.5	60.0	148.5	R/Y/D/H
1 125(1 080)/50p	1 920 × 1 080	56.3	50.0	148.5	R/Y/D/H

■ PC 信号

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォーマット * ³
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)		
640 × 400* ⁶	640 × 400	31.5	70.1	25.2	R/Y/D/H
	640 × 400	37.9	85.1	31.5	R/Y/D/H
640 × 480* ⁶	640 × 480	31.5	59.9	25.2	R/Y/D/H
	640 × 480	35.0	66.7	30.2	R/Y/D/H
	640 × 480	37.9	72.8	31.5	R/Y/D/H
	640 × 480	37.5	75.0	31.5	R/Y/D/H
	640 × 480	43.3	85.0	36.0	R/Y/D/H
800 × 600* ⁶	800 × 600	35.2	56.3	36.0	R/Y/D/H
	800 × 600	37.9	60.3	40.0	R/Y/D/H
	800 × 600	48.1	72.2	50.0	R/Y/D/H
	800 × 600	46.9	75.0	49.5	R/Y/D/H
800 × 600	53.7	85.1	56.3	R/Y/D/H	
832 × 624* ⁶	832 × 624	49.7	74.6	57.3	R/Y/D/H
852 × 480	852 × 480	31.5	59.9	34.2	D/H
1 024 × 768* ⁶	1 024 × 768	39.6	50.0	51.9	D/H
	1 024 × 768	48.4	60.0	65.0	R/Y/D/H
	1 024 × 768	56.5	70.1	75.0	R/Y/D/H
	1 024 × 768	60.0	75.0	78.8	R/Y/D/H
	1 024 × 768	65.5	81.6	86.0	R/Y/D/H
	1 024 × 768	68.7	85.0	94.5	R/Y/D/H
1 066 × 600	1 066 × 600	37.6	59.9	53.0	D/H

1 152 × 864*6	1 152 × 864	53.7	60.0	81.6	R/Y/D/H
	1 152 × 864	64.0	70.0	94.2	R/Y/D/H
	1 152 × 864	67.5	74.9	108.0	R/Y/D/H
	1 152 × 864	77.1	85.0	119.7	R/Y/D/H
1 152 × 870*6	1 152 × 870	68.7	75.1	100.0	R/Y/D/H
1 280 × 720*6	1 280 × 720	44.8	59.9	74.5	R/Y/D/H
1 280 × 768*6	1 280 × 768	39.6	49.9	65.3	R/Y/D/H
	1 280 × 768	47.7	60.0	80.1	R/Y/D/H
	1 280 × 768	47.8	59.9	79.5	R/Y/D/H
1 280 × 800*6	1 280 × 800	41.3	50.0	68.0	R/Y/D/H
	1 280 × 800	49.3	59.9	71.0	R/Y/D/H
	1 280 × 800	49.7	59.8	83.5	R/Y/D/H
1 280 × 960*6	1 280 × 960	60.0	60.0	108.0	R/Y/D/H
	1 280 × 960	85.9	85.0	148.5	R/Y
1 280 × 1 024*6	1 280 × 1 024	64.0	60.0	108.0	R/Y/D/H
	1 280 × 1 024	80.0	75.0	135.0	R/Y/D/H
	1 280 × 1 024	91.1	85.0	157.5	R/Y/D/H
1 360 × 768	1 360 × 768	47.7	60.0	85.5	D/H
	1 360 × 768	47.7	60.0	84.7	D/H
	1 360 × 768	47.7	59.8	84.8	D/H
1 366 × 768*6	1 366 × 768	39.6	50.0	69.9	D/H
	1 366 × 768	48.4	60.0	86.7	R/Y/D/H
	1 366 × 768	48.0	60.0	72.0	R/Y/D/H
	1 366 × 768	39.6	49.9	69.0	R/Y/D/H
1 400 × 1 050*6	1 400 × 1 050	47.7	59.8	85.5	R/Y/D/H
	1 400 × 1 050	65.2	60.0	122.6	D/H
1 440 × 900*6	1 440 × 900	82.2	75.0	155.9	R/Y/D/H
	1 440 × 900	55.5	59.9	88.8	R/Y/D/H
1 600 × 900*6	1 440 × 900	55.9	59.9	106.5	R/Y/D/H
	1 600 × 900	46.3	50.0	97.0	D/H
	1 600 × 900	60.0	60.0	108.0	D/H
	1 600 × 900	55.9	60.0	118.3	D/H
1 680 × 1 050*6	1 680 × 1 050	56.0	60.0	119.0	D/H
1 600 × 1 200*6	1 680 × 1 050	65.3	60.0	146.3	R/Y/D/H
1 920 × 1 080*6	1 600 × 1 200*4	75.0	60.0	162.0	R/Y/D/H
	1 920 × 1 080*6	66.6	59.9	138.5	R/Y/D/H
	1 920 × 1 080	67.5	60.0	148.5	R/Y/D/H
1 920 × 1 200*6	1 920 × 1 200*4	74.0	60.0	154.0	R/Y/D/H

*1: 1 125(1 035)/60i 信号が入力された場合、1 125(1 080)/60i 信号として表示します。

*2: Pixel-Repetition 信号 (ドットクロック周波数 27.0MHz) のみ

*3: フォーマットを表す記号は以下の通りです。

V : コンポジットビデオ (VIDEO IN)
R : D-sub RGB (RGB IN, PC IN)
Y : YCbCr/YPrPb (COMPONENT IN, PC IN)
D : DVI-D (DVI-D IN)
H : HDMI (HDMI 1, HDMI 2)
アナログ入力には onG / onY に対応しています。

*4: 画像処理回路で画素を間引いて表示

*5: VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

*6: COMPONENT IN/RGB IN 入力の PC 信号は正しく映像が表示されない場合があります。

お知らせ

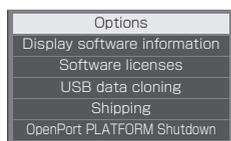
- 自動判別した信号フォーマットが、実入力信号と異なった表示になる場合があります。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。
- 1 125(1 080)/30PsF 信号および 1 125(1 080)/25PsF 信号が入力された場合、それぞれ 1 125(1 080)/60i 信号および 1 125(1 080)/50i 信号として処理し、表示します。

OpenPort PLATFORM シャット ダウン

以下の操作で OpenPort PLATFORM システムを強制的にシャットダウンさせることができます。

- 1 <SETUP> を押して
「初期設定」メニューを表示する
- 2 ▲▼ で「表示言語切換」を選び、
<ENTER> を 3 秒以上押す

以下のような画面が表示されます。



- 3 ▲▼ で「OpenPort PLATFORM
Shutdown」を選び、<ENTER> を押す



- 4 ◀▶ で「YES」を選び、<ENTER>
を押す

シャットダウン中、電源ランプは緑色点灯から橙色点灯になり、「OpenPort PLATFORM のシャットダウン中です。しばらくお待ちください。」のメッセージが表示されます。その後、赤色点灯のスタンバイ状態に移行します。

お知らせ

- OpenPort PLATFORM システムのシャットダウン中、リモコン操作や外部からの制御コマンドを受け付けません。
- OpenPort PLATFORM システムをシャットダウンしたスタンバイ状態（電源ランプ：赤色点灯）からの電源「入」は、リモコン電源ボタンおよび SERIAL（シリアル）端子からの「PON」コマンドのみが有効です。
- OpenPort PLATFORM システムが起動中など、状態によりグレー表示になり OpenPort PLATFORM システムをシャットダウンできなくなります。

工場出荷時の設定に戻すには

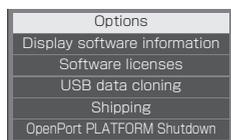
「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」「位置調整」「Options」メニューの設定、調整値を以下の操作で工場出荷時の状態に戻します。

また同時に OpenPort PLATFORM 部での各種設定、データも工場出荷時の状態に戻し、インストールしたアプリも消去されます。

■ リモコン操作

- 1 <SETUP> を押して「初期設定」メニューを表示する
- 2 ▲▼ で「表示言語切換」を選び、<ENTER> を 3 秒以上押す

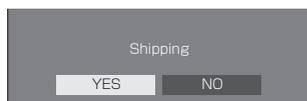
以下のような画面が表示されます。



- 3 ▲▼ で「Shipping」を選び、<ENTER> を押す

お知らせ

- OpenPort PLATFORM システムが起動中など、状態によりグレー表示になり、<ENTER> 操作が無効になります。



- 4 ◀▶ で「YES」を選び、<ENTER> を押す

「Shipping (Wait a moment)」というメッセージが表示されます。

- 5 「Please turn off the power」 というメッセージが表示された後、本体の電源 (⏻/⏻) ボタンを押して電源を切る

※ 電源ボタンがロックされている場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ 本体操作

- 1 <MENU> を数回押して「初期設定」メニューを表示する
- 2 ▲▼ で「表示言語切換」を選び、<ENTER> を 5 秒以上押す

お知らせ

- OpenPort PLATFORM システムが起動中など、状態によりグレー表示になり、本体の <ENTER> 操作が無効になります。

- 3 <-> または <+> で「YES」を選び、<ENTER> を押す

「Shipping (Wait a moment)」というメッセージが表示されます。

- 4 「Please turn off the power」 というメッセージが表示された後、本体の電源 (⏻/⏻) ボタンを押して電源を切る

※ 電源ボタンがロックされている場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

修理を依頼される前に・・・ もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった	● 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。万が一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約 5 秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。	31
画面に光らない点がある	● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります、これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグやコネクタが外れていませんか。	15
電源が自動的に切れる	● 「無信号自動オフ」、「HDMI1 パワーマネージメント」、「HDMI2 パワーマネージメント」、「DVI-D パワーマネージメント」、「PC パワーマネージメント」、または「無操作自動オフ」が「オン (有効)」に設定されていませんか。	77・79
電源ランプが赤色点滅する	● 故障の可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。	—
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。	—
	● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。	—
	● リモコン受信部とリモコン間に障害物はありませんか。 設置状況に問題がない場合はリモコン受信部を本体の端面より引き出してご使用ください。	28
	● 本機専用のリモコンを使用していますか。(他のリモコンでは動作しません)	—
	● 「Options」メニューの「Controller user level」設定を「Off」以外にしていますか。	90
ID リモコン機能が使用できない (ID リモコン使用時)	● 「Options」メニューの「Controller ID function」設定を「On」にしていますか。	90
	● リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にしていますか。(ID リモコン使用時)	104
	● OpenPort PLATFORM 部の操作において、Android 標準のアプリや追加インストールされたアプリではリモコンで操作できない場合があります。その際は USB マウスで操作してください。	38
ID リモコン機能が使用できない (ID リモコン使用時)	● 「Controller ID function」設定を「On」にしていますか。また、リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にしていますか。「Controller ID function」設定を「On」にしている場合は、リモコンの <ID MODE> スイッチを「ON」にして ID 番号を設定する必要があります)	90
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けている可能性があります。	—
色が薄い	● 色の濃さの調整がずれていませんか。(映像の調整値をご確認ください。)	66
色模様が出たり	● 他の映像機器から影響 (妨害電波) を受けていませんか。	—
色が消える	● 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
画面の上または下が欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	63・64
画面の上下に映像の出ない部分ができる	● 16 : 9 より横長の映像ソフト (シネマサイズのソフトなど) のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	—
映像の輪郭がチラチラする	● 液晶パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがあります。故障ではありません。	—
本体のボタンで操作できない	● 「Options」メニューの「Button lock」設定を「Off」以外にしていますか。	89
映像、音声が出ないことがある	● HDMI 信号や DVI 信号をセレクタや分配器を通して本ディスプレイに入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われない場合があります。 本機の電源を入れ直すまたは、セレクタや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—

こんなとき	ここをお調べください	参照 ページ
RS-232C 制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 	22
LAN 制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 ● コマンドコントロールで制御する場合、OpenPort PLATFORM の「LAN 制御」は正しく設定されていますか。「コマンド制御」は「ON」になっていますか。 ● OpenPort PLATFORM の「無線とネットワーク」は正しく設定されていますか。 ● OpenPort PLATFORM の起動後に LAN 制御を行ってください。 	93 49 50 35・78
OpenPort PLATFORM でアプリがダウンロードできない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続は正しく行われていますか。 ● OpenPort PLATFORM の「無線とネットワーク」は正しく設定されていますか。 <p>OpenPort PLATFORM の「ステータス」でネットワーク関連の設定情報の確認や「通信確認」を行うことができます。</p>	93 50 47
OpenPort PLATFORM でインストールしたアプリが動作しない、または不安定になる	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの<HOME> ボタンなどで OpenPort PLATFORM のホーム画面は表示されますか。ホーム画面が正しく表示される場合は、アプリが正しく動作していない可能性があります。 ● アプリの取扱説明書で使い方を確認してください。動作が改善しない場合はそのアプリのサポートにご相談ください。 	— —

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

修理を依頼されるとき

109 ページ「修理を依頼される前に…」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■ 保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日は受付のみ)

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

仕様

本体

機種		
品番	TH-55AF1J (55V 型) ^{*1} TH-49AF1J (49V 型) ^{*1} TH-42AF1J (42V 型) ^{*1}	
種類	フルハイビジョン液晶ディスプレイ	
電源		
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
消費電力	TH-55AF1J	190 W
	TH-49AF1J	175 W
	TH-42AF1J	155 W
	本体電源「切」時 0.3 W スタンバイ (「OpenPort PLATFORM スタンバイ」が「オフ」) 時 0.5 W スタンバイ (「OpenPort PLATFORM スタンバイ」が「オン」) 時 (出荷状態) 約 20 W	
音声		
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
内蔵スピーカー	フルレンジ : 8.0 cm × 3.0 cm 2 個	
ディスプレイ		
液晶ディスプレイ パネル	IPS パネル (Edge LED バックライト)	
	TH-55AF1J	55V 型 ^{*1} アスペクト比 16 : 9
	TH-49AF1J	49V 型 ^{*1} アスペクト比 16 : 9
TH-42AF1J	42V 型 ^{*1} アスペクト比 16 : 9	
画面寸法	TH-55AF1J	幅 120.9 cm 高さ 68.0 cm 対角 138.7 cm
	TH-49AF1J	幅 107.3 cm 高さ 60.4 cm 対角 123.2 cm
	TH-42AF1J	幅 92.7 cm 高さ 52.1 cm 対角 106.4 cm
画素数	2 073 600 画素 (水平 1 920 × 垂直 1 080)	
環境条件		
動作使用条件	温度 : 0 °C ~ 40 °C ^{*2} 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
保管条件	温度 : - 20 °C ~ 60 °C 湿度 : 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
OpenPort PLATFORM システム		
OS	Android 4.4.3	
CPU	Cortex-A9、1.0 GHz (クアッド)	
メモリー	RAM 1 GB / ROM 8 GB	
対応コーデック	Video : MPEG4、H.264/AVC、H.263、MotionJPEG、MPEG2、WMV、VP8 Audio : MP3、AAC、WMA、AMR、Ogg Vorbis	
OpenPort PLATFORM 部		
USB (OpenPort PLATFORM)	USB コネクター × 3、TYPE A USB2.0	
Micro-USB	Micro-USB コネクター、Micro-B USB2.0	
microSD カード スロット	microSD、microSDHC	
LAN	RJ45 ネットワーク接続用、PjLink 対応 通信方式 : RJ45 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	
無線 LAN モジュール	IEEE 802.11a/b/g/n	

入出力端子		
HDMI 1	TYPE A コネクター* ³ × 2	
HDMI 2	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数: 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
DVI-D IN	DVI-D 24 ピン DVI Revision 1.0 準拠 HDCP 1.1 対応	
DVI-D OUT	DVI-D 24 ピン DVI Revision 1.0 準拠 HDCP 1.1 対応	
COMPONENT/ RGB IN	Y/G	BNC 端子 1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む
	P _B /C _B /B	BNC 端子 0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない
	P _R /C _R /R	BNC 端子 0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない
VIDEO IN	VIDEO	BNC 端子 1.0 V [p-p] (75 Ω) Y/G 端子と兼用
PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応)	
	Y/G	1.0 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含む 0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない
	P _B /C _B /B	0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない
	P _R /C _R /R	0.7 V [p-p] (75 Ω) 同期信号を含まない
	HD/VD	1.0 ~ 5.0 V [p-p] (ハイインピーダンス)
AUDIO1 IN	ステレオミニジャック (M3) 0.5 V [rms] DVI-D IN と PC IN 共用	
AUDIO2 IN	ステレオミニジャック (M3) 0.5 V [rms] COMPONENT/RGB IN と VIDEO IN 共用	
AUDIO OUT	ステレオミニジャック (M3) 0.5 V [rms]	
	出力: 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力, 10 k Ω 負荷時)	
USB	USB コネクター、TYPE A	
	DC 5V / 1A (USB 3.0 には対応していません)	
制御端子		
SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン RS-232C 準拠	
SERIAL OUT	外部制御用端子 D-sub 9 ピン RS-232C 準拠	
IR IN	リモコンスルー端子 ステレオミニジャック (M3)	
IR OUT	リモコンスルー端子 ステレオミニジャック (M3)	
機構		
外形寸法	TH-55AF1J	幅 122.9 cm 高さ 69.9 cm 奥行 7.2 cm (5.7cm: ハンドルを含まず)
	TH-49AF1J	幅 109.3 cm 高さ 62.3 cm 奥行 7.2 cm (5.7cm: ハンドルを含まず)
	TH-42AF1J	幅 94.7 cm 高さ 54.1 cm 奥行 7.2 cm (5.7cm: ハンドルを含まず)
質量	TH-55AF1J	約 25.0 kg
	TH-49AF1J	約 19.3 kg
	TH-42AF1J	約 15.6 kg
キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)	

リモコン

使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 63 g (乾電池含む)
外形寸法	幅 44 mm 高さ 105 mm 奥行 20.5 mm

※ 1 ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 2 高地 (海拔 1400 m 以上 2800 m 未満) で使用する場合の使用環境温度は 0℃ ~ 35℃ になります。

※ 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPLV2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の初期設定メニューからの所定の操作によって [Software licenses] の選択により表示されるライセンス条件、および、本製品の「設定」アプリからの所定の操作によって「法的情報」の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口 : oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して (以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ) 記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac、Mac OS、OS X、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国および他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- Google、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth は、Bluetooth SIG Inc. の商標または登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi Direct、WPS は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- OpenPort PLATFORM は、パナソニック株式会社の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは EU 域内のみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

EU



注意

この製品はクラス A 情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番	
	販売店名	〆 () -	お客様ご相談窓口	
		〆 () -	〆 () -	

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Corporation 2016

TP0116TS3126 -PB

中国印刷